

措置報告書

令和6年8月22日

埼玉県男女共同参画苦情処理委員 様

さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号
埼玉県教育委員会教育長

令和5年8月30日付け第2号により通知のありました勧告に対しましては、次のとおり措置したので報告します。

勧告の趣旨

「男女別学」は女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約上、男女別学であることだけでは条約違反とはされていないものの「男女共学その他の種類の教育」を奨励することにより、男女の役割についての定型化された概念の撤廃が求められている。

埼玉県立高校の男女別学校における管理職や教職員の格差における問題が浮き彫りになっていることは明らかであり、別紙で提言した施策がなされるとともに、埼玉県立高校において、共学化が早期に実現されるべきである。

措置の状況及び内容

1 基本的な考え方

県教育委員会では、平成14年度に埼玉県男女共同参画苦情処理委員（以下「苦情処理委員」という。）に提出した報告書（以下「平成14年度報告」という。）の記載のとおり、男女別学校について、「将来にわたって共学化を進めていくという立場に立ちながらも、（中略）早期に共学化を実現するという結論には至らなかった」ため、「当面は、現状を維持することとするが、各学校が、教育内容を大きく変更するなど、特色ある学校づくりに向けて主体的に取り組む中で、共学化を検討する可能性もあり、そのような場合においては、県教育委員会として積極的に支援」することを方針としてきた。

この間、男女別学校では特色ある学校づくりに向けて、それぞれ教育活動の充実に取り組む中で、一部の学校は共学化を検討したため、県教育委員会では、その取組を支援し男女共学校とした。また、再編整備に伴う新設校は、

全て男女共学校とした。

県教育委員会としては、男女における教育の機会均等を確保していることや男女別学校に一定のニーズがあること、現在の男女別学校12校からこれまで共学化の検討の報告がなかったことから、現状を維持することとし、苦情処理委員からの「勧告書（令和5年8月30日付け・令和6年5月8日付け修正）」（以下「令和5年度勧告」という。）で示された「中学生を含めた県民全体の意識調査」等を行わなかった。

近年、男女共同参画の推進や、急速なグローバル化の進展、デジタル技術の発展など社会が大きく変化しており、学校教育も社会の変化に応じた一層の変革が求められるようになってきている。

今後一層、少子化が進み、中学校卒業生数が減少していく中で、男女における教育の機会均等を確保しながら、将来にわたり個人の能力と希望に応じた進学先の選択肢を用意することが求められており、県教育委員会として今後の県立高校の在り方を総合的に検討する中で、共学化について、主体的に検討していく必要がある。

2 本県の男女共学への取組

(1) 平成14年度報告後の取組

男女別学校の一部を男女共学校としたほか、県立高校の再編整備に伴う新設校は男女共学校とした。その概要は次のとおりである。

男女共学化年度	前	後
平成15年度	常盤女子高等学校（女子校）	常盤高等学校（男女共学校）
	川口工業高等学校 （機械科：男子のみ、電気科・電子科：男女共学）	川口工業高等学校（男女共学校） 【機械科において女子の募集も行い、男女共学とした】
平成17年度	行田女子高等学校（女子校）	進修館高等学校（男女共学校）【新設】
	行田進修館高等学校（男女共学校）	
	行田工業高等学校（男女共学校）	
平成20年度	秩父東高等学校（女子校）	秩父農工科学高等学校（男女共学校）【新設】
	秩父農工高等学校（男女共学校）	
	不動岡誠和高等学校 （普通科：女子のみ、社会福祉科：男女共学）	
	騎西高等学校（男女共学校）	誠和福祉高等学校（男女共学校）【新設】

(2) 令和5年度勧告後の取組

令和5年度勧告後、県教育委員会は次の取組を行った。

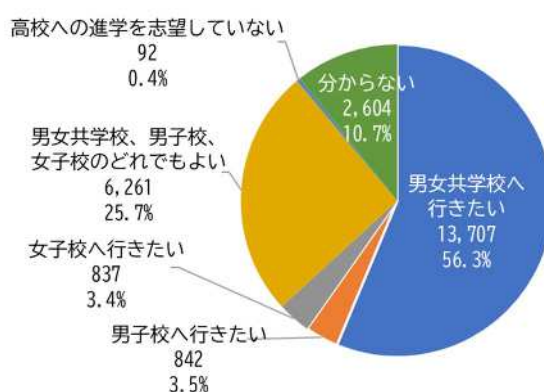
ア 「埼玉県立の男女別学校に関するアンケート」（以下「アンケート」という。）

県内在住又は在学の中学生及び高校生とその保護者の意見を把握するため、アンケートを実施した。アンケートの概要は枠内のとおり。

ア アンケート趣旨	埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に対する報告内容についての検討の際の参考とするため、埼玉県立の男女別学校12校の「男女共学化」、「男女別学の維持」等の意見を把握することを目的としたもの。
イ アンケート対象	県内に在住又は在学の中中学生及び高校生とその保護者
ウ アンケート期間	令和6年4月17日（水曜日）から5月17日（金曜日）まで ※令和6年4月17日（水曜日）から4月19日（金曜日）午前11時までは記名なしで回答 令和6年4月19日（金曜日）午後6時以降は記名の上で回答
エ 回答方法	Web上のアンケートフォームで回答
オ 集計回答人数	<p>(記名あり) 64,829人 ※実際の回答人数の92.0% (記名なし) 8,157人</p> <p>内訳) 中学生 24,343人 高校生 7,286人 中学生保護者 15,790人 高校生保護者 17,410人</p> <p>内訳) 中学生 77人 高校生 3,165人 中学生保護者 509人 高校生保護者 4,406人</p> <p>※集計回答人数は、実際の回答人数から姓名の入力がなかったなどの回答5,642人を除いた数 ※実際の回答人数は、(記名あり) 70,471人</p> <p>内訳) 中学生 25,825人 高校生 8,071人 中学生保護者 17,420人 高校生保護者 19,155人</p>

次に、アンケートの結果の一部について示す。詳細は、別添1-1（16ページ）及び別添1-2（89ページ）のとおり。

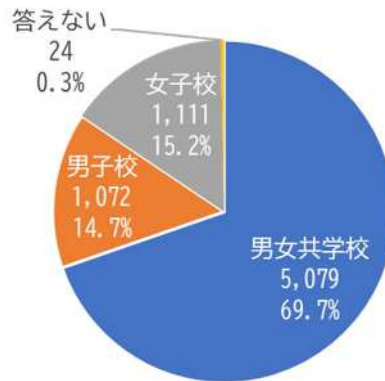
(ア) 【中学生】 次のうちのどの高校へ進学したいですか。現時点の考えを教えてください。



回答を選んだ理由（三つまで選択可能）

項目	選択数	選択割合	回答別の理由			
			男女共学校へ行きたい 25,304件	男子校へ行きたい 1,685件	女子校へ行きたい 1,673件	共学・別学 どれでもよい 10,514件
① 自分の学力に合っているから	6,687	17.1%	16.7%	16.7%	11.7%	19.0%
② 自分が学びたい学科があるから	3,167	8.1%	7.6%	5.7%	5.7%	10.1%
③ 自分が望む進学や就職などの実績があるから	3,306	8.4%	7.4%	11.7%	9.7%	10.2%
④ 部活動や学校行事にみりよくがあるから	7,294	18.6%	19.4%	19.1%	16.5%	17.0%
⑤ 学校の伝統や学校のふんいきにみりよくがあるから	3,769	9.6%	9.0%	19.0%	18.1%	8.4%
⑥ 通学が便利だから	3,698	9.4%	9.4%	6.5%	7.5%	10.3%
⑦ 男女共学校であるから	5,413	13.8%	20.5%	0.2%	0.2%	2.0%
⑧ 男女別学校であるから	718	1.8%	0.1%	14.7%	24.2%	0.4%
⑨ その他（50字以内）	764	2.0%	1.8%	3.5%	3.6%	1.8%
⑩ 特になし・分からない	4,360	11.1%	8.2%	3.0%	2.9%	20.8%
選択数計	39,176	100.0%				

(イ) 【高校生】 在 schools (共学・別学など)



現在の在 schools を選んだ理由 (三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合	回答別の理由			
			男女共学校 10,764件	男子校 2,902件	女子校 2,816件	答えない 47件
① 自分の学力に合っているから	4,735	28.6%	31.4%	22.3%	24.7%	31.9%
② 自分が学びたい学科があるから	927	5.6%	7.5%	0.8%	3.3%	10.6%
③ 自分が望む進学や就職等の実績があるから	1,358	8.2%	8.3%	8.6%	7.5%	10.6%
④ 部活動や学校行事に魅力があるから	2,730	16.5%	15.6%	20.5%	15.9%	8.5%
⑤ 学校の伝統や校風に魅力があるから	1,902	11.5%	7.2%	23.6%	15.6%	8.5%
⑥ 通学が便利だから	2,370	14.3%	17.6%	5.9%	10.5%	14.9%
⑦ 男女共学校であるから	921	5.6%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧ 男女別学校であるから	1,092	6.6%	0.0%	16.9%	21.2%	2.1%
⑨ その他 (50字以内)	251	1.5%	1.8%	1.1%	1.0%	4.3%
⑩ 特になし・分からない	243	1.5%	2.0%	0.4%	0.4%	8.5%
選択数計	16,529	100.0%				

<(ア)及び(イ)について>

【中学生】

「どの高校へ進学したいですか。」について、「男女共学校へ行きたい」とした理由として、「男女共学校である」、「部活動や学校行事にみりよくがある」、「自分の学力に合っている」が多かった。

次に、「男子校へ行きたい」とした理由として、「部活動や学校行事にみりよくがある」、「学校の伝統や学校のふんいきにみりよくがある」、「自分の学力に合っている」が多かった。

次に、「女子校へ行きたい」とした理由として、「男女別学校である」、「学校の伝統や学校のふんいきにみりよくがある」、「部活動や学校行事にみりよくがある」が多かった。

【高校生】

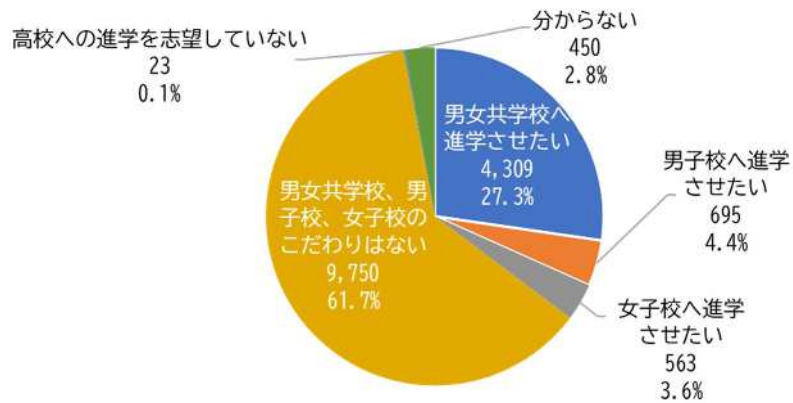
「現在の在 schools (共学・別学など)」について、「男女共学校」を選んだ理由として、「自分の学力に合っている」、「通学が便利」、「部活動や学校行事に魅力がある」が多かった。

次に、「男子校」を選んだ理由として、「学校の伝統や校風に魅力が

ある」、「自分の学力に合っている」、「部活動や学校行事に魅力がある」が多かった。

次に、「女子校」を選んだ理由として、「自分の学力に合っている」、「男女別学校である」、「部活動や学校行事に魅力がある」が多かった。

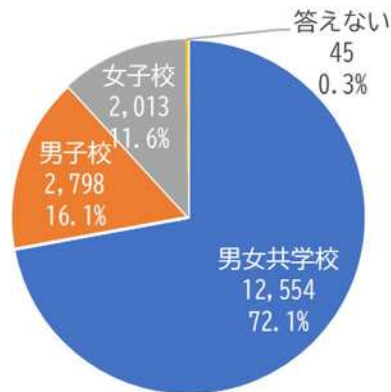
(ウ) 【中学生保護者】お子様を次のうちのどの高校へ進学させたいですか。現時点の考えを教えてください。



回答を選んだ理由（三つまで選択可能）

項目	選択数	選択割合	回答別の理由			
			男女共学校へ進学させたい 7,907件	男子校へ進学させたい 1,681件	女子校へ進学させたい 1,332件	共学・別学の こだわりはない 18,873件
① 子供の能力・適性に合っているから	8,627	29.0%	27.4%	20.8%	17.7%	31.1%
② 進学や就職等の実績があるから	2,838	9.5%	8.7%	11.8%	8.5%	9.7%
③ 学校の伝統や校風に魅力があるから	3,712	12.5%	6.4%	30.6%	26.1%	12.4%
④ 通学が便利だから	3,106	10.4%	12.0%	3.0%	4.4%	10.9%
⑤ 男女共学校であるから	1,662	5.6%	20.6%	0.1%	0.0%	0.2%
⑥ 男女別学校であるから	482	1.6%	0.1%	13.7%	17.5%	0.1%
⑦ 子供が志望していたから	7,011	23.5%	18.8%	17.7%	23.3%	26.1%
⑧ その他（50字）	988	3.3%	2.8%	2.3%	2.4%	3.7%
⑨ 特になし・分からない	1,367	4.6%	3.3%	0.1%	0.1%	5.9%
選択数計	29,793	100.0%				

(エ) 【高校生保護者】お子様の在学学校（共学・別学など）



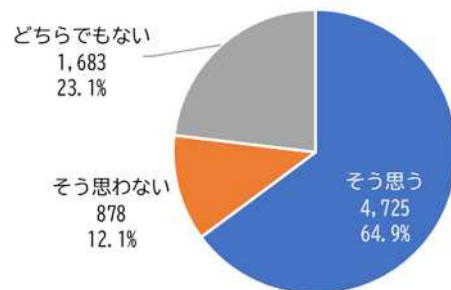
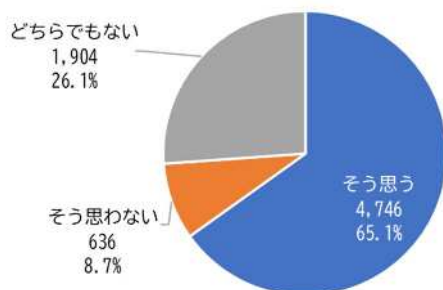
現在の在学学校を選んだ理由（三つまで選択可能）

項目	選択数	選択割合	回答別の理由			
			男女共学校 28,828件	男子校 7,717件	女子校 5,344件	答えない 94件
① 子供の能力・適性に合っているから	11,890	28.3%	30.6%	22.6%	24.5%	26.6%
② 進学や就職等の実績があるから	4,153	9.9%	10.2%	10.0%	8.3%	6.4%
③ 学校の伝統や校風に魅力があるから	5,302	12.6%	7.6%	26.6%	19.6%	12.8%
④ 通学が便利だから	5,859	14.0%	17.1%	5.4%	9.3%	13.8%
⑤ 男女共学校であるから	1,231	2.9%	4.3%	0.0%	0.1%	1.1%
⑥ 男女別学校であるから	1,392	3.3%	0.0%	10.1%	11.2%	3.2%
⑦ 子供が志望していたから	11,550	27.5%	28.6%	24.6%	25.8%	35.1%
⑧ その他（50字以内）	550	1.3%	1.5%	0.8%	1.2%	0.0%
⑨ 特になし・分からない	56	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	1.1%
選択数計	41,983	100.0%				

(オ) 【高校生】現在、在学している学校について伺います。以下の各項目は実際に入学してみてどうでしたか。各項目について、「そう思う」「そう思わない」「どちらでもない」から一つ選んでください。

男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進んでいる

「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれないで学校生活を送れる



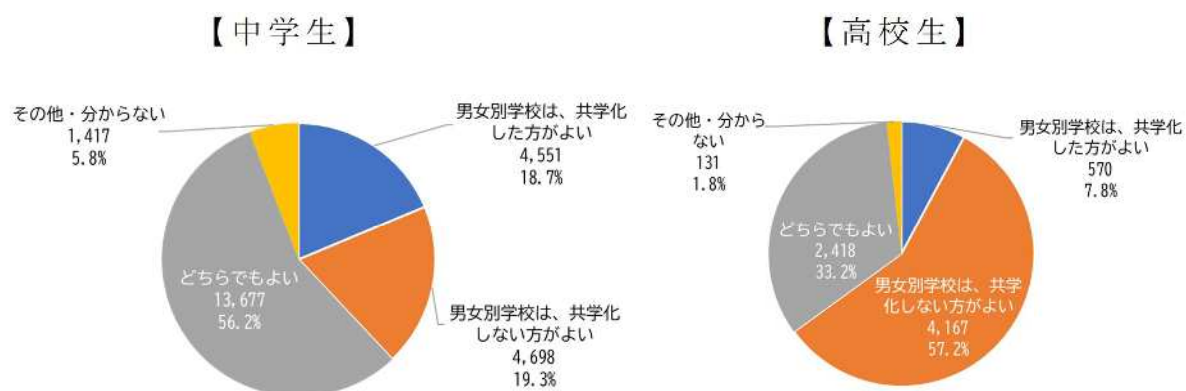
<(オ)について>

【高校生】

「男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進んでいる」につ

いて、「そう思う」と回答した高校生は、65.1%であった。また、『男子は〇〇』『女子は□□』といった固定的な役割分担意識にとられないで学校生活を送れる」について、「そう思う」と回答した高校生は、64.9%であった。

(カ) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



(キ) 県立の男女別学校12校の在り方について、「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

【中学生】

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	3,189	32.9%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	878	9.0%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	2,196	22.6%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	1,563	16.1%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や学校のふんいきのいじができるから	653	6.7%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	869	9.0%
⑦ その他(50字以内)	126	1.3%
⑧ 特にない・分からない	232	2.4%
選択数計	9,706	100.0%

表中「⑦その他」の主な意見は、次のとおりである。

- ・ 社会に出たとき異性とコミュニケーションが取れないと困るから、恋愛・青春をしたいから。
- ・ 高校選択の幅が広がるから、共学に行きたい生徒の選択肢が広がるから。
- ・ 男女が共に生活することは当たり前であるから、男女で分ける必要はないから。

【高校生】

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	377	33.4%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	117	10.4%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	175	15.5%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	140	12.4%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	124	11.0%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	133	11.8%
⑦ その他（50字以内）	41	3.6%
⑧ 特にない・分からない	21	1.9%
選択数計	1,128	100.0%

表中「⑦その他」の主な意見は、次のとおりである。

- ・ 社会では男女がともに生活をしているから、異性がいた方が様々な考えや意見などを学べるから。
- ・ 少子高齢化対策となるから。
- ・ 男女別学校の志願倍率が低下しているから。

(ク) 県立の男女別学校12校の在り方について、「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。（三つまで選択可能）

【中学生】

項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選べる方がよいから	3,697	37.9%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	1,292	13.2%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	467	4.8%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを経験することができるから	890	9.1%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や学校のふんいきのいじがでなくなるから	1,352	13.8%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,464	15.0%
⑦ その他（50字以内）	498	5.1%
⑧ 特にない・分からない	106	1.1%
選択数計	9,766	100.0%

表中「⑦その他」の主な意見は、次のとおりである。

- ・ 異性への苦手意識を持っている人がいるから。
- ・ 男女別学校、男女共学校をそれぞれ選択できるようにすべきだから、選択の自由・権利を奪うべきではないから。
- ・ 男女別学校を志望しているから。

【高校生】

項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	3,486	35.0%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,358	13.6%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	176	1.8%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	727	7.3%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	2,001	20.1%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,569	15.7%
⑦ その他（50字以内）	627	6.3%
⑧ 特にない・分からない	22	0.2%
選択数計	9,966	100.0%

表中「⑦その他」の主な意見は、次のとおりである。

- ・ 異性に対して苦手・恐怖心を持っている生徒が、安心して学校生活を送ることができるから。
- ・ 男女別学校、男女共学校をそれぞれ選択できた方がよいから。
- ・ 共学化すると、男女別学校の伝統や雰囲気失われてしまうから。

< (カ)、(キ)及び(ク)について >

【中学生】

県立の男女別学校12校の在り方について、「共学化した方がよい」とした理由として、「性別によって入学できない高校があるのは、公平ではない」、「異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進む」、「性別によらず、いろいろな係や役割などを経験することができる」が多かった。

また、「共学化しない方がよい」とした理由として、「男女共学校・男女別学校の両方を選べる方がよい」、「学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所がある」、「共学化すると、伝統の尊重や学校のふんいきのいじができなくなる」が多かった。

【高校生】

県立の男女別学校12校の在り方について、「共学化した方がよい」とした理由として、「性別によって入学できない高校があるのは、公平ではない」、「男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進む」、「『男子は〇〇』『女子は□□』といった固定的な役割分担意識を持ちづらい」が多かった。

また、「共学化しない方がよい」とした理由として、「男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよい」、「共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなる」、「学校生活を安心して過ごせるよう

な友人ができる、または、居場所がある」が多かった。

なお、「共学化した方がよい」、「共学化しない方がよい」とした理由それぞれに、一定数の中学生、高校生から「学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所がある」との回答があった。

イ 県民からの意見聴取

令和5年10月から令和6年7月にかけて、県教育委員会に意見を伝える意向を示した団体から、令和5年度勧告に対してや、男女共学校、男女別学校の特徴などに対する意見を聴取した。

意見を聴取した団体及び実施日は次のとおりである。

意見聴取団体	実施日	意見聴取団体	実施日	意見聴取団体	実施日
1 共学ネット・さいたま (市民グループ)	令和5年10月12日	11 久喜高校 保護者・後援会・同窓会	2月24日	21 熊谷西高校 保護者	5月11日
2 浦和高校 保護者・同窓会	令和6年1月27日	12 浦和第一女子高校 保護者・同窓会	3月2日	22 大宮高校 保護者	5月25日
3 浦和第一女子高校 保護者・後援会・同窓会	1月30日	13 松山女子高校 保護者・後援会・同窓会	3月2日	23 越谷北高校 保護者	6月22日
4 熊谷高校 保護者・後援会・同窓会	1月31日	14 共学ネット・さいたま (市民グループ)	3月15日	24 埼玉教職員組合 埼玉高等学校教職員組合	7月12日
5 熊谷女子高校 保護者・後援会・同窓会	2月3日	15 春日部女子高校 保護者・後援会	3月16日		
6 鴻巣女子高校 保護者・同窓会	2月6日	16 浦和高校 生徒有志	3月21日		
7 春日部高校 保護者・後援会・同窓会	2月10日	17 共学ネット・さいたま (市民グループ)	3月28日		
8 川越高校 保護者・同窓会	2月17日	18 川越女子高校 同窓会	4月15日		
9 松山高校 保護者・後援会・同窓会	2月17日	19 共学ネット・さいたま (市民グループ)	4月18日		
10 川越女子高校 保護者	2月18日	20 所沢北高校 保護者	4月26日		

また、聴取した主な内容は、「教育の機会均等・ニーズなど」、「歴史・伝統など」、「男女共同参画の視点に立った教育など」、「安心など」及び「法令・法規など」である。

詳細について、上記表中の1から15までと17から19までは別添2-1(113ページ)、上記表中の16は別添2-2(115ページ)、上記表中の20から23までは別添2-3(117ページ)のとおり。

ウ 男女共同参画の視点からの本県の県立高校への調査

令和5年度勧告で示されている「目指す学校像」に加えて、男女共学校と男女別学校の「学校行事」、「高校在籍時における理系・文系等選択(令和4年度)」、「大学学部別進路(令和4年度)」、「男女共学校における生徒会等の主要役員の男女別数(令和5年度)」についても次の枠内の学校を対象に調査を行った。また、学科等の設置状況(男女共学校、男女別学校に設置されている理数科、外国語科等、家庭(家政・保育)

に関する学科)を調査した。

男女共同参画の視点からの本県の県立高校への調査

対象 男女別学校 1 2 校

男女共学校 1 1 校*

(春日部東、久喜北陽、越谷北、川越南、坂戸、所沢北、浦和西、大宮、蕨、熊谷西、鴻巣)

*男女共学校 1 1 校は、男女別学校 1 2 校の近隣に所在している、在校生の居住地が重なる、進路状況が重なるという観点で選出した。

調査結果の概要(「学科等の設置状況」については3(1)で、「目指す学校像」については3(2)で後述する。)は次のとおりである。

男女共学校の「学校行事」における「主な体育的行事」では、男女で種目の内容を変えている学校が多く見られた。一方で、持久走大会について、8 kmと5 kmの2部門で男女に分けず、本人の希望により参加部門を決定している学校があった。

「高校在籍時における理系・文系等選択」については、男女共学校、男女別学校ともに、女子生徒は男子生徒と比べ、理系を選択する生徒の割合が低くなる傾向がある。また、「大学学部別進路」について、男女共学校、男女別学校ともに、女子生徒は男子生徒と比べ、理工系分野の理学・工学・農学・保健を選択する割合が低くなる傾向があり、改善に努める必要がある。

「男女共学校における生徒会等の主要役員の男女別数」の割合については、男女共学校 1 1 校の在籍生徒数の男女別割合が男子生徒約 5 1 %、女子生徒約 4 9 %のところ、主要役員数の男女別割合は男子生徒約 4 8 %、女子生徒約 5 2 %だった。

詳細は、別添 3 (1 1 9 ページ) のとおり。

エ 要望書等の受領

要望書、意見書、団体等が実施したアンケート等が、教育長及び教育委員宛てに提出された。提出者、件名、提出日は、別添 4 (1 3 4 ページ) のとおり。詳細は、ホームページを参照。

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2207/kankoku-houkoku.html>)

3 本県の県立高校の状況

- (1) 設置学科等(理数科、外国語科等、家庭(家政・保育)に関する学科)理数科は、男子校 1 校、男女共学校 4 校に設置している。外国語科は、

女子校 1 校、男女共学校 6 校に設置している。また、普通科外国語コース及び普通科外国語学系は、それぞれ男女共学校 1 校に設置している。家政に関する学科は、女子校 1 校（家政科学科）、男女共学校 3 校（服飾デザイン科、食物調理科等）に設置している。理数科、外国語科等、家政に関する学科は、男女ともに学ぶ機会を提供しているが、男女で入学できる学校数に相違がある。

保育科は、女子校 1 校に設置している。そのほか、女子校 4 校、男女共学校 8 5 校にも保育を学ぶことができる科目（保育基礎、保育実践等）を設定しているが、履修できる単位数は、保育科と比べると少なくなっている。

詳細については、別添 3（1 3 1 から 1 3 3 ページまで）のとおり。

(2) 目指す学校像

「目指す学校像」について、男子校、女子校で、「リーダー育成」等や「地域に貢献」等という文言の数に違いがあるが、「目指す学校像」は、校長が、学校の特色や児童生徒、地域、保護者からの期待等を踏まえ、設定するものであることから、その文言だけで傾向の違いを読み取ることは難しい。

校長は、男女共同参画の視点を持って「目指す学校像」等の学校の方針を定めることが重要である。詳細については、別添 3（1 2 0 から 1 2 1 ページまで）のとおり。

(3) 再編整備計画

県教育委員会では、平成 2 8 年 3 月に再編整備も含めた魅力ある県立高校づくりの基本的な考え方などを示した「魅力ある県立学校づくりの方針」を策定し、県立高校の活性化・特色化の取組を進めている。

今後は、男女共同参画の視点に立った教育や共学化に関する県教育委員会の考え方を県民に示すため、同方針への記載を検討する必要がある。

(4) 県立高校の女性管理職及び女性教職員の割合

令和 5 年度勧告で示された項目を含む令和 4 年度の割合と令和 6 年度の割合を比較した。

ア 県立高校（全日制）の女性管理職（校長、副校長・教頭、事務長等）の割合

	令和4年度	令和6年度
高校全日制	14.3% (11.9%)	17.6% (13.7%)
男女共学校	14.2% (11.5%)	16.1% (12.8%)
男子校	0.0% (0.0%)	25.0% (20.0%)
女子校	32.0% (27.8%)	36.0% (22.2%)

（表の括弧内は、女性校長、女性副校長・女性教頭の割合）

「埼玉県教育委員会 女性活躍・子育て応援事業主プラン（後期計画）」において、「管理職に占める女性職員の割合を令和7年度末までに概ね20%程度」という目標を掲げており、令和6年度においては男子校と女子校間の女性管理職の割合の差を、令和4年度と比べ改善させた。

引き続き、全体としての女性管理職の割合を高めるために、女性管理職の登用に努める必要がある。

イ 県立高校（全日制）の女性教職員の割合

	令和4年度	令和6年度
高校全日制	36.7% (35.3%)	37.2% (35.8%)
男女共学校	36.7% (34.2%)	37.2% (35.9%)
男子校	21.4% (19.3%)	21.6% (19.1%)
女子校	49.1% (47.0%)	50.3% (47.9%)

（表の括弧内は、女性教員の割合。教員とは、教育職員等（非常勤講師を含む）をいう。）

男子校の女性教職員の割合、特に女性教員の割合について、男女共同参画を推進する観点から、学校間の均衡に努める必要がある。

(5) 歴史や伝統の尊重と共学化の両立

歴史や伝統の尊重と共学化の両立について、アンケートや意見聴取等からは、「男女別学校の伝統や教育水準を損なわずに共学化は可能」との意見があった一方、「共学化によって校風や学校行事等の特色が失われる」などの意見があった。

なお、他県への調査では、各教育委員会や学校が、共学化に伴う教育活動の変化に対応するための工夫をしていたことが分かった。他県への調査の詳細は、別添5（139ページ）のとおり。

県教育委員会としては、これまでの学校の歴史や伝統の尊重は重要であると考えている。また、社会の変化や生徒のニーズ等を踏まえて、新しい歴史や伝統を創っていくことも重要であるとする。

(6) 県立高校における公共性

男女共同参画の視点から見れば、男女が互いに協力して学校生活を送ることは意義があることから、今後とも、男女が共に学んでいく学校をつくり上げていくことが望ましいと考える。

また、男女共同参画の視点に立った教育を推進していくことは重要である。

本県では、男女別学校にも、県民からの一定のニーズがある中で、男女共学校、男子校、女子校を選択できる状況にあり、男女の教育の機会均等を確保している。

今後とも、社会の変化や中学生を含めた県民の意見を踏まえた、総合的な視点から県立高校の公共性を確保していくことが重要である。

4 今後の方向性

上記1から3までの内容を踏まえ、令和5年度勧告に対する今後の方向性を次に示す。

(1) 令和5年度勧告で提言された施策等への対応

ア 設置学科等の在り方について、理数科、外国語科等、家庭（家政・保育）に関する学科は、男女で入学できる学校数に相違がある。また、保育に関する科目を学ぶことができる女子校4校及び男女共学校85校で、履修できる単位数は、保育科と比べると少なくなっている。したがって、学科再編等に当たっては、それぞれの均等に留意していく。

イ 再編整備計画について、今後、男女共同参画の視点に立った教育や共学化に関する県教育委員会の考え方を県民に示すため、「魅力ある県立

学校づくりの方針」への記載を検討する。

ウ 県立高校の女性管理職及び女性教職員の割合について、県立高校全体として女性管理職を増やすとともに、特に男子校における女性管理職について、女子校や男女共学校との均衡を図る。また、男子校の女性教職員の割合、特に女性教員の割合について、男女共同参画を推進する観点から、学校間の均衡に努める。

エ 歴史や伝統の尊重と共学化の両立について、県教育委員会として、男女別学校を男女共学校とする際には、これまでの学校の歴史や伝統を尊重しつつ、社会の変化や生徒のニーズ等を踏まえて、学校が新しい歴史や伝統を創りあげていくことができるよう学校を支援していく。

オ 男女共同参画の視点に立った教育について、今後、全ての県立高校において、より一層推進するため、教職員への研修を充実させていく。

(2) 県立高校の共学化について

男女共同参画社会の中において、高校の3年間を男女が互いに協力して学校生活を送ることには意義があり、県教育委員会は、主体的に共学化を推進していくこととする。

今回のアンケートや意見聴取等では、男女共学校について、「自分の学力に合っている」との意見が多くあった一方で、男女別学校について、「学校の伝統や校風に魅力がある」との意見も多かった。そのほか、様々な内容の意見があり、男女共学校、男女別学校には、多様なニーズがあることが分かった。

このことから、男女別学校の共学化に当たっては、県民の意見を丁寧に把握する必要があるため、県教育委員会が、アンケートや地域別での意見交換、有識者からの意見聴取などを実施していく。

今後、中学校卒業生数が減少し、また、教育ニーズが多様化していく中、男女における教育の機会均等を確保しながら、将来にわたり個人の能力と希望に応じた進学先の選択肢を用意することが求められる。県教育委員会として、今後の県立高校の在り方について総合的に検討する中で、主体的に共学化を推進していく。

別添 1-1 埼玉県立の男女別学校に関するアンケート（記名あり）
（措置報告書 2 ページ「2(2)ア 埼玉県立の男女別学校に関するアンケート」関係）

- ・ 中学生
- ・ 高校生
- ・ 中学生保護者
- ・ 高校生保護者

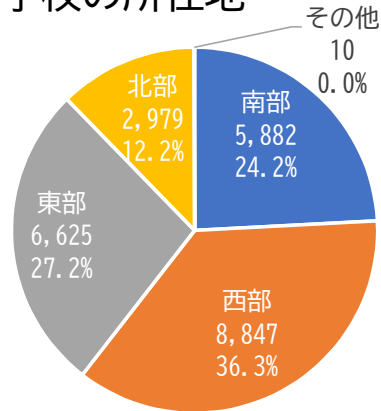
中学生

- (1) 在学校の所在地
- (2) 学年
- (3) 性別
- (4) 在学校（共学・別学など）
- (5) 在学校（市町村立・私立など）
- (6) 進学したい高校（共学・別学など）
- (7) (6)を選んだ理由 (6)への回答別の理由
- (8) (7)で「男女共学校であるから」を選んだ理由
- (9) (7)で「男女別学校であるから」を選んだ理由
- (10) 県立男女別学校の在り方について
- (11) (10)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由
- (12) (10)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由
- (13) 在学校の所在地域別の進学したい高校
- (14) 在学校の所在地域別の共学化に対する考え
- (15) 進学したい高校別の共学化に対する考え
- (16) 進学したい高校別の共学化した方がよいと考える理由
- (17) 進学したい高校別の共学化しない方がよいと考える理由

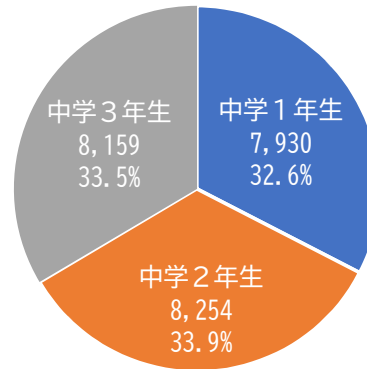
中学生

回答人数：24,343人

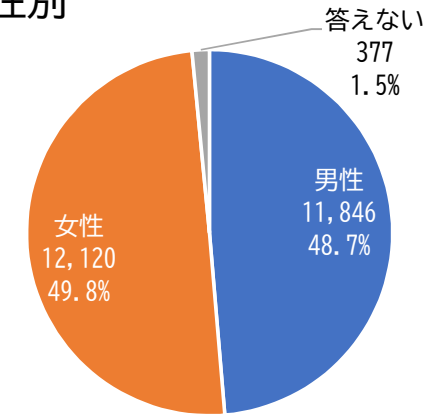
(1) 在学校の所在地



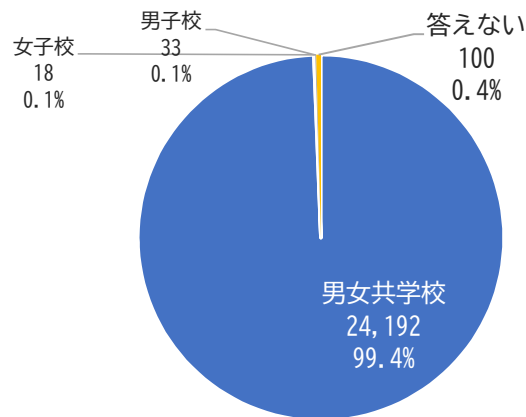
(2) 学年



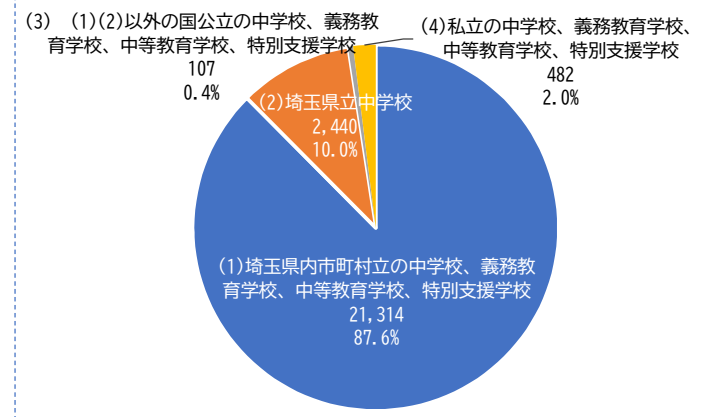
(3) 性別



(4) 在 schools (共学・別学など)



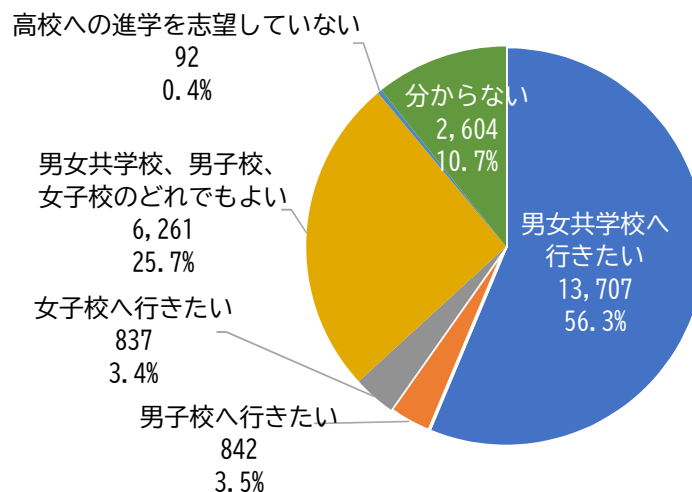
(5) 在 schools (市町村立・私立など)



南部	川口市・蕨市・戸田市・さいたま市・鴻巣市・上尾市・桶川市 北本市・伊奈町
西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市 三芳町・川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町 越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町 ときがわ町・東秩父村・所沢市・飯能市・狭山市・入間市 日高市
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町 行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市 宮代町・杉戸町
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町

中学生

(6) 次のうちのどの高校へ進学したいですか。
現時点の考えを教えてください。



(7) (6) の回答を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

【(6)で「男女共学校へ行きたい」「男子校へ行きたい」「女子校へ行きたい」「男女共学校、男子校、女子校のどれでもよい」を選んだ方のみ】※上位3項目は水色(以下同じ。)

項目	選択数	選択割合
① 自分の学力に合っているから	6,687	17.1%
② 自分が学びたい学科があるから	3,167	8.1%
③ 自分が望む進学や就職などの実績があるから	3,306	8.4%
④ 部活動や学校行事にみりょくがあるから	7,294	18.6%
⑤ 学校の伝統や学校のふんいきにみりょくがあるから	3,769	9.6%
⑥ 通学が便利だから	3,698	9.4%
⑦ 男女共学校であるから	5,413	13.8%
⑧ 男女別学校であるから	718	1.8%
⑨ その他(50字以内)	764	2.0%
⑩ 特にない・分からない	4,360	11.1%
選択数計	39,176	100.0%

	(6)への回答別の理由			
	男女共学校へ行きたい 25,304件	男子校へ行きたい 1,685件	女子校へ行きたい 1,673件	共学・別学どれでもよい 10,514件
①	16.7%	16.7%	11.7%	19.0%
②	7.6%	5.7%	5.7%	10.1%
③	7.4%	11.7%	9.7%	10.2%
④	19.4%	19.1%	16.5%	17.0%
⑤	9.0%	19.0%	18.1%	8.4%
⑥	9.4%	6.5%	7.5%	10.3%
⑦	20.5%	0.2%	0.2%	2.0%
⑧	0.1%	14.7%	24.2%	0.4%
⑨	1.8%	3.5%	3.6%	1.8%
⑩	8.2%	3.0%	2.9%	20.8%

中学生

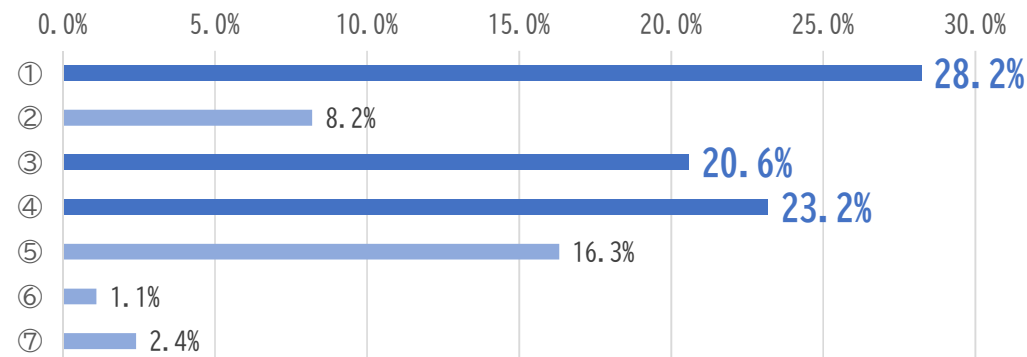
(7) ⑨その他（50字以内）の要旨

「(6)の回答を選んだ理由を選んでください」の記述		764件
要旨	将来のためになるから、自分が学びたいことが学べるから。	106件
	男女共学校、男女別学校といったこだわりはないから。	91件
	青春できるから、恋愛したいから。	90件
	様々な人と関わりたいから、男女関係なく仲良くしたいから。	74件
	楽しそうだから、校則が厳しくないから。	59件
	入りたい部活動があるから、部活が強い高校に入学したいから。	54件
	親族等に勧められたから。	47件
	男女別学校で同性のみだと人間関係が不安だから。	38件
	男女別学校で同性だけの方が楽しそうだから。	32件
	今通っている学校が、中高一貫校等でそのまま進学するから。	31件
	制服が可愛いから。	25件
	志望校が決まっていないから。	19件
	異性が苦手だから。	17件
	通学しやすいから。	13件
	今通っている中学校が、男女共学校だから。	11件
	高い学力の学校に通いたいから。	10件
	志望している学校が男女別学校だから。	7件
	志望している学校が男女共学校だから。	6件
	男女が両方いることは自然だから。	4件
	入学したい学校があるから。	4件
男女別学校は自分の力を高めることができるから。	3件	
男女共学校はジェンダー平等であるから。	2件	
寮生活をしたいから。	2件	
	左記のほかの意見（要旨）19件	
	<ul style="list-style-type: none"> ・異性と関わりたくないため男女別学校に入学したいが、自分に合った男女別学校がないから。 ・男子のほうが多いから。 ・女子校に行くと、自分の性別が女子だと確定するから。 ・その学校に行くために勉強を頑張りたいから。 ・現在通っている学校が特別支援学校であるから。 ・男性と女性どちらとも恋愛ができるから。 ・ジェンダー平等と男女共学化は別問題であるから。 ・性別が偏ってると思想も偏ってしまうかもしれないから。 ・男女別学校の存在も認めるべきだから。 ・男女が分かっていると、区別されているように感じるから。 ・学費が私立高校と比べ負担が少ないから。 ・嫌いな人がいないから。 ・男女別学校に行く理由がないから。 ・現在、男女共学校に通っており、今後は男女別学校を経験してみたいから。 ・不登校であってもフオー体制制がしっかりしていて受け入れてもらえる学校だから。 	
	その他意味が不明瞭など4件	

中学生

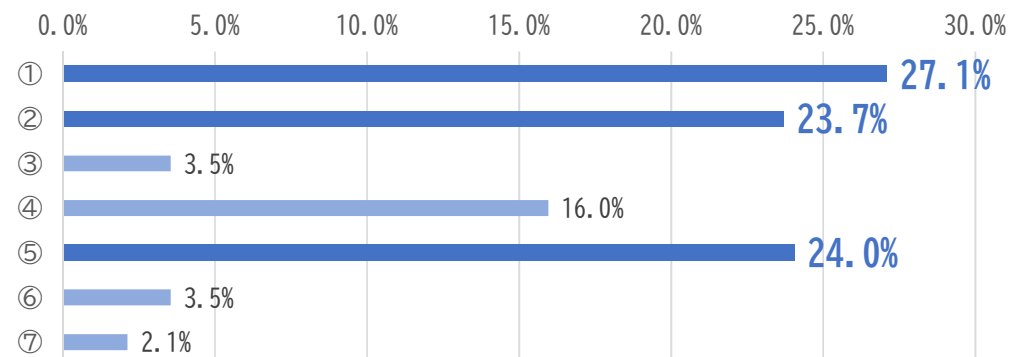
(8) (7)で「男女共学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 異性ととも学校生活を送りたいから	3,106	28.2%
② 自分の力を発揮できる、または、のびることができるから	902	8.2%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	2,262	20.6%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	2,549	23.2%
⑤ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,795	16.3%
⑥ その他(50字以内)	122	1.1%
⑦ 特にない・分からない	265	2.4%
選択数計	11,001	100.0%



(9) (7)で「男女別学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 異性と関わらずに学校生活を送りたいから	382	27.1%
② 自分の力を発揮できる、または、のびることができるから	334	23.7%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	50	3.5%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	225	16.0%
⑤ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	339	24.0%
⑥ その他(50字以内)	50	3.5%
⑦ 特にない・分からない	30	2.1%
選択数計	1,410	100.0%



中学生

(8) ⑥その他(50字以内)の要旨

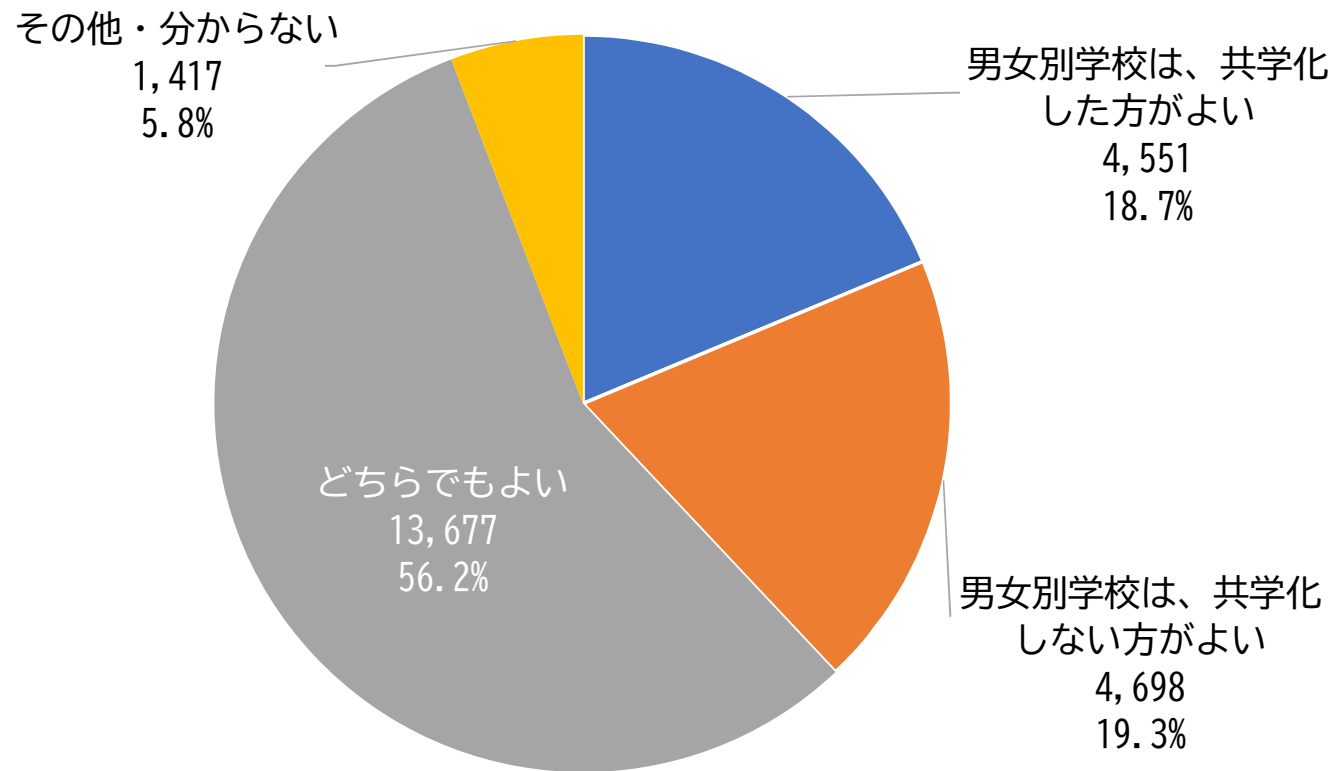
「(7)で『男女共学校であるから』を選んだ理由を選んでください」の記述		122件	
要旨	恋愛・青春したいから、様々な人と関わりたいから。	54件	左記のほかの意見(要旨)13件 ・性別ではなく、1人の人間として接するべきだと思うから。 ・男女別学校と比べ、運動が厳しくないから。 ・入学したい高校が男女共学校であるから。 ・男女共学校の方が異性が大人しいから。 ・自分に合った公立高校で力を発揮したいから。 ・男子として過ごしてみたいけど、自由な学校であり、かつ男女共学校に入学したいから。 ・ほとんどの県立高校が男女共学校であるから。 ・制服にズボンがあるから。 ・性同一性障害なので、同性だけの男女別学校だと不安になってしまうから。 ・自宅から近いから。 ・性別による差別がこの先なくなってほしいから。 ・男女別学校に魅力を感じるようなものがなく、自分の理想に当てはまらなかったから。 ・親から男女別学校より男女共学校の方が将来役立つと言われたから。
	男女別学校で同性だけの環境は苦手だから。	30件	
	社会では男女一緒なので慣れておきたいから。	8件	
	これまで男女共学校で学校生活を送ってきたから。	5件	
	興味のある部活、行事があるから。	3件	
	男女別学校の雰囲気合わないから。	3件	
	楽しそう、いじめが少なそうだから。	2件	
	男女を分けることの必要性を感じないから。	2件	
男女でともに学んだ方がメリットがあるから	2件		

(9) ⑥その他(50字以内)の要旨

「(7)で『男女別学校であるから』を選んだ理由を選んでください」の記述		50件	
要旨	同性だけの学校生活は楽しそうだから。	28件	左記のほかの意見(要旨)3件 ・男女は別にした方がよいから。ジェンダーの人達は意見を押し付けなくてほしい。 ・男女別学校は、今しか経験できないから。 その他意味が不明瞭など1件
	異性が苦手だから。	12件	
	伝統、校風、学校行事に惹かれたから。	5件	
	親族等が通っていたから、友達が入学したいと言っているから。	2件	

中学生

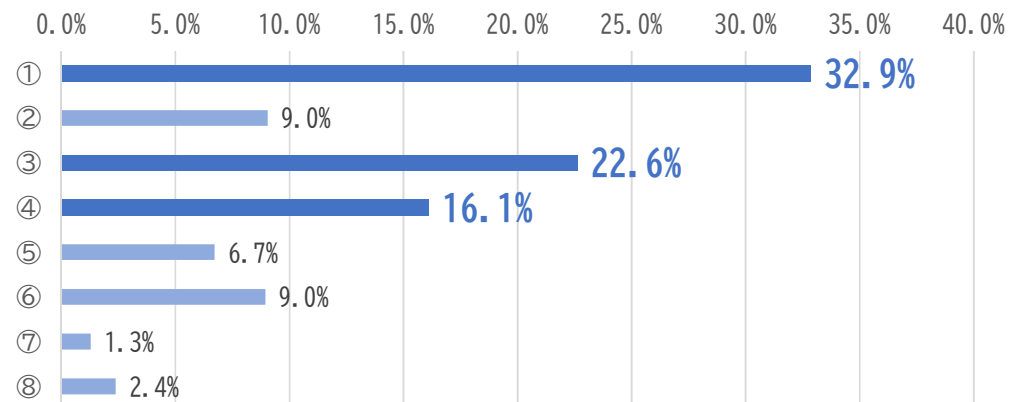
(10) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



中学生

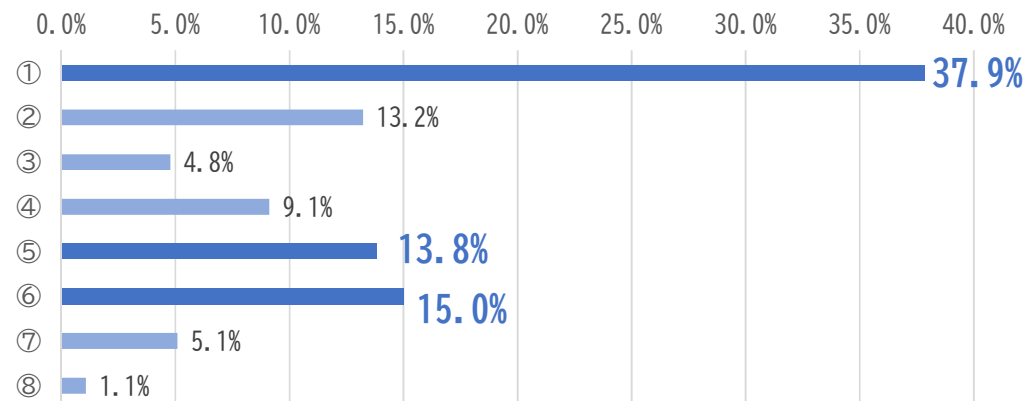
(11) (10) で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	3,189	32.9%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	878	9.0%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	2,196	22.6%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	1,563	16.1%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や学校のふんいきのいじができるから	653	6.7%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	869	9.0%
⑦ その他(50字以内)	126	1.3%
⑧ 特にない・分からない	232	2.4%
選択数計	9,706	100.0%



(12) (10) で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選べる方がよいから	3,697	37.9%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	1,292	13.2%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	467	4.8%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	890	9.1%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や学校のふんいきのいじができなくなるから	1,352	13.8%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,464	15.0%
⑦ その他(50字以内)	498	5.1%
⑧ 特にない・分からない	106	1.1%
選択数計	9,766	100.0%



中学生

(11) ⑦その他（50字以内）の要旨

「(10)で『男女別学校は、共学化した方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述		126件
要旨	社会に出たとき異性とコミュニケーションが取れないと困るから、恋愛・青春をしたいから。	48件
	高校選択の幅が広がるから、共学に行きたい生徒の選択肢が広がるから。	25件
	男女が共に生活することは当たり前であるから、男女で分ける必要はないから。	16件
	ジェンダー平等となるから。	14件
	少子高齢化対策となるから。	6件
	同性が苦手な生徒がいるから。	4件
	性別は関係ないと思うから。	2件

左記のほかの意見（要旨）11件

- ・男女共学が駄目という理由がないから。
- ・自分の考えに合った過ごし方ができるから。
- ・私立高校ではないのだからわざわざ男女別にする必要性はないと思う。
- ・定員割れを防ぐことができるから。
- ・着たい方の制服を着ることができるから。
- ・女子校の場合、女子だけの募集だと偏差値が下がってしまうから。
- ・埼玉県だけ公立高校が共学化していないから。
- ・男子（女子）には出来て女子（男子）には出来ないことがあるから。
- ・勧告の「男子校の女子の入学は当然認めるべきだ。」なら女子校の男子の入学は当然認めるべきであるはず。

(12) ⑦その他（50字以内）の要旨

その他意味が不明瞭など2件

「(10)で『男女別学校は、共学化しない方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述		498件
要旨	異性への苦手意識を持っている人がいるから。	187件
	男女別学校、男女共学校をそれぞれ選択できるようにすべきだから、選択の自由・権利を奪うべきではないから。	64件
	男女別学校を志望しているから。	63件
	異性の目を気にせず集中できるから、同性のみの良さがあるから。	50件
	男女別学校を共学化する必要はないから。	45件
	男女別学校でしか体験できないことがあるから。	23件
	男女共学化とジェンダー平等は関係がないから。	20件
	男女共学化により、学校独自の雰囲気や伝統が失われてしまうから。	9件
	男女の特性に応じた教育が必要だから。	2件
	母校を残したいから。	2件
	男女共学化により志願倍率が上がってしまうから。	2件

左記のほかの意見（要旨）31件

- ・男女別学校だと受検時に争う人数が減るから。
- ・共学化により定員割れの可能性があるから。
- ・男女別学校でも、異性と関わる機会が少しでもあったらよいと思うから。
- ・自分が受検する頃に、男女共学化などで混乱してほしくないから。
- ・先輩が通っている男女別学校に行きたいから。
- ・男子、女子の名前が校名に付いているところを共学にするのは駄目だから。
- ・男女別学校に行きたいトランスジェンダーの生徒は、男女共学校に行けばよいと思うから。
- ・男女別学校と同じくらいの偏差値の男女共学校を作れば、性に関する悩みを抱えた生徒も希望できると思うから。
- ・男女別学校を希望する子供の意見を尊重してほしいから。
- ・男女共学化により、トイレの設置など、難しい課題が出てくるから。
- ・性自認が身体の性と異なる生徒が、男女別学校に入学できるようにした方がよいから。
- ・男女共学校、男女別学校、全ての良いところを合わせた高校を作ればよいと思うから。
- ・男女別学校だけしかないなら差別になるが、男子校、女子校は同じくらいあり、共学校もあるので平等であるから。
- ・普段異性と会わない方が、お互い理解しようと思えるようになるから。
- ・男女別学校と同じくらいの学力の男女共学校があるから。また、男女共学化にはコストがかかるから。
- ・男子が入るために作られた学校に女子が入るのはおかしいと思うから。
- ・男女別学校を目標に今まで頑張ってきたから。
- ・共学化すると、性別によって学力差や人数差が出てしまい、校内のバランスが悪くなるから。
- ・強制的に共学化するのではなく、それぞれの学校が自分達で判断するべきと思うから。
- ・今回の議論は、別学に通っている高校生へのいじめだと思うから。
- ・共学化を推進する方は、自分たちのエゴを押し付けて子供の道を阻んでいるから。

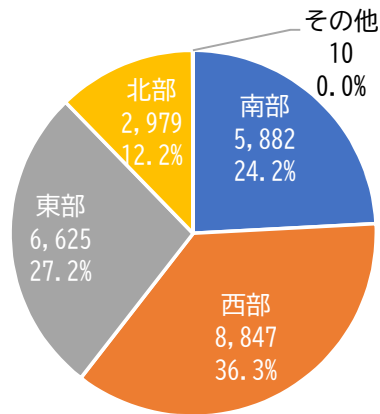
その他意味が不明瞭など10件

中学生

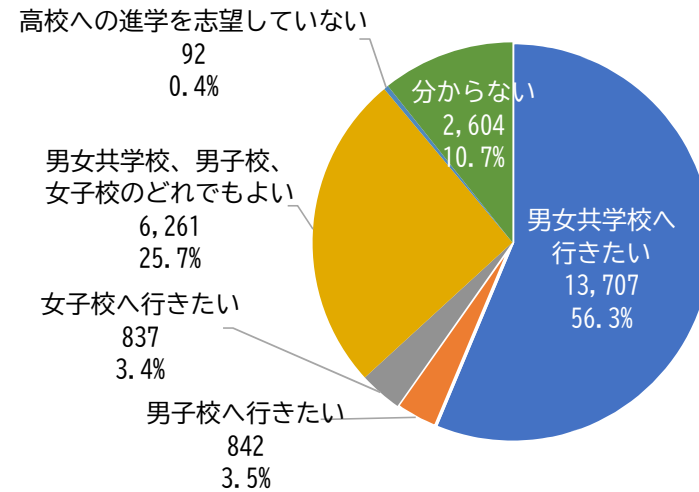
(13) 在学校の所在地別の進学したい高校 <(1)在学校の所在地×(6)進学したい高校>

項目	南部 5,882 (24.2%)	西部 8,847 (36.3%)	東部 6,625 (27.2%)	北部 2,979 (12.2%)	その他 10 (0.0%)
① 男女共学校へ行きたい	57.0%	54.3%	58.8%	55.5%	30.0%
② 男子校へ行きたい	3.2%	4.1%	2.6%	4.0%	10.0%
③ 女子校へ行きたい	2.8%	3.9%	2.6%	5.1%	20.0%
④ 男女共学校、男子校、女子校のどれでもよい	26.3%	25.8%	25.4%	24.9%	40.0%
⑤ 高校への進学を志望していない	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%
⑥ 分からない	10.2%	11.5%	10.3%	10.2%	0.0%

(1) 在学校の所在地



(6) 次のうちどの高校へ進学したいですか。現時点の考えを教えてください。

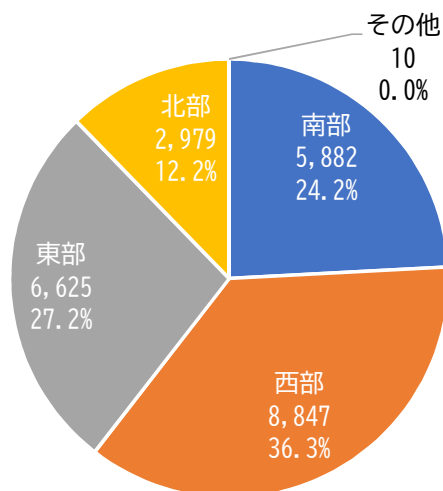


中学生

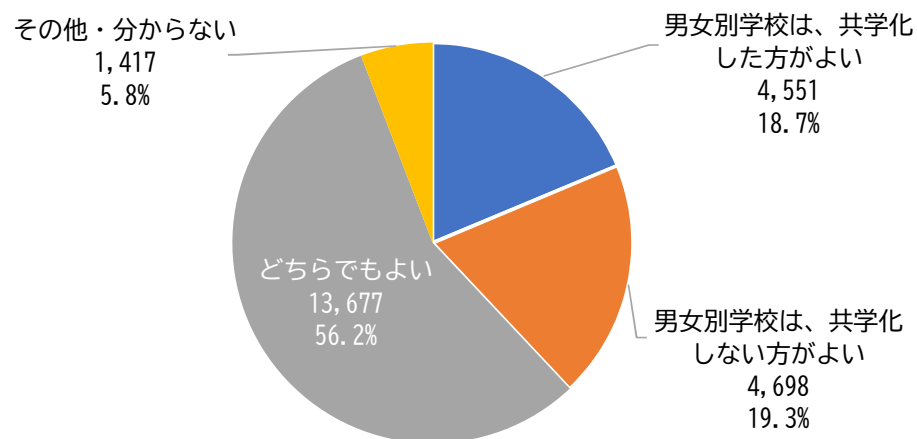
(14) 在学校の所在地別の共学化に対する考え <(1)在学校の所在地×(10)男女別学校の在り方>

項目	南部 5,882 (24.2%)	西部 8,847 (36.3%)	東部 6,625 (27.2%)	北部 2,979 (12.2%)	その他 10 (0.0%)
① 男女別学校は、共学化した方がよい	18.9%	17.5%	19.4%	20.2%	30.0%
② 男女別学校は、共学化しない方がよい	21.5%	19.2%	17.7%	18.8%	30.0%
③ どちらでもよい	54.4%	56.9%	57.4%	55.1%	30.0%
④ その他・分からない	5.2%	6.3%	5.6%	6.0%	10.0%

(1) 在学校の所在地



(10) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。

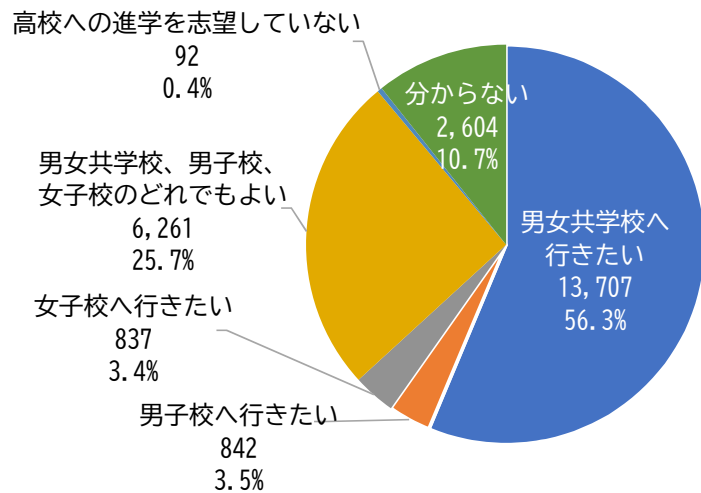


中学生

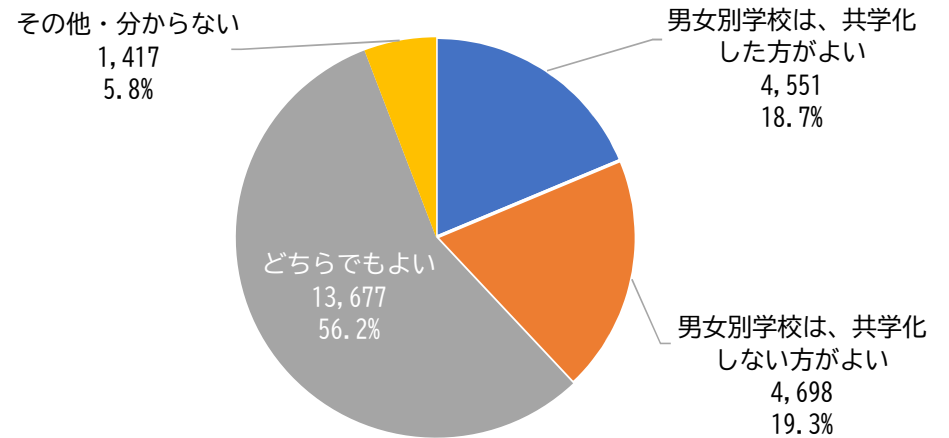
(15) 進学したい高校別の共学化に対する考え <(6)進学したい高校×(10)男女別学校の在り方>

項目	男女共学校 へ行きたい 13,707 (56.3%)	男子校へ行きたい 842 (3.5%)	女子校へ行きたい 837 (3.4%)	共学・別学 どれでもよい 6,261 (25.7%)	高校進学を 志望していない 92 (0.4%)	分からない 2,604 (10.7%)
① 男女別学校は、共学化した方がよい	26.2%	10.1%	3.9%	8.9%	16.3%	10.4%
② 男女別学校は、共学化しない方がよい	15.2%	53.0%	63.7%	21.5%	14.1%	10.7%
③ どちらでもよい	54.1%	33.4%	28.2%	65.8%	56.5%	60.6%
④ その他・分からない	4.5%	3.6%	4.2%	3.8%	13.0%	18.3%

(6) 次のうちどの高校へ進学したいですか。



(10) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



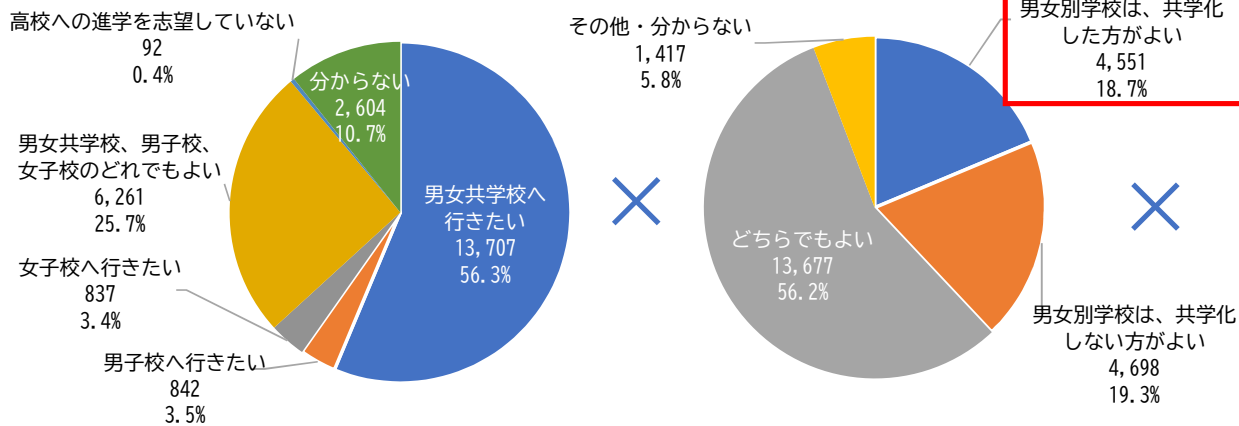
中学生

(16) 進学したい高校別の共学化した方がよいと考える理由

<(6)進学したい高校×(10)男女別学校の在り方×(11) (10)で「共学化した方がよい」理由>

項目	男女共学校へ 行きたい 7,629件	男子校へ 行きたい 175件	女子校へ 行きたい 65件	共学・別学 どれでもよい 1,230件	高校進学を 志望していない 32件	分からない 575件
男女別学校は、共学化した方がよい						
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	33.5%	32.0%	24.6%	31.8%	18.8%	28.9%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	9.0%	12.6%	4.6%	9.6%	6.3%	7.8%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	22.0%	24.6%	24.6%	24.6%	34.4%	25.6%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	16.1%	12.0%	21.5%	15.7%	18.8%	17.2%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や学校の雰囲気維持ができるから	7.1%	8.6%	4.6%	5.3%	3.1%	5.4%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	9.0%	5.7%	12.3%	9.0%	12.5%	8.3%
⑦ その他(50字以内)	1.0%	2.3%	6.2%	2.0%	6.3%	2.6%
⑧ 特になし・分からない	2.3%	2.3%	1.5%	2.0%	0.0%	4.2%

(6) 次のうちどの高校へ進学したいですか。 (10) 県立の男女別学校12校の在り方 (11) (10)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由 (三つまで選択可能)



項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	3,189	32.9%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	878	9.0%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	2,196	22.6%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	1,563	16.1%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や学校のふんいきのいじができるから	653	6.7%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	869	9.0%
⑦ その他(50字以内)	126	1.3%
⑧ 特になし・分からない	232	2.4%
選択数計	9,706	100.0%

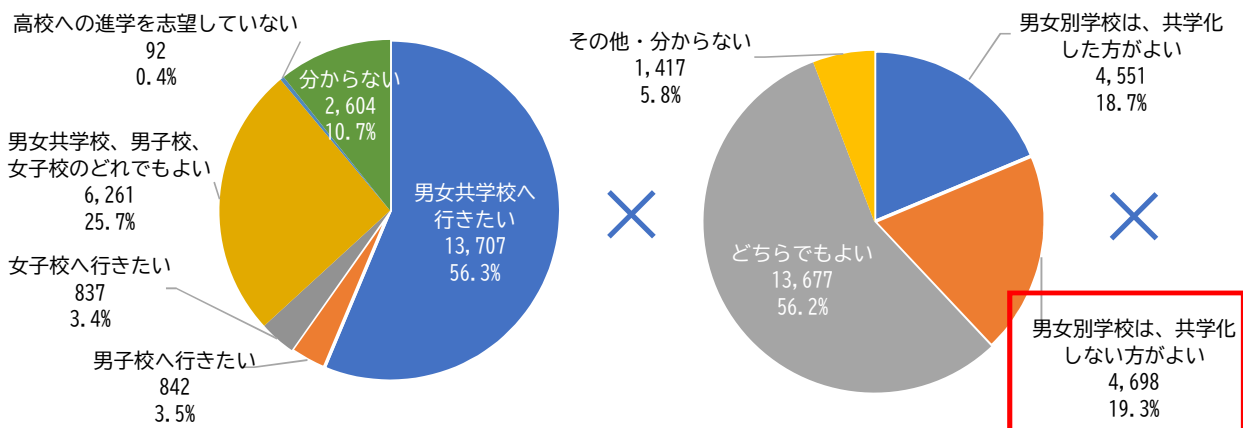
中学生

(17) 進学したい高校別の共学化しない方がよいと考える理由

<(6)進学したい高校×(10)男女別学校の在り方×(12)(10)で「共学化しない方がよい」理由>

項目	男女共学校へ 行きたい 4,069件	男子校へ 行きたい 989件	女子校へ 行きたい 1,237件	共学・別学 どれでもよい 2,888件	高校進学を 志望していない 27件	分からない 556件
男女別学校は、共学化しない方がよい						
① 男女共学校・男女別学校の両方を選べる方がよいから	40.9%	33.1%	35.2%	36.4%	22.2%	38.3%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	12.0%	18.4%	13.5%	13.4%	22.2%	10.8%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	6.3%	2.9%	2.1%	4.6%	11.1%	3.6%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	8.3%	6.3%	11.6%	10.1%	3.7%	9.7%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や学校のふんいきのいじがなくなるから	12.3%	22.0%	16.9%	12.4%	11.1%	11.3%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	14.3%	10.9%	16.3%	16.3%	18.5%	17.4%
⑦ その他(50字以内)	4.6%	5.4%	3.8%	5.9%	7.4%	6.8%
⑧ 特になし・分からない	1.2%	1.0%	0.6%	1.0%	3.7%	2.0%

(6) 次のうちどの高校へ進学したいですか。(10) 県立の男女別学校12校の在り方 (12) (10)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由(三つまで選択可能)



項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選べる方がよいから	3,697	37.9%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	1,292	13.2%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	467	4.8%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを体験することができるから	890	9.1%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や学校のふんいきのいじがなくなるから	1,352	13.8%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,464	15.0%
⑦ その他(50字以内)	498	5.1%
⑧ 特になし・分からない	106	1.1%
選択数計	9,766	100.0%

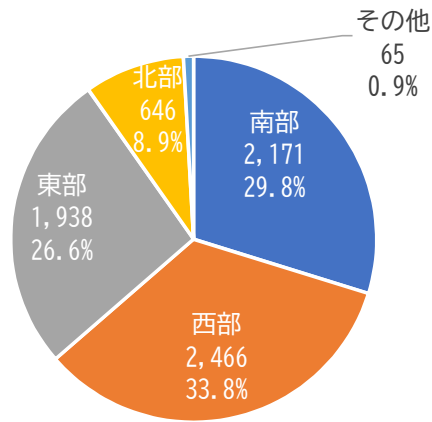
高校生

- (1) 居住地
- (2) 学年
- (3) 性別
- (4) 在学学校（共学・別学など）
- (5) 在学学校（県立・私立など）
- (6) 在学学校を選んだ理由（4）への回答別の理由
- (7)（6）で「男女共学校であるから」を選んだ理由
- (8)（6）で「男女別学校であるから」を選んだ理由
- (9) 在学している学校への評価（5項目）
- (10) 県立男女別学校の在り方について
- (11)（10）で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由
- (12)（10）で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由
- (13) 居住地域別の在学学校
- (14) 居住地域別の共学化に対する考え
- (15) 在学学校別の共学化に対する考え
- (16) 在学学校別の共学化した方がよいと考える理由
- (17) 在学学校別の共学化しない方がよいと考える理由
- (18) 在学学校別の学校への評価

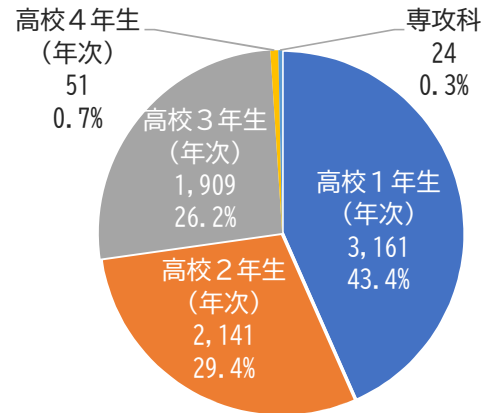
高校生

回答人数：7,286人

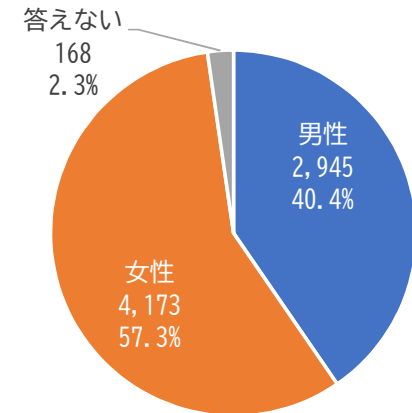
(1) 居住地



(2) 学年



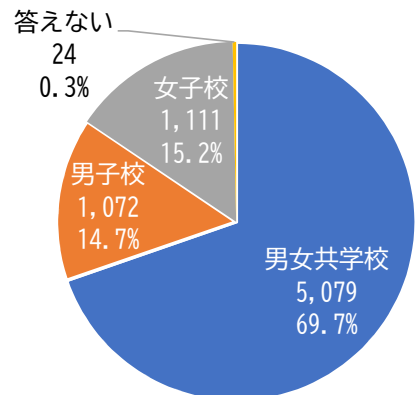
(3) 性別



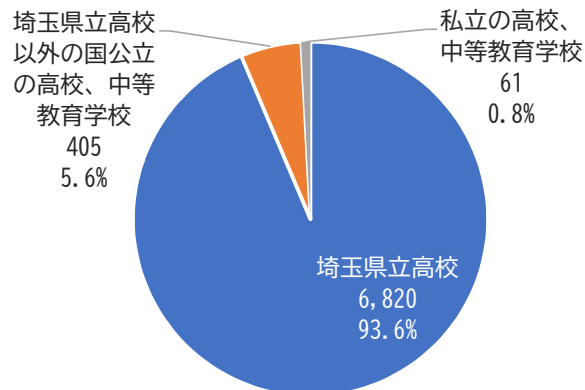
南部	川口市・蕨市・戸田市・さいたま市・鴻巣市・上尾市・桶川市 北本市・伊奈町
西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市 三芳町・川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町 越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町 ときがわ町・東秩父村・所沢市・飯能市・狭山市・入間市 日高市
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町 行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市 宮代町・杉戸町
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町

高校生

(4) 在学学校（共学・別学など）



(5) 在学学校（県立・私立など）



(6) 現在の在学学校を選んだ理由を選んでください。 (三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 自分の学力に合っているから	4,735	28.6%
② 自分が学びたい学科があるから	927	5.6%
③ 自分が望む進学や就職等の実績があるから	1,358	8.2%
④ 部活動や学校行事に魅力があるから	2,730	16.5%
⑤ 学校の伝統や校風に魅力があるから	1,902	11.5%
⑥ 通学が便利だから	2,370	14.3%
⑦ 男女共学校であるから	921	5.6%
⑧ 男女別学校であるから	1,092	6.6%
⑨ その他（50字以内）	251	1.5%
⑩ 特にない・分からない	243	1.5%
選択数計	16,529	100.0%

	(4)への回答別の理由			
	男女共学校 10,764件	男子校 2,902件	女子校 2,816件	答えない 47件
①	31.4%	22.3%	24.7%	31.9%
②	7.5%	0.8%	3.3%	10.6%
③	8.3%	8.6%	7.5%	10.6%
④	15.6%	20.5%	15.9%	8.5%
⑤	7.2%	23.6%	15.6%	8.5%
⑥	17.6%	5.9%	10.5%	14.9%
⑦	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧	0.0%	16.9%	21.2%	2.1%
⑨	1.8%	1.1%	1.0%	4.3%
⑩	2.0%	0.4%	0.4%	8.5%

高校生

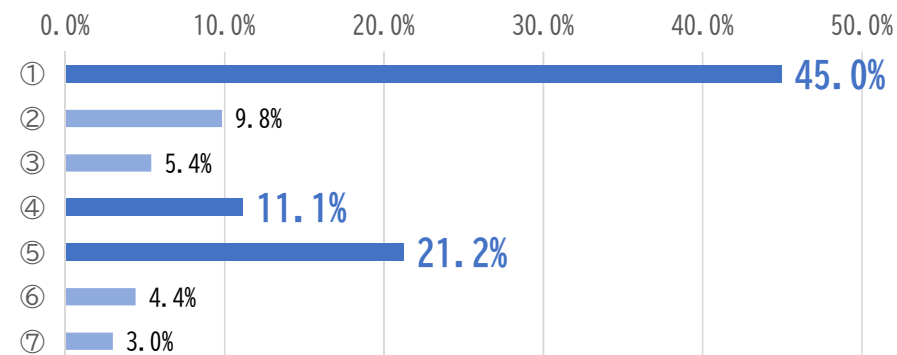
(6) ⑨その他（50字以内）の要旨

「現在の在学を選んだ理由を選んでください」の記述		251件
要 目	制服が気に入ったから。	49件
	資格が取得できるから、教育内容や定時制課程に魅力を感じたから。	37件
	通学しやすい、学校施設が整備されているから。	36件
	学校や生徒の雰囲気が良いから、校風を評価したから。	31件
	自分の学力に合っていたから。	27件
	希望する部活動があるから、学校行事など課外活動に魅力があるから。	19件
	同性のみの環境が良いから。	17件
	親族等に勧められたから。	13件
	中高一貫校であったから。	4件
	校則が厳しくないから。	4件
	友達がいるから。	3件
選んだ理由はない。	2件	
		左記のほかの意見（要旨）9件 <ul style="list-style-type: none"> ・学費が私立高校と比べ低額であるから。 ・いじめや嫌がらせがほぼないと聞いたから。 ・自身の体力に合っていたから。 ・余裕のある学校生活を送りたいから。 ・共学校であっても、一部の学校生活において男女で分かれて活動することがあるから。
		その他意味が不明瞭など4件

高校生

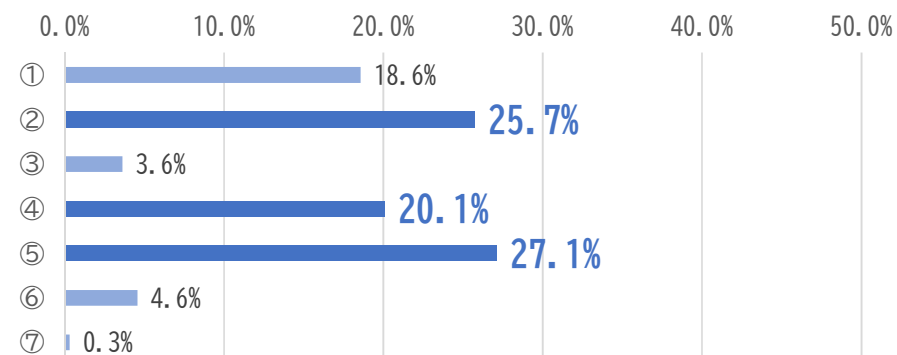
(7) (6)で「男女共学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 異性とともてに学校生活を送りたいから	690	45.0%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	151	9.8%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	83	5.4%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれないで学校生活を送ることができるから	171	11.1%
⑤ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	326	21.2%
⑥ その他(50字以内)	68	4.4%
⑦ 特にない・分からない	46	3.0%
選択数計	1,535	100.0%



(8) (6)で「男女別学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 異性と関わらずに学校生活を送りたいから	472	18.6%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	654	25.7%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	92	3.6%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれないで学校生活を送ることができるから	510	20.1%
⑤ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	689	27.1%
⑥ その他(50字以内)	116	4.6%
⑦ 特にない・分からない	8	0.3%
選択数計	2,541	100.0%



高校生

(7) ⑥その他（50字以内）の要旨

「(6)で『男女共学校であるから』を選んだ理由を選んでください」の記述		68件
要旨	社会では男女がともに生活をしているから、異性がいた方が様々な考えや意見などを学べるから。	33件
	男女共学校の雰囲気の魅力を感じるから。男女別学校の雰囲気が自分に合っていないから。	16件
	男女別学校の同性だけという環境は、人間関係で不安だから。	14件
	これまで（中学校）と同じ男女共学での学校生活を送りたかったから。	2件

左記のほかの意見（要旨）3件

- ・男女別学校よりも男女共学校の方が進路実現ができると思ったから。
- ・男子校のイメージがわからないから。
- ・選択重視型を取っていたから。

(8) ⑥その他（50字以内）の要旨

「(6)で『男女別学校であるから』を選んだ理由を選んでください」の記述		116件
要旨	異性の目を気にせず自分らしくのびのびと学校生活が送れるから、同性だけの環境は楽しそうだから。	75件
	異性が苦手だから、男女間のトラブルがないから。	25件
	これまで経験したことのない男女別学校に入学したいと思ったから。	4件
	別学校特有の伝統があるから、自由な校風だから。	3件
	親族等に勧められたから。	2件

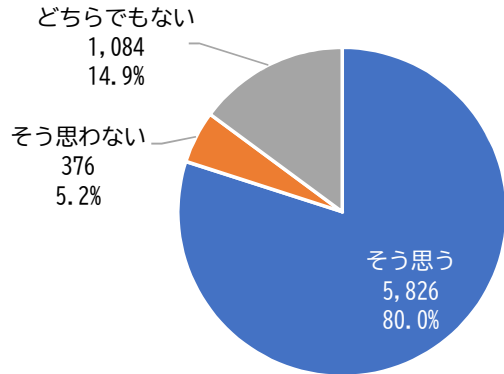
左記のほかの意見（要旨）7件

- ・昔からの憧れだったから。
- ・望んで別学校に来ているので、余計なことをしないでほしい。
- ・周りの目を気にせず同性と付き合うことができるから。
- ・これまで、「男子は〇〇」「女子は□□」と他人から言われて不快だったから。

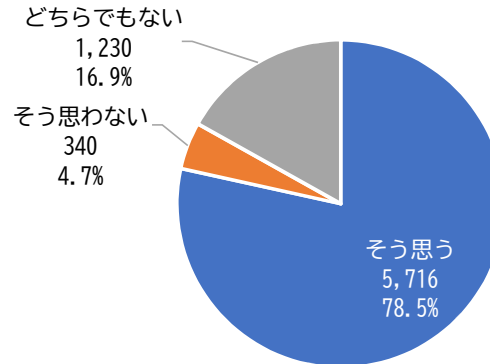
その他意味が不明瞭など3件

高校生

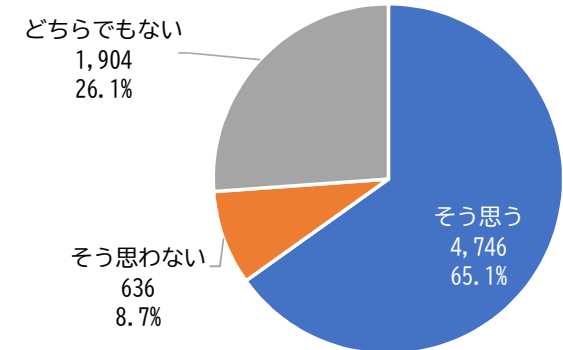
(9) 現在、在学している学校について伺います。以下の各項目は実際に入学してみてどうでしたか。各項目について、「そう思う」「そう思わない」「どちらでもない」から一つ選んでください。



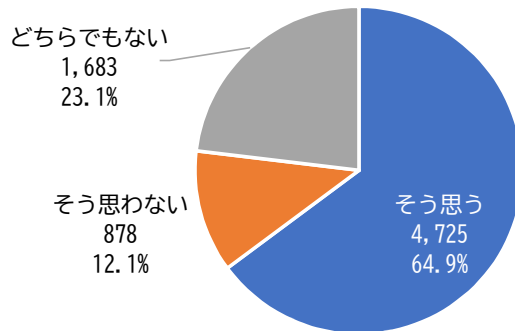
学校生活に満足している



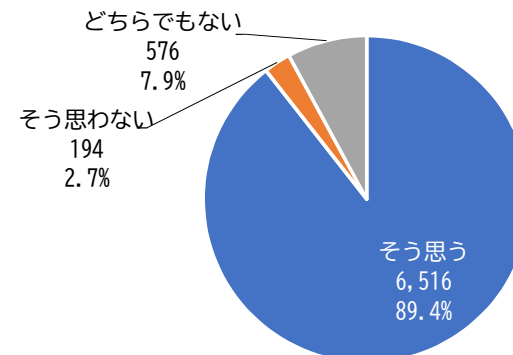
自分の力を発揮できる、
または、伸ばすことができる



男女共同参画やジェンダー平等に対する
理解が進んでいる



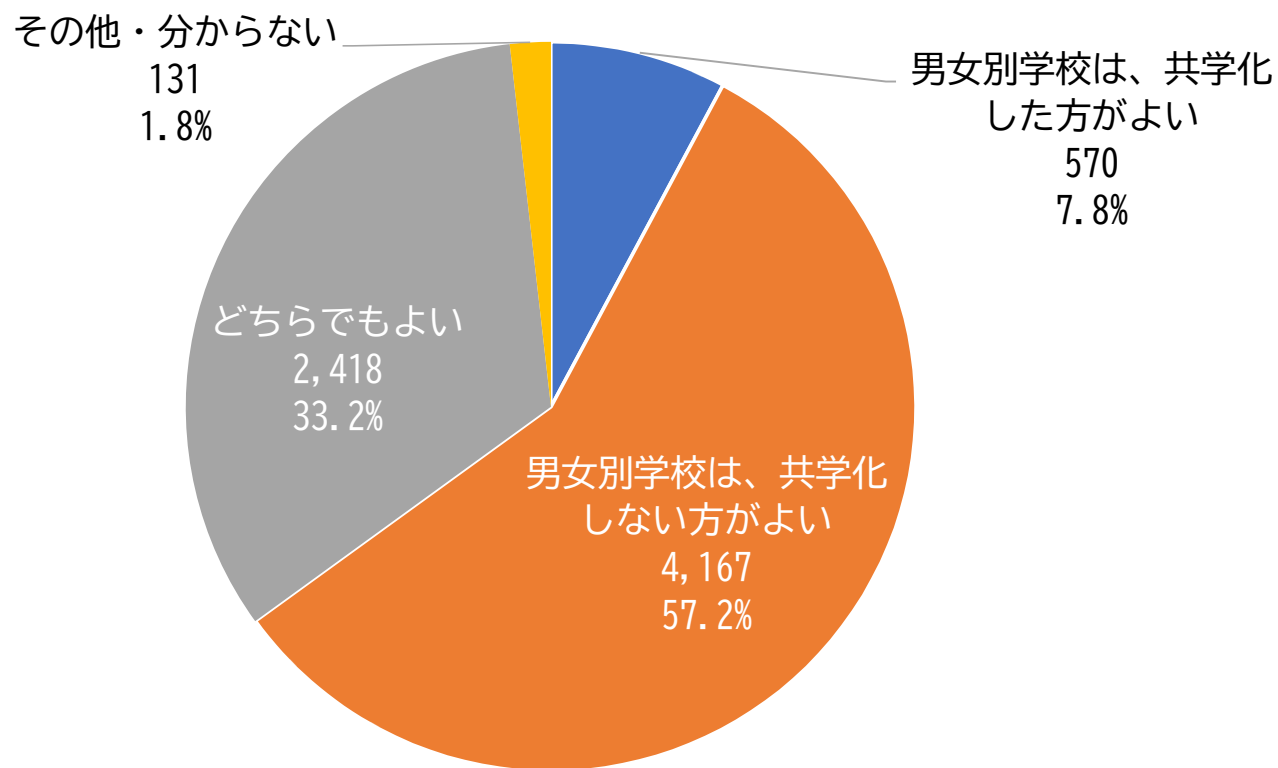
「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な
役割分担意識にとらわれないで学校生活を送れる



学校生活を安心して過ごせるような友人が
できる、または、居場所がある

高校生

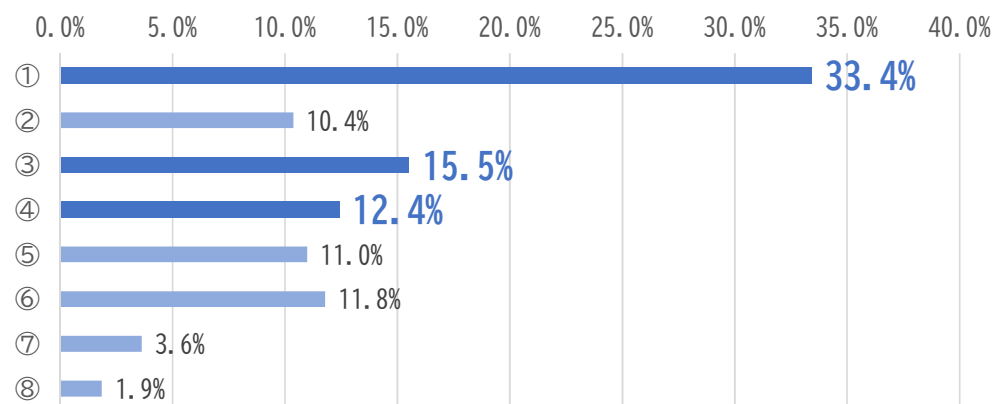
(10) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



高校生

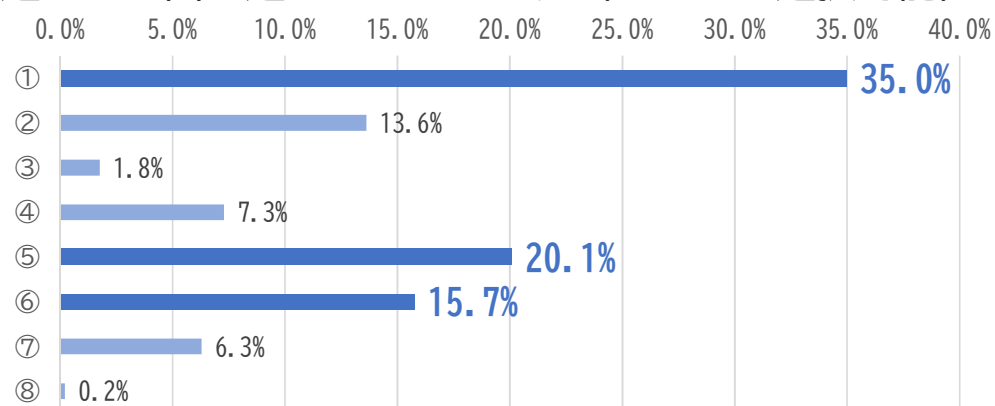
(11) (10) で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	377	33.4%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	117	10.4%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	175	15.5%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	140	12.4%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	124	11.0%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	133	11.8%
⑦ その他(50字以内)	41	3.6%
⑧ 特になし・分からない	21	1.9%
選択数計	1,128	100.0%



(12) (10) で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	3,486	35.0%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,358	13.6%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	176	1.8%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	727	7.3%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	2,001	20.1%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,569	15.7%
⑦ その他(50字以内)	627	6.3%
⑧ 特になし・分からない	22	0.2%
選択数計	9,966	100.0%



高校生

(11) ⑦その他（50字以内）の要旨

「(10)で『男女別学校は、共学化した方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述		41件
要旨	社会では男女がともに生活をしているから、異性がいた方が様々な考えや意見などを学べるから。	18件
	少子高齢化対策となるから。	5件
	男女別学校の志願倍率が低下しているから。	4件
	男女共学校に進学したいが、自分の学力に合った男女共学校が近隣にないから。	2件
		左記のほかの意見（要旨）12件
		・男子校の生徒が苦手だから。
		・ジェンダー平等を目指しているから。
		・男子校に興味を持つ女子生徒がいることを考えると、共学化すべきだから。
		・性別は、男女の二種類だけに分類できる訳ではないから。
		・男女共学校のみを志望していたので、学力的に選択肢が少なくなることについては問題だと思ったから。
		・トランスジェンダーである生徒は、希望する男女別学校に通うことが難しいから。
		・理由なし。
		その他意味が不明瞭など5件

(12) ⑦その他（50字以内）の要旨

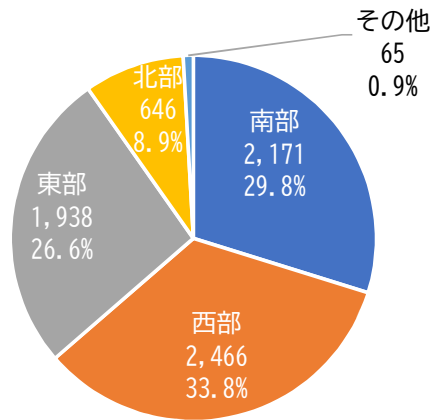
「(10)で『男女別学校は、共学化しない方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述		627件
要旨	異性に対して苦手・恐怖心を持っている生徒が、安心して学校生活を送ることができるから。	164件
	男女別学校、男女共学校をそれぞれ選択できた方がよいから。	135件
	共学化すると、男女別学校の伝統や雰囲気が失われてしまうから。	65件
	男女別学校を共学化する理由、必要性がないから。	47件
	男女別学校を希望している生徒がいるから。	42件
	異性の目を気にせずに伸び伸びと学校生活を送ることができるから。	42件
	共学化とジェンダー平等とは関係がないから。	41件
	埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に根拠がないから。	19件
	男女区別までなくす必要性はない、ジェンダー平等を掲げて子供の居場所を奪おうとしている、などジェンダー平等への意見	19件
	子供の意見を尊重するべきであるから。	15件
	共学化する際に施設の改修などコストがかかるから。	6件
	共学化すると、男女別学校に進学するには私立高校しかなくなり、経済的負担が増えるから。	5件
	自分の母校がなくなってしまうから。	4件
	性の多様性にこだわることで、男女別学校へ進学したい生徒の気持ちをないがしるにしないでほしいから。	3件
	共学化すると、男女別学校に入学した意味がなくなってしまうから。	2件
	トランスジェンダーの生徒が自認している性の男女別学校に入学できるようにすることが大切だから。	2件
		左記のほかの意見（要旨）16件
		・共学化すると、これまで別に存在していた共学校の特色がなくなってしまうから。
		・LGBTQ+に対する性差別が一切ない学校を作ればよいのではないか。
		・男子がいないから、女子がいないからという理由だけで男女別学校を選んだ人は少ないと思うから。
		・ジェンダーレス対応制服に変更してほしい。男女平等はそこからである。
		・男女別学校でしかできない貴重な体験ができ、多様な視点が生まれるから。
		・ジェンダー用の高校作ればよいと思う。共学にしてもメリットがない。
		・自分がもう一度高校を受検するならば、男女別学校に行きたい。
		その他意味が不明瞭など9件

高校生

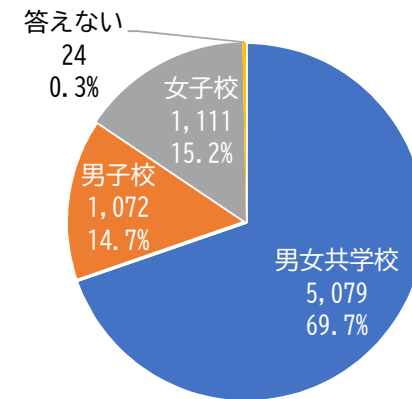
(13) 居住地域別の在学学校 <(1)居住地×(4)在学学校>

項目	南部 2,171 (29.8%)	西部 2,466 (33.8%)	東部 1,938 (26.6%)	北部 646 (8.9%)	その他 65 (0.9%)
① 男女共学校	68.9%	67.1%	75.8%	66.3%	49.2%
② 男子校	13.5%	19.7%	7.9%	19.5%	20.0%
③ 女子校	17.2%	12.9%	15.9%	14.2%	30.8%
④ 答えない	0.4%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%

(1) 居住地



(4) 在学学校 (共学・別学など)

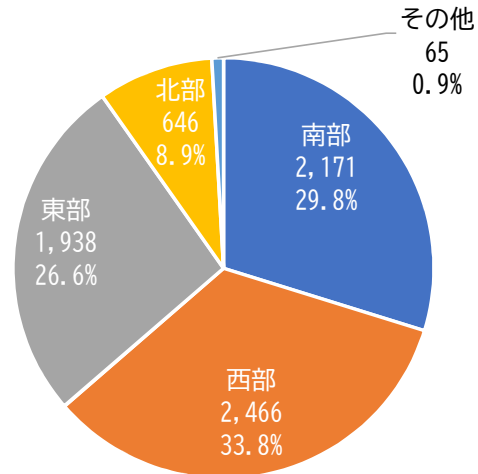


高校生

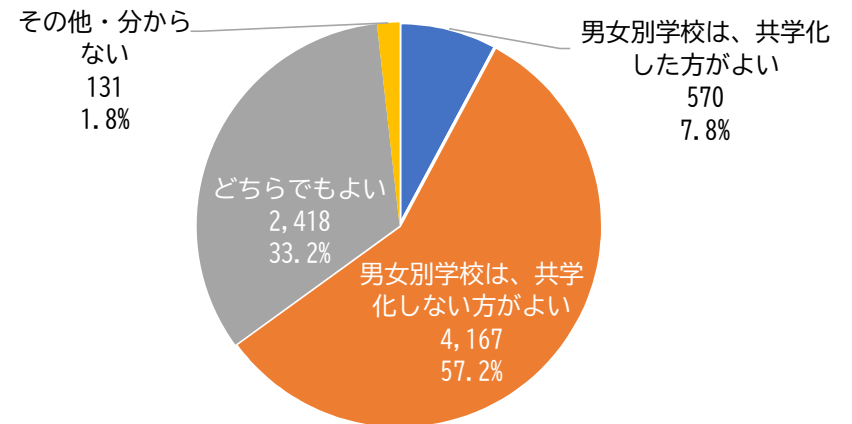
(14) 居住地域別の共学化に対する考え <(1)居住地×(10)男女別学校の在り方>

項目	南部 2,171 (29.8%)	西部 2,466 (33.8%)	東部 1,938 (26.6%)	北部 646 (8.9%)	その他 65 (0.9%)
① 男女別学校は、共学化した方がよい	6.1%	8.7%	7.7%	10.4%	7.7%
② 男女別学校は、共学化しない方がよい	65.0%	54.4%	54.6%	48.6%	64.6%
③ どちらでもよい	26.9%	35.2%	36.0%	38.9%	27.7%
④ その他・分からない	2.0%	1.7%	1.7%	2.2%	0.0%

(1) 居住地



(10) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。

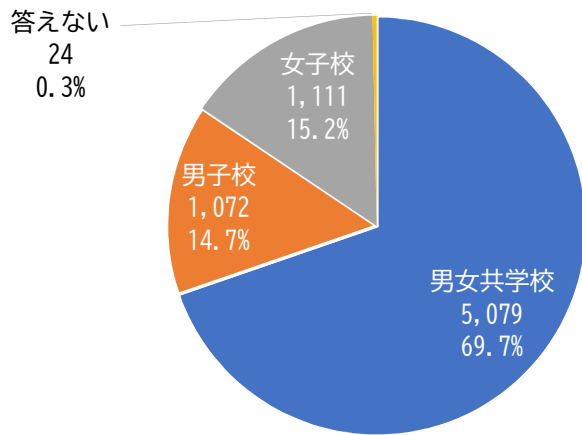


高校生

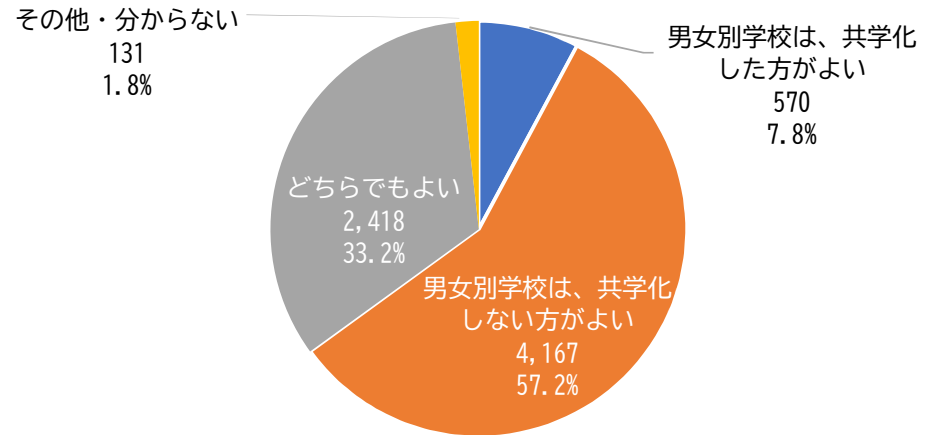
(15) 在 schools 別の共学化に対する考え <(4) 在 schools × (10) 男女別 schools の在り方>

項目	男女共学校 5,079 (69.7%)	男子校 1,072 (14.7%)	女子校 1,111 (15.2%)	答えない 24 (0.3%)
① 男女別 schools は、共学化した方がよい	9.0%	5.7%	4.8%	4.2%
② 男女別 schools は、共学化しない方がよい	45.0%	85.5%	85.2%	62.5%
③ どちらでもよい	43.6%	8.6%	9.7%	25.0%
④ その他・分からない	2.4%	0.2%	0.3%	8.3%

(4) 在 schools (共学・別学など)



(10) 県立の男女別 schools 12校の在り方について選んでください。



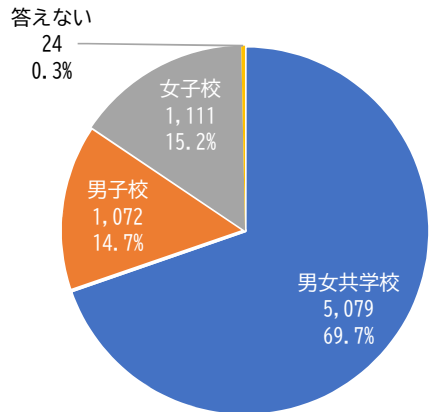
高校生

(16) 在 schools 別の共学化した方がよいと考える理由

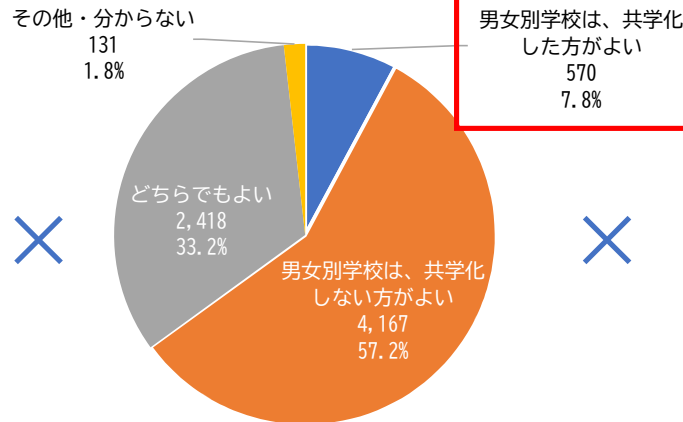
<(4) 在 school × (10) 男女別 school の在り方 × (11) (10) で「共学化した方がよい」理由>

項目	男女共学校 871件	男子校 148件	女子校 108件	答えない 1件
男女別 school は、共学化した方がよい				
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	35.5%	26.4%	25.9%	100.0%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	10.6%	12.2%	6.5%	0.0%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	15.2%	16.9%	16.7%	0.0%
④ 「男子は○○」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	13.0%	10.8%	10.2%	0.0%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	9.0%	18.2%	17.6%	0.0%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	11.5%	10.1%	16.7%	0.0%
⑦ その他（50字以内）	3.2%	4.7%	5.6%	0.0%
⑧ 特にない・分からない	2.2%	0.7%	0.9%	0.0%

(4) 在 school (共学・別学など)



(10) 県立の男女別 school 12校の在り方



(11) (10) で「男女別 school は、共学化した方がよい」を選んだ理由 (三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	377	33.4%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	117	10.4%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	175	15.5%
④ 「男子は○○」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	140	12.4%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	124	11.0%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	133	11.8%
⑦ その他（50字以内）	41	3.6%
⑧ 特にない・分からない	21	1.9%
選択数計	1,128	100.0%

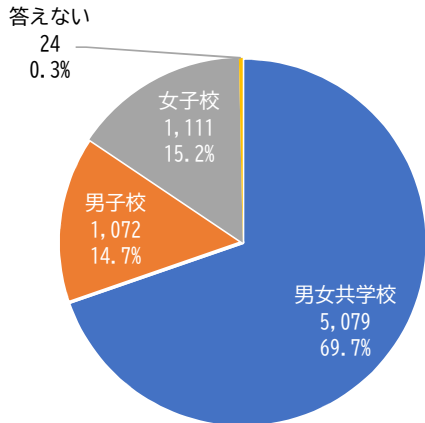
高校生

(17) 在 schools 別の共学化しない方がよいと考える理由

<(4) 在 school × (10) 男女別 school の在り方 × (12) (10) で「共学化しない方がよい」理由>

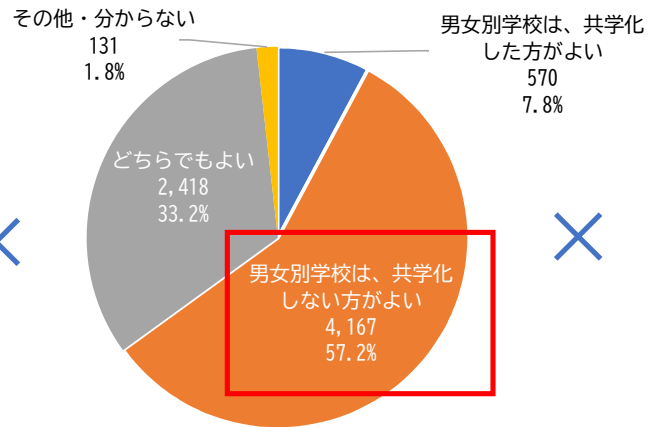
項目	男女共学校 4,993件	男子校 2,472件	女子校 2,460件	答えない 41件
男女別学校は、共学化しない方がよい				
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	39.4%	29.0%	32.2%	26.8%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	11.2%	16.8%	15.4%	9.8%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	1.6%	2.5%	1.4%	2.4%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	4.5%	7.6%	12.7%	4.9%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	19.0%	26.1%	16.1%	22.0%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	16.2%	12.0%	18.5%	22.0%
⑦ その他（50字以内）	7.8%	5.8%	3.7%	12.2%
⑧ 特にない・分からない	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%

(4) 在 school (共学・別学など)



×

(10) 県立の男女別 school 12校の在り方



×

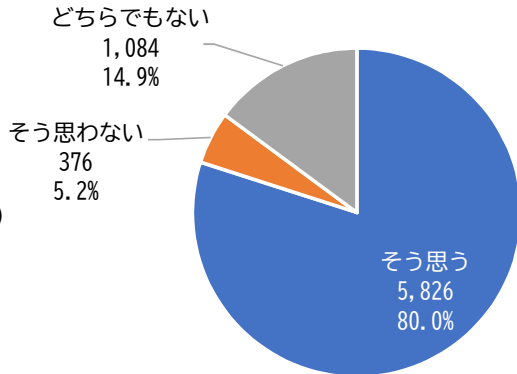
(12) (10) で「男女別 school は、共学化しない方がよい」を選んだ理由 (三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	3,486	35.0%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,358	13.6%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	176	1.8%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	727	7.3%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	2,001	20.1%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,569	15.7%
⑦ その他（50字以内）	627	6.3%
⑧ 特にない・分からない	22	0.2%
選択数計	9,966	100.0%

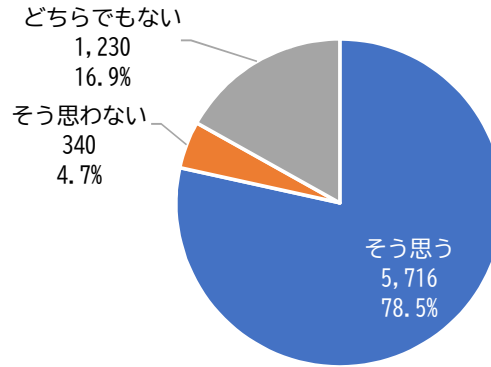
高校生

(18) 在学学校別の学校への評価 <(4)在学学校×(9)在学している学校への評価>

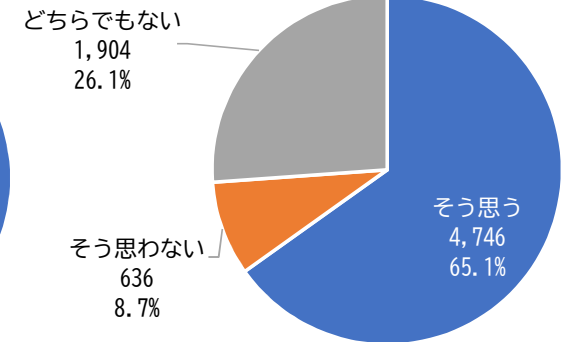
(9) 在学している学校への評価



学校生活に満足している

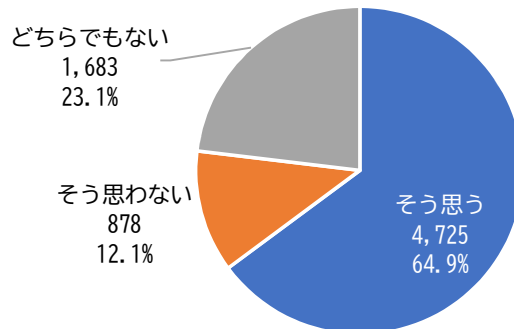
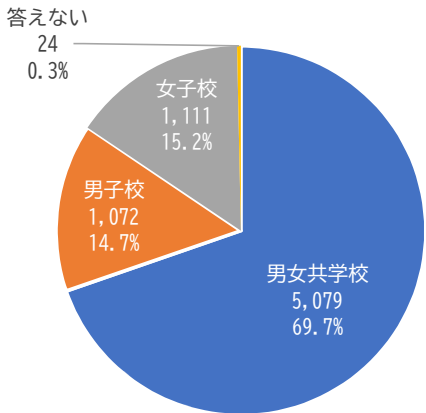


自分の力を発揮できる、
または、伸ばすことができる

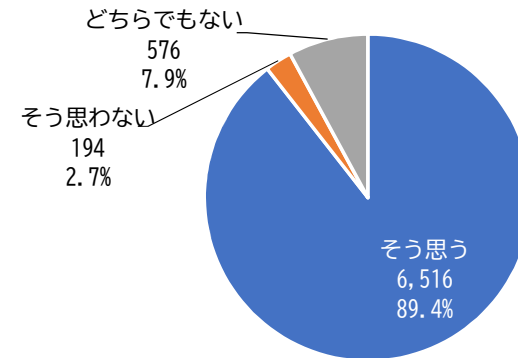


男女共同参画やジェンダー平等に対する
理解が進んでいる

(4) 在学学校 (共学・別学など)



「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な
役割分担意識にとらわれないで学校生活が送れる



学校生活を安心して過ごせるような友人が
できる、または、居場所がある

高校生

(18) 在 schools 別の学校への評価 <(4) 在 school × (9) 在学している school への評価>

学校生活に満足している

項目	男女共学校 5,079 (69.7%)	男子校 1,072 (14.7%)	女子校 1,111 (15.2%)	答えない 24 (0.3%)
① そう思う	75.3%	92.6%	89.6%	62.5%
② そう思わない	6.5%	2.0%	2.3%	8.3%
③ どちらでもない	18.3%	5.4%	8.2%	29.2%

自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができる

項目	男女共学校 5,079 (69.7%)	男子校 1,072 (14.7%)	女子校 1,111 (15.2%)	答えない 24 (0.3%)
① そう思う	72.2%	94.6%	91.7%	62.5%
② そう思わない	6.1%	1.4%	1.1%	8.3%
③ どちらでもない	21.7%	4.0%	7.2%	29.2%

男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進んでいる

項目	男女共学校 5,079 (69.7%)	男子校 1,072 (14.7%)	女子校 1,111 (15.2%)	答えない 24 (0.3%)
① そう思う	61.7%	70.5%	76.4%	33.3%
② そう思わない	10.4%	6.1%	3.5%	16.7%
③ どちらでもない	27.9%	23.4%	20.1%	50.0%

高校生

(18) 在 schools 別の学校への評価 <(4) 在 school × (9) 在学している school への評価>

「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれないで学校生活を送れる

項目	男女共学校 5,079 (69.7%)	男子校 1,072 (14.7%)	女子校 1,111 (15.2%)	答えない 24 (0.3%)
① そう思う	56.3%	81.6%	88.6%	37.5%
② そう思わない	15.3%	5.1%	3.6%	16.7%
③ どちらでもない	28.4%	13.2%	7.8%	45.8%

学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所がある

項目	男女共学校 5,079 (69.7%)	男子校 1,072 (14.7%)	女子校 1,111 (15.2%)	答えない 24 (0.3%)
① そう思う	87.3%	95.5%	93.6%	66.7%
② そう思わない	3.2%	1.4%	1.2%	12.5%
③ どちらでもない	9.5%	3.1%	5.2%	20.8%

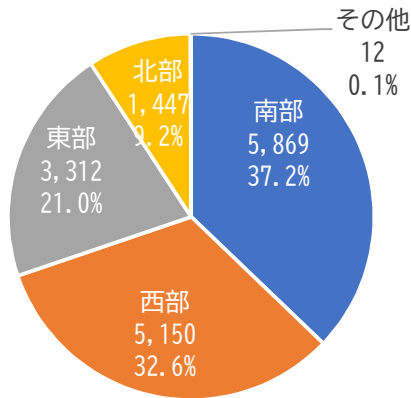
中学生保護者

- (1) お子様の在学校の所在地
- (2) お子様の学年
- (3) お子様の性別
- (4) お子様の在 schools (共学・別学など)
- (5) お子様の在 schools (市町村立・私立など)
- (6) 進学させたい高校 (共学・別学など)
- (7) (6) を選んだ理由 (6) への回答別の理由
- (8) (7) で「男女共学校または男女別学校」を選んだ理由
(7) で「男女共学校であるから」を選んだ理由
(7) で「男女別学校であるから」を選んだ理由
- (9) 県立男女別学校の在り方について
- (10) (9) で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由
- (11) (9) で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由
- (12) 子供の在 schools の所在地域別の進学させたい高校
- (13) 子供の在 schools の所在地域別の共学化に対する考え
- (14) 進学させたい高校別の「男女共学校または男女別学校」を選んだ理由
- (15) 進学させたい高校別の共学化に対する考え
- (16) 進学させたい高校別の共学化した方がよいと考える理由
- (17) 進学させたい高校別の共学化しない方がよいと考える理由

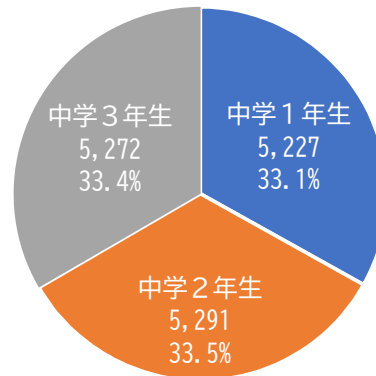
中学生保護者

回答人数：15,790人

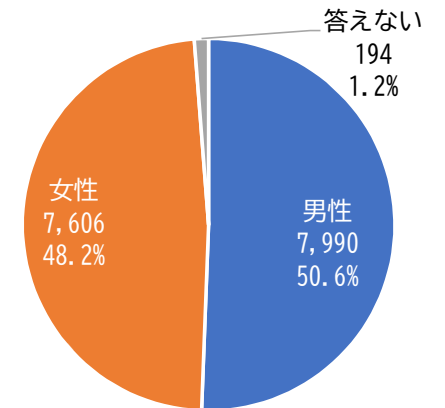
(1) お子様の在学校の所在地



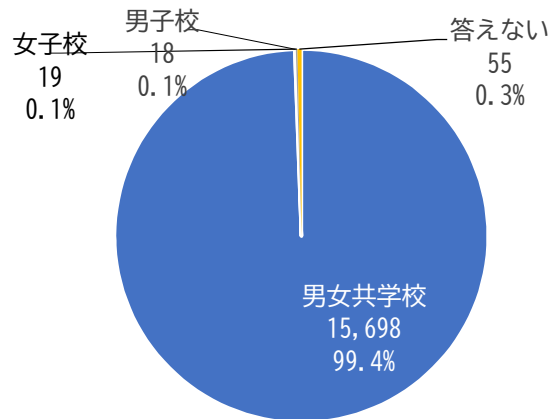
(2) お子様の学年



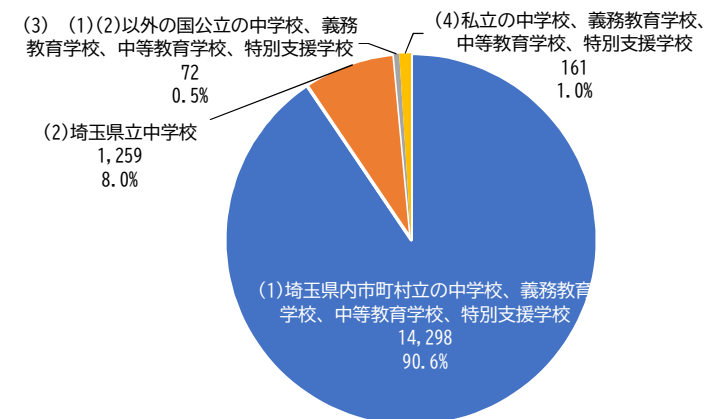
(3) お子様の性別



(4) お子様の在学校の(共学・別学など)



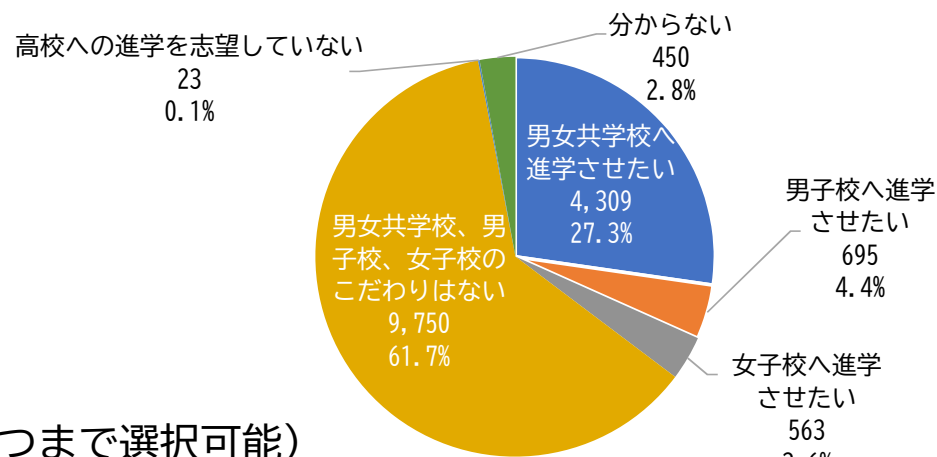
(5) お子様の在学校の(市町村立・私立など)



南部	川口市・蕨市・戸田市・さいたま市・鴻巣市・上尾市・桶川市 北本市・伊奈町
西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市 三芳町・川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町 越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町 ときがわ町・東秩父村・所沢市・飯能市・狭山市・入間市 日高市
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町 行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市 宮代町・杉戸町
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町

中学生保護者

(6) お子様を次のうちのどの高校へ進学させたいですか。
現時点の考えを教えてください。



(7) (6)の回答を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

【(6)で「男女共学校へ進学させたい」「男子校へ進学させたい」「女子校へ進学させたい」「男女共学校、男子校、女子校のこだわりはない」を選んだ方のみ】

項目	選択数	選択割合
① 子供の能力・適性に合っているから	8,627	29.0%
② 進学や就職等の実績があるから	2,838	9.5%
③ 学校の伝統や校風に魅力があるから	3,712	12.5%
④ 通学が便利だから	3,106	10.4%
⑤ 男女共学校であるから	1,662	5.6%
⑥ 男女別学校であるから	482	1.6%
⑦ 子供が志望していたから	7,011	23.5%
⑧ その他(50字)	988	3.3%
⑨ 特にない・分からない	1,367	4.6%
選択数計	29,793	100.0%

	(6)への回答別の理由			
	男女共学校へ進学させたい 7,907件	男子校へ進学させたい 1,681件	女子校へ進学させたい 1,332件	共学・別学の こだわりはない 18,873件
①	27.4%	20.8%	17.7%	31.1%
②	8.7%	11.8%	8.5%	9.7%
③	6.4%	30.6%	26.1%	12.4%
④	12.0%	3.0%	4.4%	10.9%
⑤	20.6%	0.1%	0.0%	0.2%
⑥	0.1%	13.7%	17.5%	0.1%
⑦	18.8%	17.7%	23.3%	26.1%
⑧	2.8%	2.3%	2.4%	3.7%
⑨	3.3%	0.1%	0.1%	5.9%

中学生保護者

(7) ⑧その他（50字以内）の要旨

「(6)の回答を選んだ理由を選んでください」の記述		988件
要旨	子供が志望しているから。	464件
	社会に出たときに異性とコミュニケーションが取れないと困るから、異性との関わり方を学んでほしいから。	83件
	男女共学校、男女別学校のこだわりはないから、男女別学、共学で学びに差はないから。	79件
	子供の適性にあった学校を選択したいから。	51件
	現時点で志望校が決定していないから。	46件
	男女共学校、男女別学校の選択肢はあった方がよい。	45件
	男女が協力して社会を作っていくべきだと考えるから、男女が共にいることが普通だから。	41件
	現在、中高一貫校等に在学しており、そのまま進学するから。	29件
	親族等が通っていたから。	27件
	異性の目を気にせず自分らしくのびのびと学校生活を送れるから。	24件
	学力にあった学校が男女共学校（男女別学校）であったから。	17件
	学びたい学科やカリキュラムがあるから。	17件
	希望する部活動があるから。	16件
	校風や伝統に魅力を感じたから。	7件
異性が苦手であるから。	7件	
同性のみの環境が苦手だから。	6件	

左記のほかの意見（要旨）29件

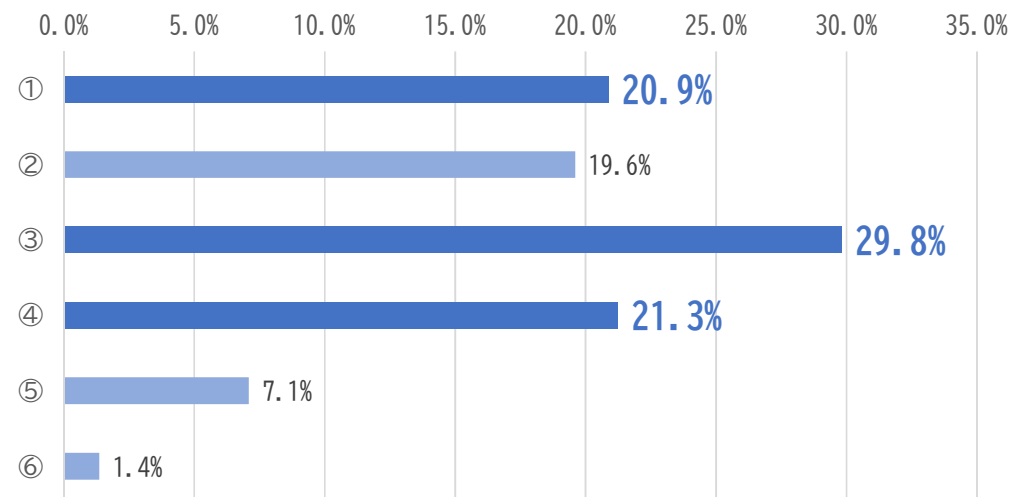
- ・自宅から近いから。
- ・男女共学校は女子が優しいから。
- ・男女共学校はバランスが良いから。
- ・男女共学校がよいと思うから。
- ・中学校まで共学校だったが、問題なく楽しく過ごすことができたから。
- ・男女共同参画とはそれぞれが望む「場所」で性差なく学ぶことができることであり、別学を望む子供の希望が最優先だから。
- ・別学は時代にそぐわないと思うから。
- ・男女共学校に抵抗があるから。
- ・施設が魅力的であるから。
- ・性別に違和感を持っているため、どちらかの性別のみの学校に行くことは難しいと思う。
- ・LGBTの子供が増えてきている中、男女の区別や制度は必要ないと思う。
- ・共学を進める勧告の意図が不明である。
- ・統廃合の必要性から共学化するケースもあるが、これまでの実績や歴史を考えると、一概に共学化はできないと思う。
- ・一律に共学化することは多様性ではない。
- ・結婚しない男女が増えているので、全て男女共学校にして、子供の頃から関わる機会を増やしたい。
- ・共学化しても、女子クラスを残してほしい。
- ・共学化は必要だと考えている。
- ・現状で問題がないと思う。
- ・別学と共学の長所・短所を保護者、子供双方が理解し自身の解釈を持っている事の方が大事である。
- ・共学化推進よりも教育全体の質の向上に重きを置くべきである。

その他意味が不明瞭など9件

中学生保護者

(8) (7) で男女共学校または男女別学校を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

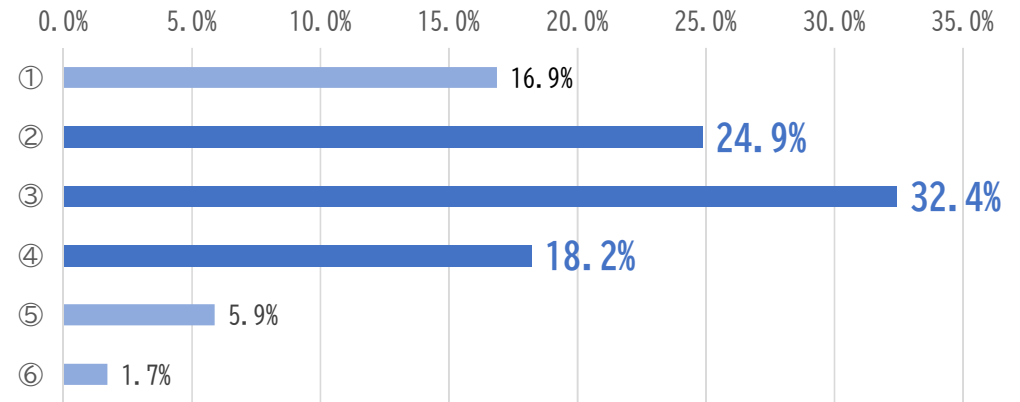
項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	873	20.9%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	820	19.6%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとられない学校生活を送らせることができるから	1,247	29.8%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	889	21.3%
⑤ その他(50字以内)	297	7.1%
⑥ 特にない・分からない	57	1.4%
選択数計	4,183	100.0%



中学生保護者

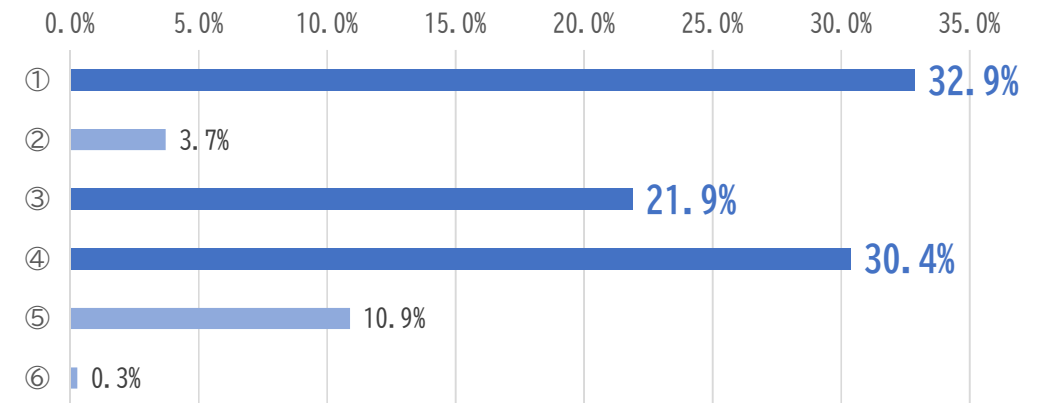
(8) (7) で「男女共学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	530	16.9%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	781	24.9%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	1,019	32.4%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	572	18.2%
⑤ その他(50字以内)	185	5.9%
⑥ 特にない・分からない	54	1.7%
選択数計	3,141	100.0%



(8) (7) で「男女別学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	344	32.9%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	39	3.7%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	229	21.9%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	318	30.4%
⑤ その他(50字以内)	114	10.9%
⑥ 特にない・分からない	3	0.3%
選択数計	1,047	100.0%



中学生保護者

(8) ⑥その他(50字以内)の要旨

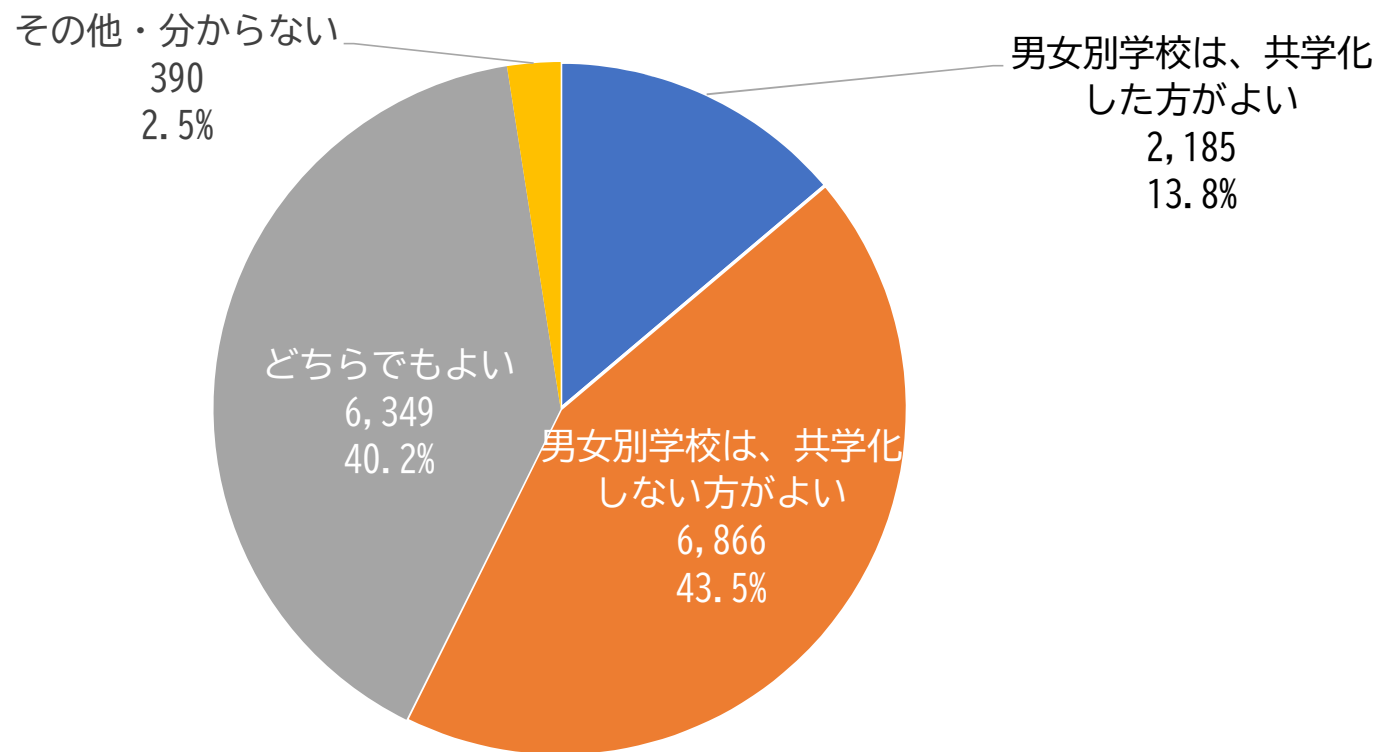
「(7)で『男女共学校であるから』を選んだ理由を選んでください」の記述		185件	
要旨	異性間の人間関係やコミュニケーションが学べるから、異性を理解することは社会で役に立つから。	60件	左記のほかの意見(要旨)15件 ・共学校の方が男女の役割分担の意識は高まると思うから。 ・異性を意識することによって、能力以上に頑張ろうとする気力も生まれると思うから。 ・家から通いやすい学校が男女共学校だから。 ・どの年齢であっても男女もしくはマイノリティが存在することを当然のものとして社会を捉えてほしいから。 ・男女別学校独特の風潮、特徴などが煩わしいから。 ・人を性別で区分けする価値観に違和感があるから。 ・結婚しない男女が増えているので、全て男女共学校にして、子供の頃から関わる機会を増やしたい。 ・男女共学校、男女別学校どちらがよいとは決められない。 ・埼玉県の男女別学校の多さに驚いている。 ・これまで通学してた学校が男女共学校であるから。 ・共学がジェンダー平等につながる訳ではないから。 ・自身が県外の共学校の出身であり、男女別学に否定的だから。 その他意味が不明瞭など3件
	男女共に関わりたい、男女分け隔てなく交流できるから。	29件	
	男女が共にいることが自然であるから、社会では男女が共に生活しているから。	28件	
	子供の志望校だから。	16件	
	同性だけの環境が苦手だから。	12件	
	異性がいた方が楽しいから。	9件	
	男女を分けることの必要性を感じないから。	7件	
	子供の適性に合っているから。	4件	
	男女共学校、男女別学校の選択肢はあった方がよい。	3件	
現在、中高一貫校に在学しているから。	2件		

(8) ⑥その他(50字以内)の要旨

「(7)で『男女別学校であるから』を選んだ理由を選んでください」の記述		114件	
要旨	異性の目を気にせず自分らしくのびのびと学校生活が送れるから。	49件	左記のほかの意見(要旨)7件 ・進学したい学力の学校として、男女別学校しかないから。 ・入学したい学校が男女別学校であるから。 ・男子校にしかない施設があるから。 ・希望する部活動があるから。 ・中学までと高校卒業後は共学となるので、高校の3年間は男女別学の環境で生活させたいから。 ・私立に男女別学校があり、税金も使われているのに、なぜ県立でこういう議論になるのか理解できない。 ・自身が男女別学校の出身であり、良否を理解しているから。
	伝統と校風に魅力があるから。	15件	
	異性が苦手だから。	14件	
	子供の志望校だから。	13件	
	男女共学校、男女別学校の選択肢はあった方がよい。	11件	
	子供の適性に合っているから。	3件	
	別学であってもジェンダー平等への理解促進は可能だから。	2件	

中学生保護者

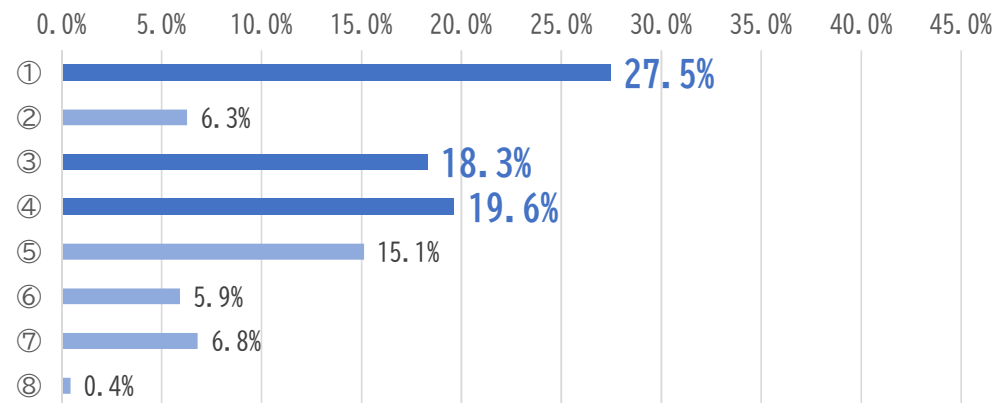
(9) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



中学生保護者

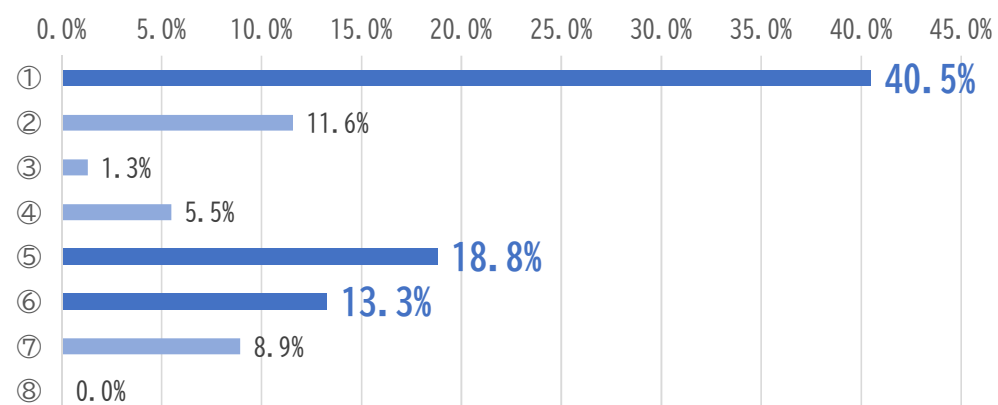
(10) (9)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	1,354	27.5%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	310	6.3%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	903	18.3%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	969	19.6%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	746	15.1%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	292	5.9%
⑦ その他(50字以内)	336	6.8%
⑧ 特になし・分からない	22	0.4%
選択数計	4,932	100.0%



(11) (9)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	6,171	40.5%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,763	11.6%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	200	1.3%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	837	5.5%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	2,867	18.8%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	2,025	13.3%
⑦ その他(50字以内)	1,362	8.9%
⑧ 特になし・分からない	7	0.0%
選択数計	15,232	100.0%



中学生保護者

(10) ⑦その他（50字以内）の要旨

「(9)で『男女別学校は、共学化した方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述		336件	
要旨	男女共学校に行きたい生徒の選択肢が広がるから。	72件	左記のほかの意見（要旨）26件 ・他県では25年前に共学化になったが、校風や伝統が途絶えたと言われる高校は見受けられないから。 ・共学化の方がよいと思うが、異性と生理的に同じ空間で過ごせない人もいるから。 ・別学に通っていたが、その後の人生に大きな影響を与えていると感じるから。 ・男子が女子校に入学できない場合も同様な苦情になるのか疑問であり、学校自体の共学化を進めてほしいから。 ・志望する高校を共学化してほしいから。 ・固定観念に固まったOBの意見ではなく、現状の人気を直視すべきだから。 ・男女だけでなく多国籍、性同一性、ADHDなども区別なく受け入れる学校がよいから。 ・異性がない方が、自分らしくいられる生徒がいるのも事実なので、慎重に段階を踏んで進めるべきだから。 ・教職員の男女割合の偏りが解消できる効果があると感じたから。 ・男女別学校では多く官僚を多く輩出しているため、男女別学校の卒業生主体では男女共同参画の思考が反映されなさそうだから。 ・コストがかかるから。 ・女子校の気やすさ、安心感は捨て難いが、今後は私立に委ねるしかないと思うから。 ・男女別学校に通いたい人がいるなら残してもよいと思うから。 ・共学化の方が自然な感じがするが、男子校、女子校を選択できなくなるのも問題だと思うから。 ・自分の子が男女共学校か男女別学校を希望するかは人権問題とは別であるから。 ・埼玉の進学校のほとんどが男女別学なのが問題であると思うから。 ・人気がなくなっているのが男女別学校であるなら、共学化もありだと思ふから。 ・男子校の管理職が男性のみだと、管理的立場が男性という固定概念が育まれそうで不適切であるから。 ・共学化をしたからといってジェンダー平等の理解が進むとは思わない。
	異性への理解につながるから、異性とのコミュニケーション力が養われるから。	44件	
	男女が共にいることが自然だから、社会では男女がともに生活しているから。	36件	
	少子化により志願者が減少しているため、共学化・統合していく必要があるから。	28件	
	別学校の必要がない、別学校の必要が分からないため。	24件	
	公立高校は税金で運営されていることから、性別により受検できない学校があるのはおかしいから。	23件	
	男女別学校は、時代遅れであるから。	20件	
	男女がともに等しい教育を受けるべきであるから、学校でジェンダー平等を謳っているのに男女別学校があるのはおかしいから。	13件	
	同性のみの環境はいじめなど不安があるから。	10件	
	他県には男女別学校がないから。	8件	
	男女で過ごす経験が少子化対策となるから。	7件	
	様々な性自認を持つ生徒のためにも共学化は必要だから、共学化しなくともLGBTQの生徒がカミングアウトせずに入學出来る措置が必要だから。	7件	
	男女別学12校を全て共学化しなくてもよいが、共学校を増やした方がよいと思うから。	7件	
	子供が男女共学校を希望しているから、子供の意見を一番に聞くべきだから。	6件	
男女別学校を共学化して、男女別クラスを作ればよいから。	3件		
共学化した方がニーズがあるから。	2件		

その他意味が不明瞭など7件

中学生保護者

(11) ⑦その他（50字以内）の要旨

「(9)で『男女別学校は、共学化しない方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述		1,362件	
要旨	男子校、女子校、男女共学校をそれぞれ選択できることが多様性であるから、選択の自由・権利を奪うべきでないから。	501件	左記のほかの意見（要旨）34件 ・必要に応じ別学校間で別途交流の機会を設ければよいから。 ・共学化ではなく、別学の中高一貫教育校があれば、ぜひ進学させたいから。 ・男女共学を強制するような多様性の排除を認めたくない。 ・男女別学校は進学実績で良い結果が出ているし、男女共学校と棲み分けもできているから。 ・共学化され、私立高校のみに男女別学校がある場合、家庭の経済的負担が増加し、家庭によっては男女別学校に進学できなくなってしまうから。 ・男女別学校だからということではなく、その学校にしかない魅力があるから。 ・素敵な個性がある別学校が全て共学化することで、無個性になってしまうから。 ・共学化については学校ごとに検討・決定すればよいから。 ・小学生の頃から、憧れている学校であり、入学に向けて頑張ってるから。 ・男女差別と男女区別は別もの。男子校、女子校の存在は区別であって差別ではないと思うから。 ・自分が県立別学校出身でとてもよい3年間を過ごして今の自分があるから。 ・女子校がある方が女子を尊重してもらえるような気がするから。 ・行きたい高校が男子校であることから、共学化するなら長期的な計画を希望したい。 ・定員割れの女子校もあり、一律対応ではなく、中高一貫校等、ニーズに合わせた変化の検討も必要である。 ・見学した共学の高校では、物理や化学など理系の選択授業に男子ばかりで、女子は理系クラスを選択しにくそう。 ・男女共学校において男女の性別としての区別がされているのであれば、男女別学校を共学化してもよい。 ・ジェンダーの観点から言うならば、選択の自由が奪われるため制服をなくしてほしい。 ・全てではなく一部共学化し偏差値が高い生徒の選択肢を増やしてもよいと思う。 ・共学化する必要はないが、「女子」という言葉は校名からなくすべきである。
	異性への苦手意識を持っている人がいるから。	202件	
	別学校を共学化する理由がないから、共学化する必要がないと考えるから。	99件	
	男女別学校は特色・伝統もありそれぞれ良さがあるから。	83件	
	異性の目を気にせず自分らしく生活できるから。	82件	
	別学校でもジェンダー平等を学べるから、共学化とジェンダー平等とは関係がないから。	79件	
	ジェンダー平等とは全てを一緒にすることとは違うから。	53件	
	勧告に疑義があるから。	43件	
	伝統を残してほしいから、男女別学校の校風、良さを残してほしい。	44件	
	子供が志望しているから、大人ではなく本人たちの気持ちを優先させるべきだから。	33件	
	親族等が男女別学校に通っていたから。	32件	
	男女別学を希望する子供がいる限り必要であるから。	20件	
	共学化する際に施設の改修などコストがかかるから。	14件	
	男女別学校では性別による定型化された概念が生まれにくいから。	14件	
	男女別学校へのトランスジェンダーの生徒の入学を検討した方がよいから。	8件	
	保育科など専門学科は共学化すべきである。	7件	
	男女それぞれの特性に応じた教育が行えるから。	5件	
	トランスジェンダーの生徒は男女共学校を志願すればよいから、トランスジェンダーの生徒を男女別学校で受け入れるか受け入れないかは自由であるから。	3件	
共学化により、学力が低下するから。	2件		
男女共学、男女別学は、その学校の特徴の一つでしかないから。	2件		
男女別学校を共学化したとしても、男女別クラスを作ればよいと思うから。	2件		

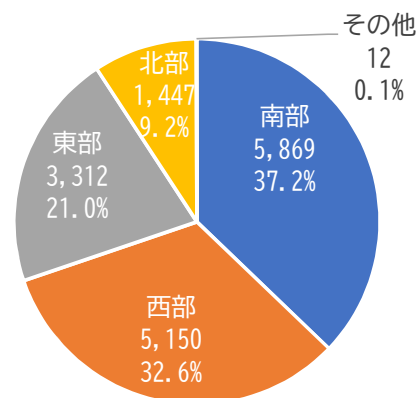
その他意味が不明瞭など15件

中学生保護者

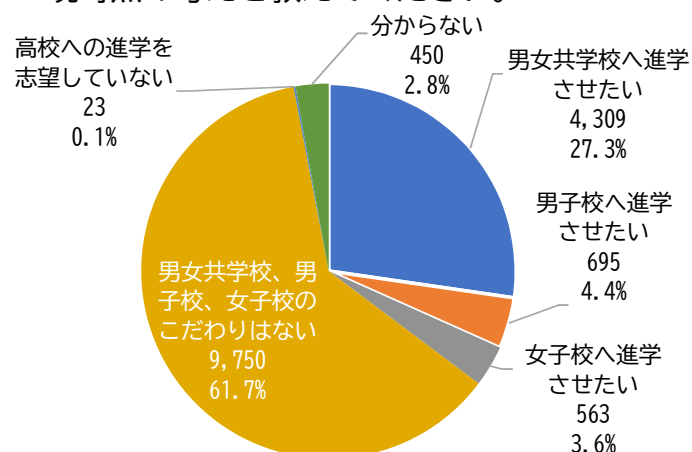
(12) 子供の在学校の所在地別の進学させたい高校 <(1)お子様の在学校の所在地×(6)進学させたい高校>

項目	南部 5,869 (37.2%)	西部 5,150 (32.6%)	東部 3,312 (21.0%)	北部 1,447 (9.2%)	その他 12 (0.1%)
① 男女共学校へ進学させたい	29.2%	24.9%	28.2%	26.3%	0.0%
② 男子校へ進学させたい	4.4%	5.0%	3.3%	4.4%	50.0%
③ 女子校へ進学させたい	3.4%	4.3%	2.5%	3.9%	41.7%
④ 男女共学校、男子校、女子校のこだわりはない	60.3%	62.6%	63.1%	61.9%	8.3%
⑤ 高校への進学を志望していない	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%
⑥ 分からない	2.6%	3.1%	2.7%	3.5%	0.0%

(1) 在学校の所在地



(6) お子様を次のうちのどの高校へ進学させたいですか。現時点の考えを教えてください。

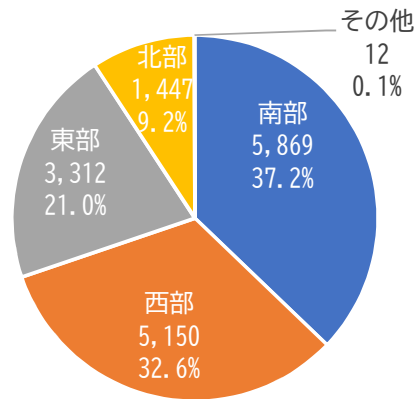


中学生保護者

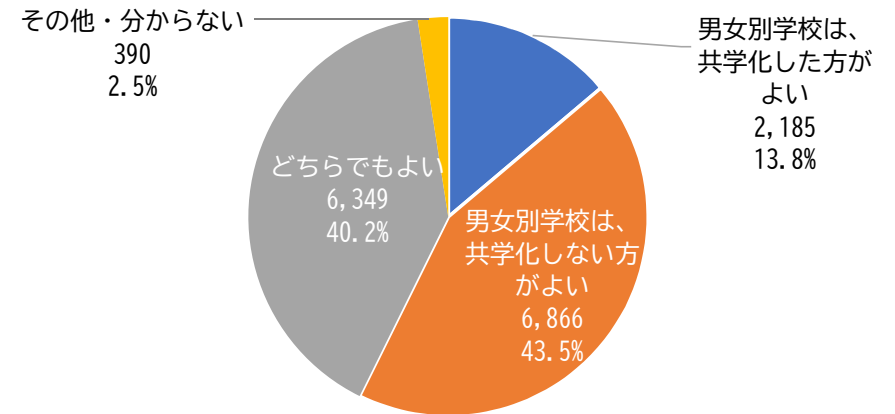
(13) 子供の在学校の所在地域別の共学化に対する考え <(1)お子様の在学校の所在地×(9)男女別学校の在り方>

項目	南部 5,869 (37.2%)	西部 5,150 (32.6%)	東部 3,312 (21.0%)	北部 1,447 (9.2%)	その他 12 (0.1%)
① 男女別学校は、共学化した方がよい	15.8%	13.5%	11.1%	13.8%	0.0%
② 男女別学校は、共学化しない方がよい	46.8%	45.0%	40.6%	30.8%	100.0%
③ どちらでもよい	35.4%	39.1%	45.3%	52.5%	0.0%
④ その他・分からない	2.1%	2.4%	3.0%	3.0%	0.0%

(1) 在学校の所在地



(9) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



中学生保護者

(14) 進学させたい高校別の「男女共学校または男女別学校」を選んだ理由

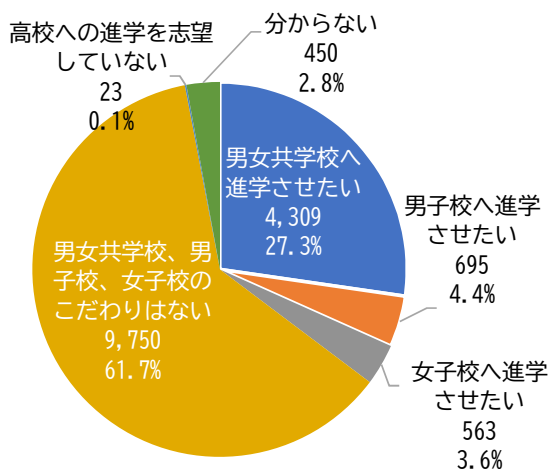
<(6)進学させたい高校×(7)(6)を選んだ理由×(8)(7)で男女共学校または男女別学校を選んだ理由>

項目	男女共学校 3,080件	男子校 500件	女子校 509件
	男女共学校であるから	男女別学校であるから	
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	16.8%	35.2%	30.6%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	25.0%	2.8%	4.5%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	32.6%	21.8%	21.8%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	18.2%	29.2%	31.8%
⑤ その他(50字以内)	5.8%	11.0%	10.6%
⑥ 特にない・分からない	1.7%	0.0%	0.6%

※下段(8)の回答4,183件のうち、以下に該当する94件については、左の表に記載していない。

- ・「男女共学校へ進学させたい」保護者で、「男女別学校であるから」を選んだ方の回答
- ・「男子校へ進学させたい」保護者で、「男女共学校であるから」を選んだ方の回答
- ・「男女共学校、男子校、女子校のこだわりはない」保護者で、「男女共学校であるから」又は「男女別学校であるから」を選んだ方の回答

(6) お子様を次のうちの高校へ進学させたいですか。



(7) (6)の回答を選んだ理由を選んでください。(8) (7)で男女共学校または男女別学校を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 子供の能力・適性に合っているから	8,627	29.0%
② 進学や就職等の実績があるから	2,838	9.5%
③ 学校の伝統や校風に魅力があるから	3,712	12.5%
④ 通学が便利だから	3,106	10.4%
⑤ 男女共学校であるから	1,662	5.6%
⑥ 男女別学校であるから	482	1.6%
⑦ 子供が志望していたから	7,011	23.5%
⑧ その他(50字以内)	988	3.3%
⑨ 特にない・分からない	1,367	4.6%
選択数計	29,793	100.0%

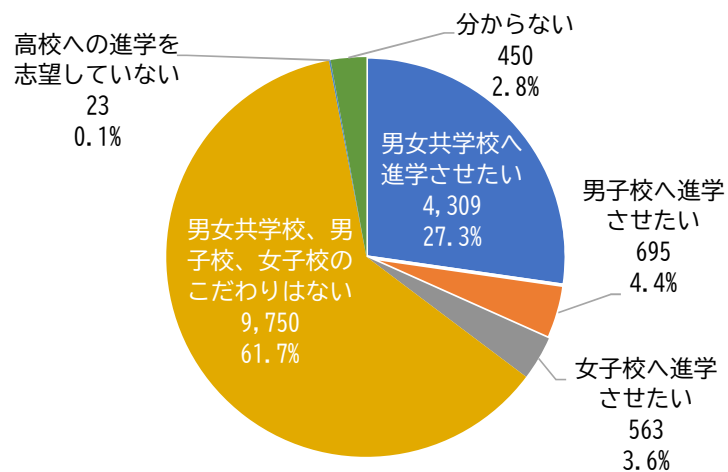
項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	873	20.9%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	820	19.6%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	1,247	29.8%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	889	21.3%
⑤ その他(50字以内)	297	7.1%
⑥ 特にない・分からない	57	1.4%
選択数計	4,183	100.0%

中学生保護者

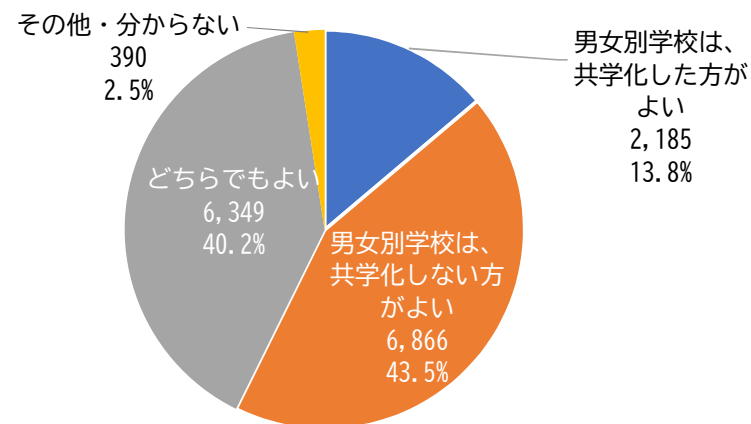
(15) 進学させたい高校別の共学化に対する考え <(6)進学させたい高校×(9)男女別学校の在り方>

項目	男女共学校へ進学させたい 4,309 (27.3%)	男子校へ進学させたい 695 (4.4%)	女子校へ進学させたい 563 (3.6%)	共学・別学のこだわりはない 9,750 (61.7%)	高校進学を志望していない 23 (0.1%)	分からない 450 (2.8%)
① 男女別学校は、共学化した方がよい	37.5%	2.6%	1.4%	5.0%	13.0%	11.6%
② 男女別学校は、共学化しない方がよい	17.5%	93.1%	93.8%	48.8%	43.5%	36.7%
③ どちらでもよい	42.2%	3.6%	4.1%	43.9%	43.5%	42.7%
④ その他・分からない	2.8%	0.7%	0.7%	2.3%	0.0%	9.1%

(6) お子様を次のうちのどの高校へ進学させたいですか。



(9) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



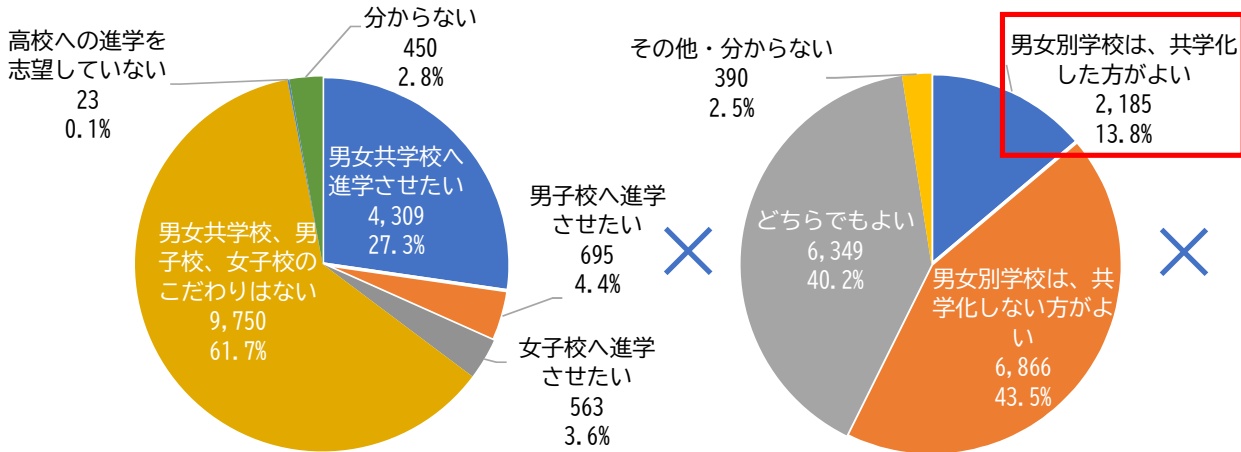
中学生保護者

(16) 進学させたい高校別の共学化した方がよいと考える理由

<(6)進学させたい高校×(9)男女別学校の在り方×(10) (9)で「共学化した方がよい」理由>

項目	男女共学校へ進学させたい 3,728件	男子校へ進学させたい 39件	女子校へ進学させたい 18件	共学・別学のこだわりはない 1,028件	高校進学を志望していない 7件	分からない 112件
男女別学校は、共学化した方がよい						
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	27.0%	25.6%	33.3%	28.3%	42.9%	32.1%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	6.0%	7.7%	5.6%	7.2%	14.3%	6.3%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	18.1%	20.5%	16.7%	19.2%	28.6%	16.1%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	20.9%	15.4%	11.1%	15.9%	0.0%	17.9%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	15.7%	12.8%	11.1%	13.7%	14.3%	11.6%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	5.8%	5.1%	5.6%	6.2%	0.0%	8.0%
⑦ その他（50字以内）	6.1%	12.8%	16.7%	9.0%	0.0%	8.0%
⑧ 特になし・分からない	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%

(6) お子様を次のうちの高校へ進学させたいですか。(9) 県立の男女別学校12校の在り方 (10) (9)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由 (三つまで選択可能)



項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	1,354	27.5%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	310	6.3%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	903	18.3%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	969	19.6%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	746	15.1%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	292	5.9%
⑦ その他（50字以内）	336	6.8%
⑧ 特になし・分からない	22	0.4%
選択数計	4,932	100.0%

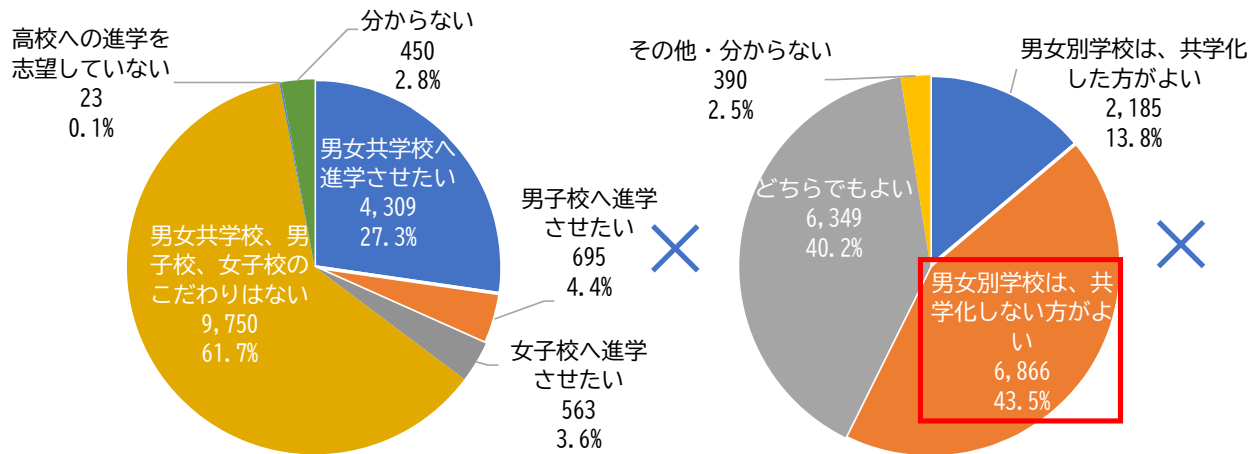
中学生保護者

(17) 進学させたい高校別の共学化しない方がよいと考える理由

<(6)進学させたい高校×(9)男女別学校の在り方×(11) (9)で「共学化しない方がよい」理由>

項目	男女共学校へ進学させたい 1,466件	男子校へ進学させたい 1,659件	女子校へ進学させたい 1,338件	共学・別学のこだわりはない 10,387件	高校進学を志望していない 18件	分からない 364件
男女別学校は、共学化しない方がよい						
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	45.7%	33.6%	34.5%	41.6%	44.4%	41.5%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	9.2%	16.0%	12.8%	11.1%	5.6%	9.1%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	1.9%	1.3%	1.6%	1.1%	5.6%	2.7%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	3.3%	7.7%	10.5%	4.8%	0.0%	6.6%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	19.0%	23.8%	19.5%	18.1%	22.2%	14.3%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	13.0%	11.3%	14.9%	13.3%	16.7%	16.2%
⑦ その他（50字以内）	7.6%	6.4%	6.3%	9.8%	5.6%	9.6%
⑧ 特になし・分からない	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(6) お子様を次のうちのどの高校へ進学させたいですか。(9) 県立の男女別学校12校の在り方(11) (9)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由（三つまで選択可能）



項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	6,171	40.5%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,763	11.6%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	200	1.3%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	837	5.5%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	2,867	18.8%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	2,025	13.3%
⑦ その他（50字以内）	1,362	8.9%
⑧ 特になし・分からない	7	0.0%
選択数計	15,232	100.0%

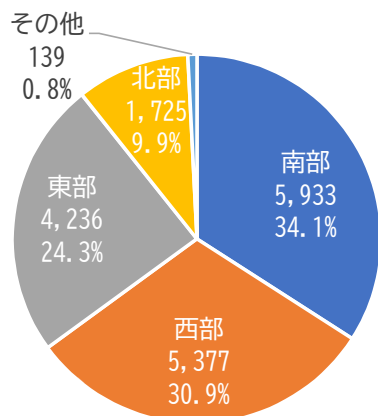
高校生保護者

- (1) 居住地
- (2) お子様の学年
- (3) お子様の性別
- (4) お子様の在学学校（共学・別学など）
- (5) お子様の在学学校（県立・私立など）
- (6) 在学学校を選んだ理由（4）への回答別の理由
- (7) (6)で「男女共学校または男女別学校」を選んだ理由
 - (6)で「男女共学校であるから」を選んだ理由
 - (6)で「男女別学校であるから」を選んだ理由
- (8) 在学している学校への評価（6項目）
- (9) 県立男女別学校の在り方について
- (10) (9)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由
- (11) (9)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由
- (12) 居住地域別の子供の在学学校
- (13) 居住地域別の共学化に対する考え
- (14) 子供の在学学校別の「男女共学校または男女別学校」を選んだ理由
- (15) 子供の在学学校別の共学化に対する考え
- (16) 子供の在学学校別の共学化した方がよいと考える理由
- (17) 子供の在学学校別の共学化しない方がよいと考える理由
- (18) 子供の在学学校別の学校への評価

高校生保護者

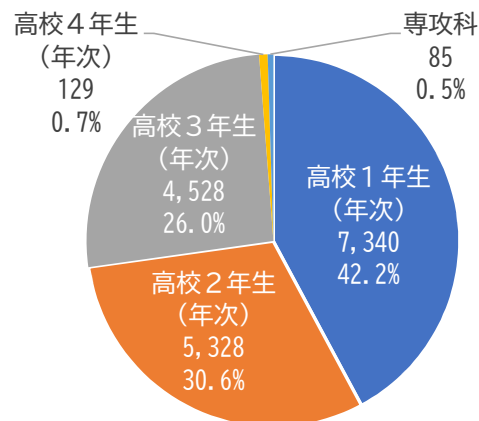
回答人数：17,410人

(1) 居住地

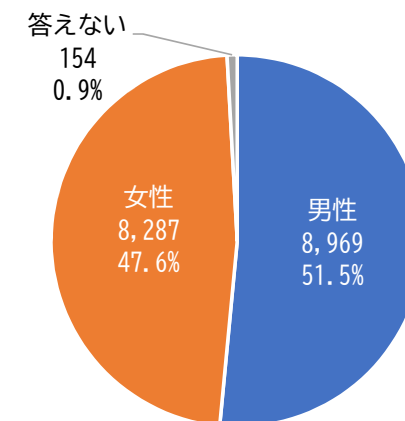


南部	川口市・蕨市・戸田市・さいたま市・鴻巣市・上尾市・桶川市 北本市・伊奈町
西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市 三芳町・川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町 越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町 ときがわ町・東秩父村・所沢市・飯能市・狭山市・入間市 日高市
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町 行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市 宮代町・杉戸町
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町

(2) お子様の学年

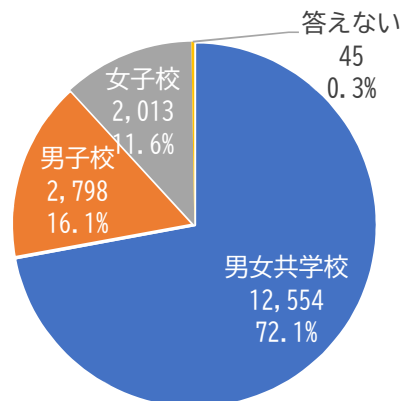


(3) お子様の性別

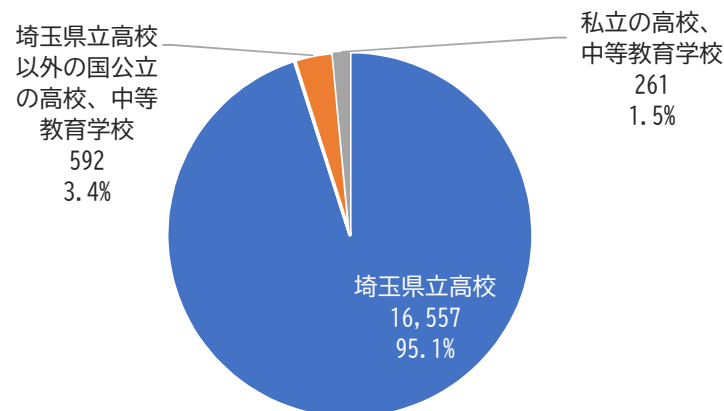


高校生保護者

(4) お子様の在学学校（共学・別学など）



(5) お子様の在学学校（県立・私立など）



(6) 現在の在学学校を選んだ理由を選んでください。 (三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 子供の能力・適性に合っているから	11,890	28.3%
② 進学や就職等の実績があるから	4,153	9.9%
③ 学校の伝統や校風に魅力があるから	5,302	12.6%
④ 通学が便利だから	5,859	14.0%
⑤ 男女共学校であるから	1,231	2.9%
⑥ 男女別学校であるから	1,392	3.3%
⑦ 子供が志望していたから	11,550	27.5%
⑧ その他（50字以内）	550	1.3%
⑨ 特にない・分からない	56	0.1%
選択数計	41,983	100.0%

	(4)への回答別の理由			
	男女共学校 28,828件	男子校 7,717件	女子校 5,344件	答えない 94件
①	30.6%	22.6%	24.5%	26.6%
②	10.2%	10.0%	8.3%	6.4%
③	7.6%	26.6%	19.6%	12.8%
④	17.1%	5.4%	9.3%	13.8%
⑤	4.3%	0.0%	0.1%	1.1%
⑥	0.0%	10.1%	11.2%	3.2%
⑦	28.6%	24.6%	25.8%	35.1%
⑧	1.5%	0.8%	1.2%	0.0%
⑨	0.2%	0.0%	0.0%	1.1%

高校生保護者

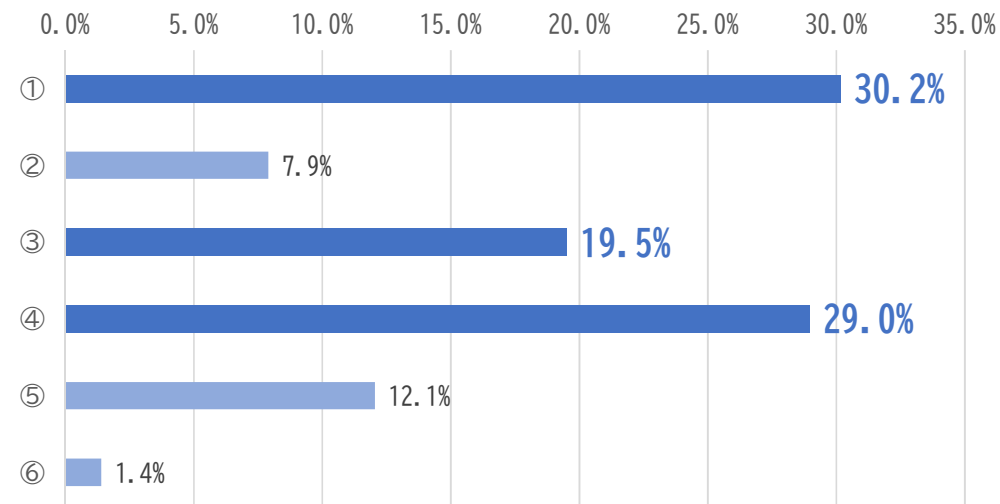
(6) ⑧その他（50字以内）の要旨

「現在の在学学校を選んだ理由を選んでください」の記述		550件	
要旨	希望する部活動があるから、学校行事など課外活動に魅力があるから。	219件	左記のほかの意見（要旨）12件 ・少人数で育ったため、大勢の中で色々な価値観に触れさせたかったから。 ・ジェンダーレスに理解を示してくれたから。 ・子供の体調に寄り添ってもらえたから。 ・中学校でいじめがあり、知り合いが少ない学校を選択したから。 ・思春期の多感な子供の適性に基づいた男女別学校を選択できる制度は良いと思うから。 ・志望した学校でやりたい事があったから。 ・女子なので男子伝統進学校に入れないから。 ・女子私立高校の募集減のニュースを見聞きし不安になり、中等教育学校受検を意識し始めたから。 ・新設校で、新しい可能性を感じたから。 ・男子から人気があり一部の女子から嫉妬で不意に押されたりすることがあったから。 ・母親は共学に進学し、娘は異性が苦手なので男女別学校を希望した。選択できることは大事だから。
	子供の学びたい科目や学科などの学びがある、少人数など学びに特色があるから。	83件	
	学力や性格など子供の適性に合っていたから。	40件	
	学校や生徒の雰囲気が良いから、校風や伝統を評価したから。	40件	
	家族の様子や経験を考慮したから。	38件	
	自宅から近い、通学しやすい、学校施設が整備されているから。	23件	
	子供の志望校だから。	21件	
	選択した学校以外の選択肢がない、少なかったから、入試の結果から。	20件	
	制服が気に入ったから。	15件	
	授業料、学費が安い、公立だから。	14件	
	異性が苦手だから、同性のみの環境が良かったから。	12件	
	中高一貫校、他自治体からの転学などによるから。	7件	
男女別学校だから。	6件	その他意味が不明瞭など1件	

高校生保護者

(7) (6) で男女共学校または男女別学校を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

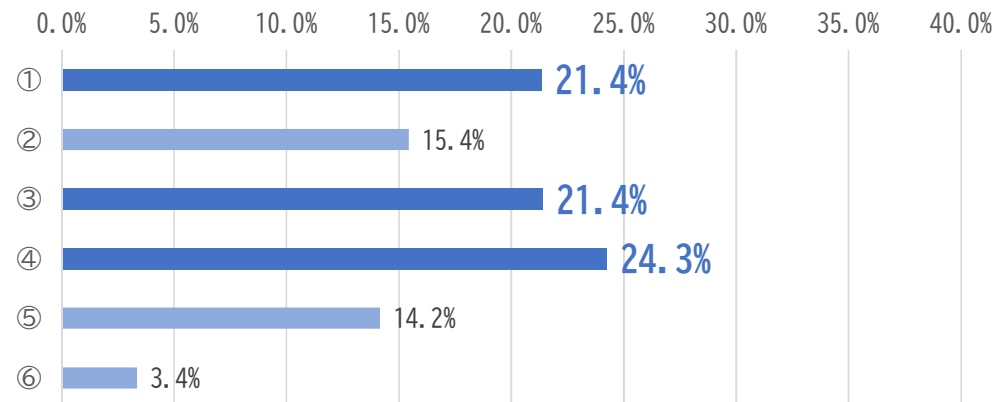
項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,522	30.2%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	399	7.9%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	984	19.5%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,461	29.0%
⑤ その他(50字以内)	608	12.1%
⑥ 特にない・分からない	71	1.4%
選択数計	5,045	100.0%



高校生保護者

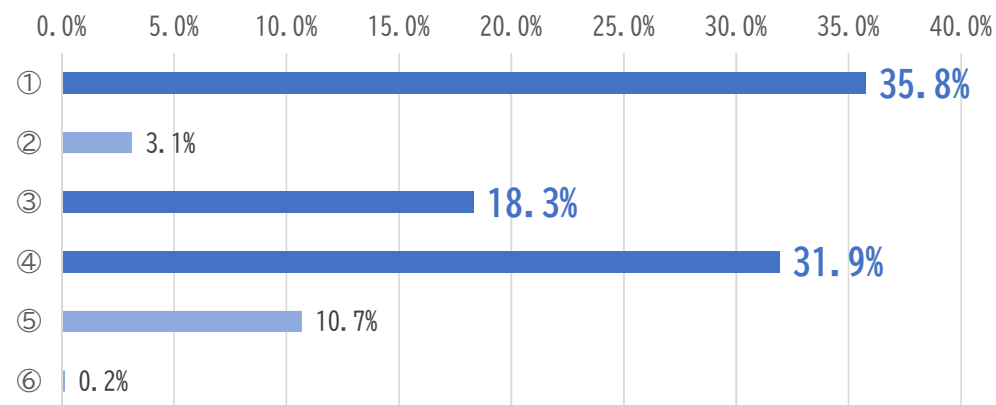
(7) (6) で「男女共学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	419	21.4%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	303	15.4%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	420	21.4%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	476	24.3%
⑤ その他(50字以内)	278	14.2%
⑥ 特になし・分からない	66	3.4%
選択数計	1,962	100.0%



(7) (6) で「男女別学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,103	35.8%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	97	3.1%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	565	18.3%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	985	31.9%
⑤ その他(50字以内)	330	10.7%
⑥ 特になし・分からない	5	0.2%
選択数計	3,085	100.0%



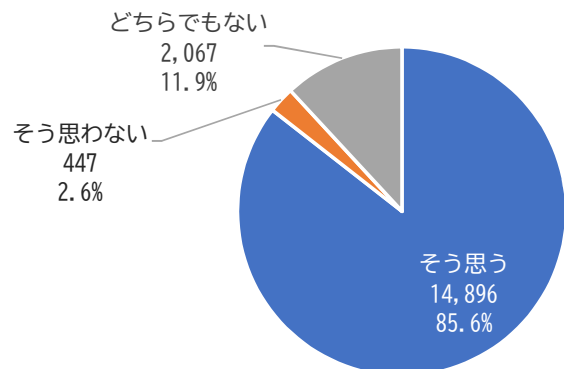
高校生保護者

(7) ⑤その他(50字以内)の要旨

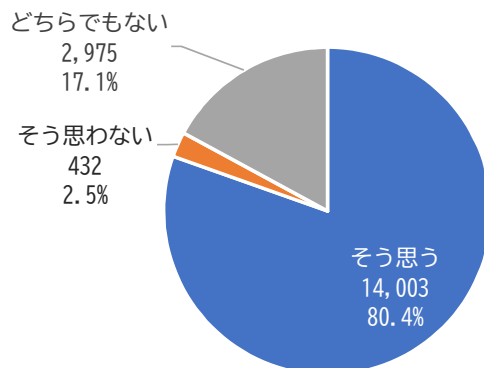
「(6)で『男女共学校であるから』を選んだ理由を選んでください」の記述		278件	
要旨	子供の志望校だから。	86件	左記のほかの意見(要旨)16件 <ul style="list-style-type: none"> ・男性と女性と性を決めない人がいるから、男女を分ける意味が分からないから。 ・学校の受検倍率等により残してもよい別学高校はあるから。 ・共学、男子校女子校を選択できる権利も大切であるから。 ・ボーイズクラブ的な影響を受けないから。 ・現代の子達は多様性のある社会を受け入れていると思うから。 ・女子だけの学校生活を送ったことがないため、女子校の想像ができなかったから。 ・男子校、女子校を選択する意味が分からないから。 ・男女別学校の良さもあるだろうが、それよりも男女共学校の魅力があるから。 ・小学校、中学校も共学だったから。 ・思春期に同一性別だけの状況は、異常なことだと思うから。 ・県内の男女別学校は偏差値が高いから。 ・学校を性別で分ける必要はないと思うから。 ・女子だけ男子だけの学校がある意味が分からないから。 ・男女別学校にこだわる理由が分からないから。 ・男女分ける必要を感じていないため。 その他意味が不明瞭など1件
	男女間の人間関係やコミュニケーションが学べるから、異性を理解し社会での役に立つから。	52件	
	男女が共にいることが自然であるから、社会では男女が共に生活しているから。	42件	
	男女共に関わりたいから、分け隔てなく交流できるから。	37件	
	異性がいた方が楽しいし、やる気が出るから。	16件	
	子供の適性として男女別学校は合わないから、男女共学校の方がよいと思うから。	9件	
	同性のみの環境には、けんかやいじめなどの不安があるから。	9件	
	家族の様子や経験を考慮したから。	4件	
	校風や伝統を評価したから。	4件	
異性とのトラウマを克服したいから、自身が男女別学校に違和感を持っているから。	3件		
「(6)で『男女別学校であるから』を選んだ理由を選んでください」の記述		330件	
要旨	子供の志望校だから。	75件	左記のほかの意見(要旨)16件 <ul style="list-style-type: none"> ・当アンケートを自分の事として考える機会になった。 ・この高校でしか経験できないことが多くあるから。 ・今しか同性のみの環境で過ごせないから。 ・別学でも、部活動での他校交流事業で、ジェンダー平等を学ぶ機会があったから。 ・小学校、中学校、大学は基本的には共学なので、別学を経験してみたいから。 ・共学の高校の説明会に行ったが、女子ばかりが接客をしたりする様子を見たから。 ・男女別学校であることと男女平等であることは、全く関係ないから。 ・女子校だから。 ・指導の邪魔をされないから。 ・高校3年間を別学で過ごしたいから。 ・女子に特化したセキュリティが敷かれた学校だから。 ・中学校で共学に性差別を感じていたから。 ・思春期の男子学生の能力と魅力を最大限に引き出せるプログラムになっているから。 その他意味が不明瞭など3件
	別学での学校生活により多くの学びができるから、定型化された性別の役割に捉われずに学べるから。	70件	
	異性の目を気にせずのびのびと生活できるから、好きなことに熱中できるから、同性の友人を多くつくることができるから。	66件	
	校風や伝統を評価したから。	39件	
	異性が苦手だから。	38件	
	家族の様子や経験を考慮したから。	9件	
	部活動や学校行事に魅力があるから。	5件	
	別学と共学にそれぞれ良さがあり、選択肢があることが大切だから。	5件	
	幅広い人間関係が構築されるから、人間関係における揉めごとが少ないと考えられるから。	4件	
子供の適性に合っているから。	3件		

高校生保護者

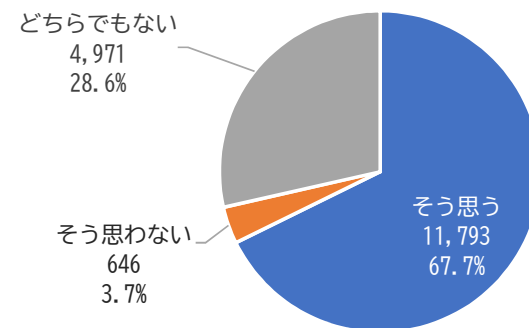
(8) 現在のお子様の様子を伺います。以下の各項目について「そう思う」「そう思わない」「どちらでもない」から一つ選んでください。



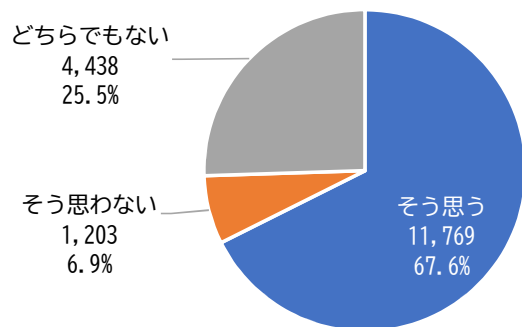
学校生活に満足している



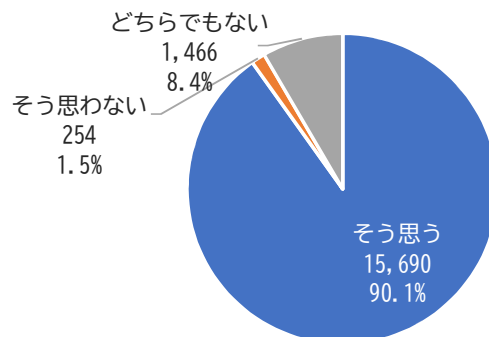
自分の力を発揮できる、
または、伸ばすことができる



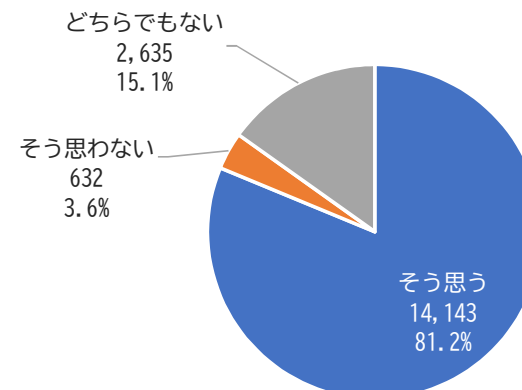
男女共同参画やジェンダー平等に対する
理解が進んでいる



「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な
役割分担意識にとらわれないで生活している



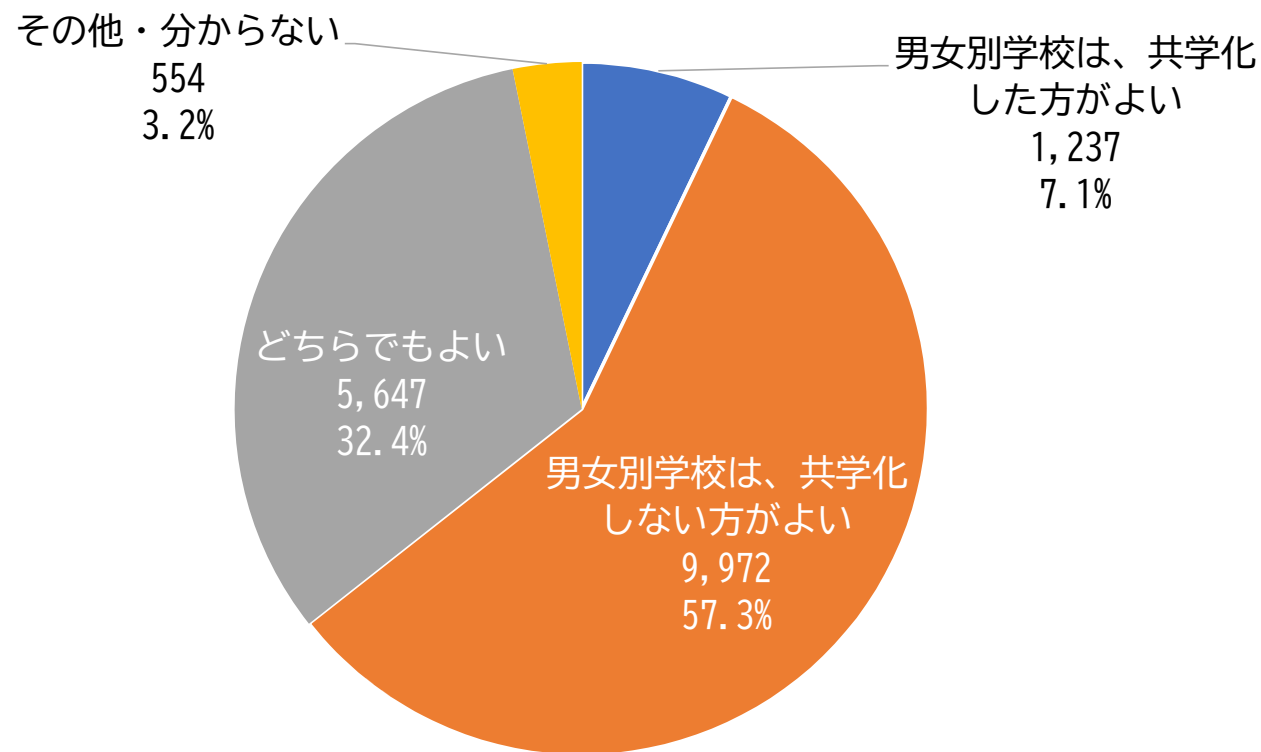
学校生活を安心して過ごせるような友人が
できる、または、居場所がある



性別によらず、良い人間関係を構築できる

高校生保護者

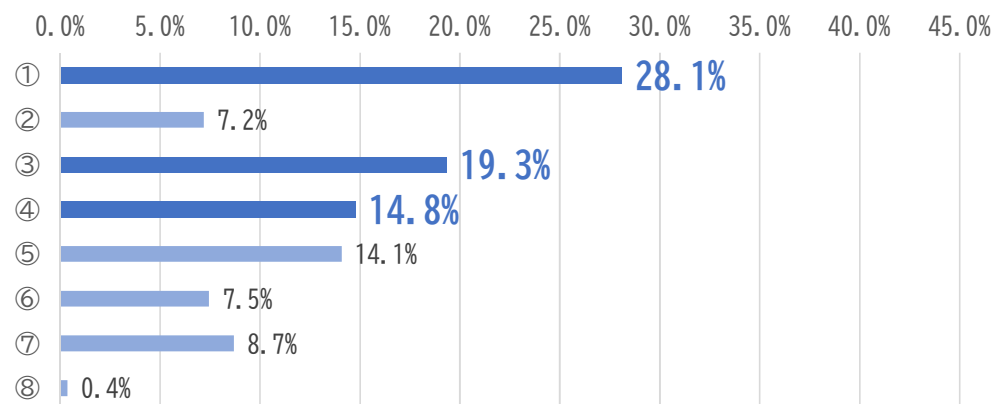
(9) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



高校生保護者

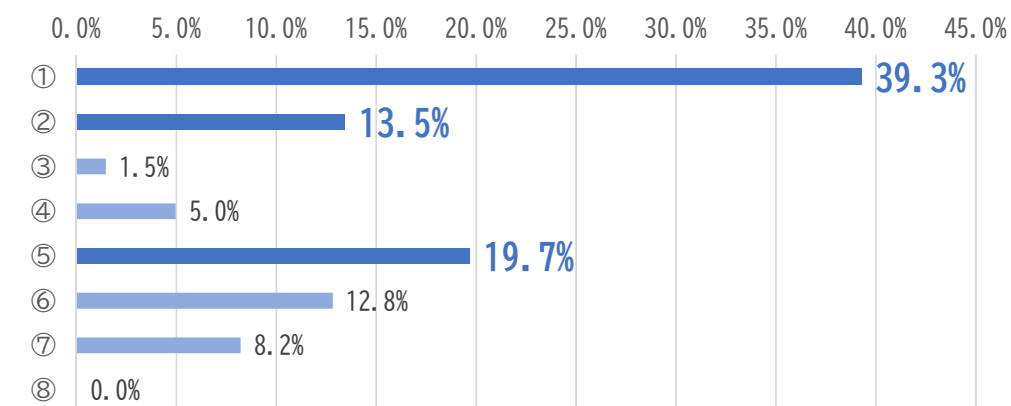
(10) (9)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	750	28.1%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	192	7.2%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	516	19.3%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	394	14.8%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	376	14.1%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	199	7.5%
⑦ その他(50字以内)	232	8.7%
⑧ 特にない・分からない	10	0.4%
選択数計	2,669	100.0%



(11) (9)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	9,095	39.3%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	3,115	13.5%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	342	1.5%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	1,153	5.0%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	4,559	19.7%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	2,969	12.8%
⑦ その他(50字以内)	1,902	8.2%
⑧ 特にない・分からない	8	0.0%
選択数計	23,143	100.0%



高校生保護者

(10) ⑦その他（50字以内）の要旨

「(9)で『男女別学校は、共学化した方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述		232件	
要旨	異性理解につながる、異性とのコミュニケーション力が養われるから。	54件	左記のほかの意見（要旨）22件 ・共学でないことで、子供の進路を閉ざしているのであれば共学化すべきだから。 ・様々な性があるのに、分ける意味はないから。 ・男子校(女子校)でなければ、学べないことが明確ではないから。 ・異性が苦手な生徒がいるため、2校ほどは別学校が必要であると思う。 ・学校自体は気に入っていたが、女子校が嫌だったから。 ・性別によって希望する高校へ進学できないことが、その人のキャリア・人生に影響を与える恐れがあるから。 ・共学化する場合、男子部と女子部に分けた上で、教員・事務・行事を共有してはどうか。 ・共学にする際には、体育などで着替える際の更衣室などが必要となるから。 ・共学化に伴う問題を、共学化しない方がよいと回答した方の意見で判断したい。 ・男女別学校が進学校である必要はないから。 ・全国の公立別学校が45校中、埼玉に12校もあるのは不自然であるから。 ・今は別学も良いと思っているが、20年後には別学が不自然に感じるのではないかと思う。 ・自分は県内の女子校に通っていたが、閉鎖的で友人もあまりできなかったから。共学化を強く望む。 ・別学校の在校生やOBにアンケートを取れば反対に決まっている。 ・本人が快く人生の選択を出来る世界になるべきである。 ・外見で判断せず、その人に合った学校に進める方が幸せだと思うから。 ・共学にしたとしても男子クラス、女子クラスを作ればよいから。 ・男女別学でも良いと思うが、自分の子供の進学先としては共学を選択する。 ・無理に共学化の必要性は感じないが、男女別学の根拠が論理的でなく情緒的なものならば検討して良い。 ・設立当初の目的が現在も有効ならば共学の必要はない。目的を論じないで共学化だけの議論は無意味である。 ・共学化には賛成だが、学校名はそのまま残してほしい。
	高校選択の幅が広がるから、共学に行きたい生徒の選択肢が広がるから。	39件	
	少子化による定員割れを防げるから、高校が統合により減った場合に選択できる高校の減少を防げるから。	30件	
	男女が共にいることが自然であるから、社会では男女が共に生活しているから。	23件	
	男女別学校の必要がないから、男女別学校の必要性が分からないから。	16件	
	公立高校は男女別にすべきでないから、税金で運営されているから。	12件	
	時代にそぐわないから、時代遅れであるから。	10件	
	男女に関係なく行きたい高校に行けるようになるから、ジェンダー平等と多様性が必要であるから。	8件	
	男女で過ごす経験が少子化対策となるから。	4件	
	様々な性自認を持つ生徒が入学するから。	4件	
	同性のみの環境はいじめなど不安があるから、閉鎖的であるから。	4件	
男女共学校は人気があるから、男女別学校の志望者が減っているから。	4件		
同性のみの環境では、だらしがなくなるから。	2件		
		その他意味が不明瞭など1件	

高校生保護者

(11) ⑦その他（50字以内）の要旨

「(9)で『男女別学校は、共学化しない方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述		1,902件
男女別学校、男女共学校をそれぞれ選択できるようにすべきだから。	566件	左記のほかの意見（要旨）84件 ・今回の主旨が女子だけの目線に偏っているから。 ・別学、共学に関係なく個人の問題であるから。 ・特定の意見でここまでする必要はないから。 ・女子差別撤廃条約の「その他の種類の教育」について埼玉県としての見解を求める。 ・ジェンダーについての認識が浅い今の時点で回答を出す問題ではないから。 ・ジェンダー平等の視点からだけではなく、多方面からのアプローチで議論をしてほしいから。 ・別学を維持する場合、定員を大幅に減少させないと、超少子社会では学力低下の懸念があるから。 ・男女別学12校の卒業生・在校生の訴えはどうか。 ・設置学科や教育理念の偏向について、別に論じられるべき問題点であるから。 ・共学でも、女子が多い学校があるから。 ・別学校を増やしてほしいから。 ・わざわざ探して女子校に行ったから。 ・一部の方々のために、子供の未来を犠牲にしないでほしいから。 ・欧米にはない日本独特の文化だと思うから。 ・海外では男女別学に様々な効果が認められ、米国は法改正をし、別学が10校から390校と増加しているから。 ・外国のまねではなく、日本にあったものにしてほしいから。 ・選んだ場所で活動するのも悪くないと考えるから。 ・どのような教育が行われているかが議論されるべきである。大事なのは共学化ではなく、様々な人への理解を深めることだから。 ・女子校の教育水準や教師の質を上げれば良いから。 ・議論を深めた後の県民投票を希望したい。 ・共学化が必要なら自然と共学になるから。 ・共学化する際の工事が在校生に負担となるから。部活数が増加して場所や時間が制限されてしまうから。 ・共学化の影響が、ジェンダー意識以外でどのようになるのかが検討されていないから。 ・需要が減れば検討もやむを得ないから。 ・県立の男子校がなければ、東京都の私立男子高校に志望校を変更することとなるから。 ・今ある男女別学校をより魅力がある共学校にするプランがないから。
異性への苦手意識を持っている人がいるから。	329件	
別学校でもジェンダー平等を学べるから、共学校がジェンダー平等とは言えないから、共学化とジェンダー平等とは関係がないから。	211件	
男女別学校でしか体験できないことがあるから。	117件	
男女平等と、男女の区別があることは別問題であるから、男女それぞれの特性を生かすべきだから、などジェンダー平等への意見	99件	
異性の目を気にせず自分らしく生活できるから。	93件	
子供の意見が大切だから。	69件	
男女別学校の伝統や校風は残すべきだと思うから、共学化すると失われてしまうから。	63件	
別学校を共学化する理由がないから、共学化する必要がないと考えるから。	56件	
家庭の事情で私立高校へ通えない子がいるから、別学に通いたい人が私学にしか行けなくなるから。	51件	
志願倍率が高く、中学生からのニーズがあるから。	48件	
性自認による入学を検討すればいいから、性自認の方への対応は別に検討することだから。	21件	
中高生の意見を平等に考えていない、内容が根拠とならないなど勧告への意見	18件	
共学化する際に施設の改修などコストがかかるから、共学化に必要な費用を全体の教育環境改善のために使ってほしいから。	17件	
子供が別学校を志望したから、子供が別学校で満足しているから。	14件	
共学校が増えることで類似の高校が増えるから、同じ校風の高校ばかりになるから。	8件	
少子化の影響により共学化するときが来るまでは今のままでいいから、学校が統合されるまでは今のままでいいから。	7件	
保育科など専門学科は共学化すべきであるから。	7件	
共学化することで、これまで行っていた部活動が制限されてしまうから。	6件	
共学化により学力が落ちる可能性があるから、多様性を失わせ子供の可能性を掴むから。	6件	
学校管理職や教職員の男女構成比と共学化とは別問題だから。	5件	
男子校に行きたいとした苦情申出者の理由が不明だから。	4件	
高校は義務教育ではない、自分で選択して進学できる、自主的に学校を選択できるから。	3件	

高校生保護者

(11) ⑦その他（50字以内）の要旨

「(9)で『男女別学校は、共学化しない方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述 1,902件

要旨

- ・古い価値観だと別学を共学にしてしまう前に、議論を十分に行う必要があるから。
- ・公立別学校をなくすのは、暴力だと思うから。
- ・〇〇女子高校については、学校の良さを発信するためには女子校であることが望ましいから。
- ・埼玉県で育ち公立別学を愛しているから、県民に昔から愛される〇〇高校など共学にする必要はないから。
- ・男女別学校は埼玉県の財産だから。
- ・埼玉県は声の大きい少数者に振り回されずに、頑張してほしい。
- ・埼玉県民でよかったのは、優秀な高校が県立男女別学校であること。
- ・子供たちの貴重な3年間を奪う前に、県や教育委員会がやるべきことがある。子供への無理強いはずべきでないから。
- ・私の母校が対象なので、なくなってほしくないから。
- ・私立の進学校は男女別学が主流であることと矛盾するから。
- ・自分が〇〇女子高校出身なので昔のまま変わらずあってほしいから。
- ・女子大があるから。
- ・少数の意見で、高校生の時間を奪うのはやめるべきだから。
- ・別学校が、誰の権利を剥奪しているのかが明確ではないから。
- ・少数意見に多数派が合わせる必要はないから。
- ・上位校で男女別定員を定めないと入試で男子有利となり、女子が高い教育を受ける機会が減るから。
- ・定員割れしている学校は共学化を進めていけばよいから。
- ・成績は差があるのに男女差は付けられないことがおかしいから。
- ・努力して入った人が多いので共学にする必要性はないと思うから。
- ・生活環境が問題ではない。成長出来る環境はそれぞれ違うから。
- ・共学化の切り替え時に男女の人数差が大きくなるので、性加害の危険があるから。
- ・設立当初とは違う社会的機能や教育的効果が今は発露しており、それらが主な社会的存在意義となっているから。
- ・偏差値が高くて選べないのが問題だから。
- ・公立の男女別学校が多く存在する事が埼玉県の魅力であるから。
- ・男子の前で悪い意味で態度が変わる先生や生徒が中学校にいたため、共学に嫌気がさしたから。

高校生保護者

(11) ⑦その他（50字以内）の要旨

「(9)で『男女別学校は、共学化しない方がよい』を選んだ理由を選んでください」の記述 1,902件

要旨

- ・女子校に女性の先生が多いのは適切である。
- ・男子校を存続させることが条約の趣旨に反しているという主張には論理の飛躍があるから。
- ・男女共学化を進める前にやるべきことがあるから。
- ・男女参画の観点のみの早期共学化は意味がないから。
- ・男女別学でも定員を割らずに選ばれる学校には理由があるから。
- ・埼玉県立高校のトップ高校が、共学化になってバランスが崩れてしまうデメリットの方が心配だから。
- ・男女別学校の教職員格差の解消により、共学化せずにジェンダー平等の理解促進につなげることができるから。
- ・マジョリティの意見を無視することこそ、多様性に反しているから。
- ・受検がなく全ての子供が好きな学校に行けるなら良い。
- ・男女のトラブルがないから。
- ・伝統少数派の意見に寄り添い過ぎな気がするから。
- ・努力しないと入れない男女別学校の存在は、地域の魅力を高めているから。
- ・別学か共学かを対立点にすること自体が意味のないことであるから。
- ・別学であることの問題点、共学化のメリットが定量的に示されていないから。
- ・別学のトップ高校しかないエリアに同レベルの共学校があるべきと思う。偏差値の高い子は県立だと共学を選択する自由がないから。
- ・別学を希望する子供のため、様々な入試レベルの学校に別学があるとよいから。
- ・別学校の生徒を否定するような共学化をしてはならないから。
- ・保護者自身、男女併学2年間から共学になり、あまりよくなかった経験をしたから。
- ・夜間、通信制高校などもある中、男女の区分けにのみ執着しても無意味だから。
- ・男女別学を問題視する前に公立の学校としてやるべきことがあるから。
- ・男女別学校を選択して別学同士で交流をする事で、別学と共学の良いところを得ることができると思うから。

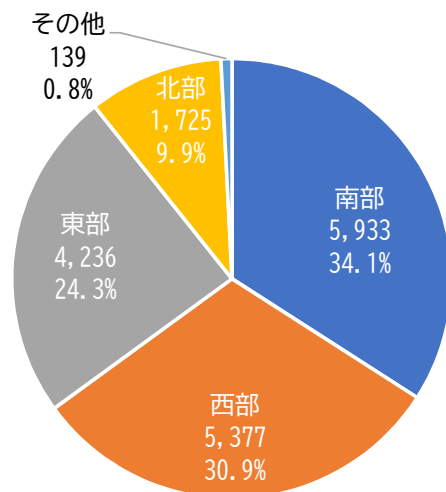
その他意味が不明瞭など12件

高校生保護者

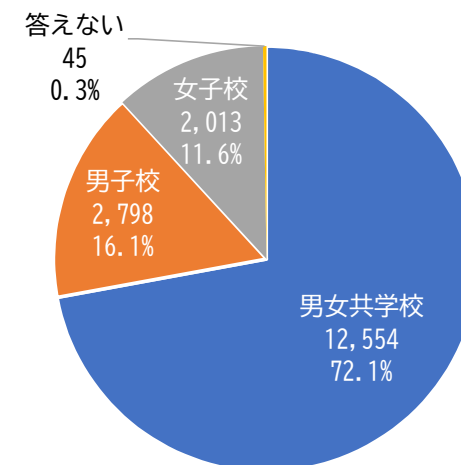
(12) 居住地域別の子供の在学学校 <(1)居住地×(4)お子様の在学学校>

項目	南部 5,933 (34.1%)	西部 5,377 (30.9%)	東部 4,236 (24.3%)	北部 1,725 (9.9%)	その他 139 (0.8%)
① 男女共学校	71.5%	68.0%	78.8%	70.5%	69.1%
② 男子校	17.2%	19.1%	9.8%	18.2%	12.2%
③ 女子校	10.9%	12.7%	11.0%	11.1%	18.7%
④ 答えない	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.0%

(1) 居住地



(4) お子様の在学学校 (共学・別学など)

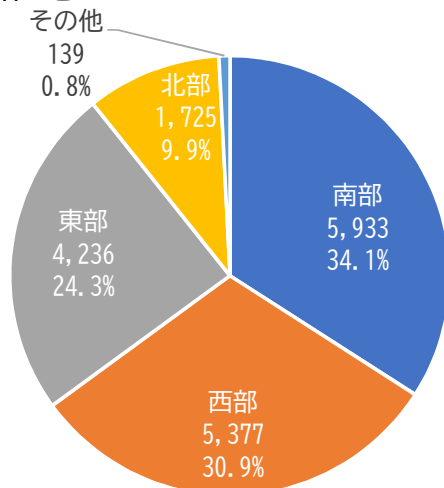


高校生保護者

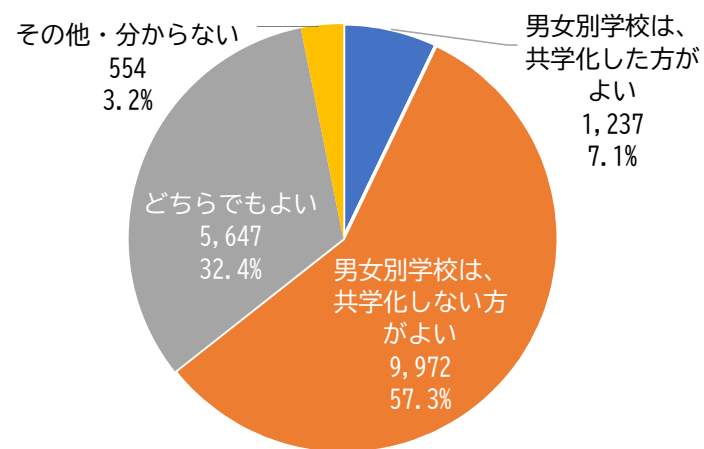
(13) 居住地域別の共学化に対する考え <(1)居住地×(9)男女別学校の在り方>

項目	南部 5,933 (34.1%)	西部 5,377 (30.9%)	東部 4,236 (24.3%)	北部 1,725 (9.9%)	その他 139 (0.8%)
① 男女別学校は、共学化した方がよい	7.2%	7.2%	6.6%	7.5%	10.8%
② 男女別学校は、共学化しない方がよい	62.5%	57.3%	54.1%	47.9%	45.3%
③ どちらでもよい	27.6%	32.3%	35.4%	41.8%	40.3%
④ その他・分からない	2.7%	3.2%	3.9%	2.8%	3.6%

(1) 居住地



(9) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



高校生保護者

(14) 子供の在学期別の「男女共学校または男女別学校」を選んだ理由

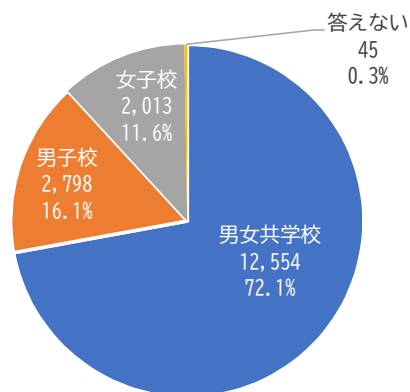
<(4)お子様の在学期×(6)(4)を選んだ理由×(7)(6)で男女共学校または男女別学校を選んだ理由>

項目	男女共学校 1,974件	男子校 1,729件	女子校 1,332件
	男女共学校であるから	男女別学校であるから	
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	21.3%	38.7%	32.2%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	15.5%	2.5%	3.8%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	21.4%	16.1%	21.0%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	24.2%	30.6%	33.9%
⑤ その他(50字以内)	14.2%	11.9%	9.1%
⑥ 特にない・分からない	3.4%	0.2%	0.0%

※下段(7)の回答5,045件のうち、以下に該当する10件については、左の表に記載していない。

・下段「(4)お子様の在学期」について「答えない」と回答した保護者で、「男女共学校であるから」又は「男女別学校であるから」を選んだ方の回答

(4) お子様の在学期(共学・別学など) (6) 現在の在学期を選んだ理由を選んでください。(7) (6)で男女共学校または男女別学校を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)



項目	選択数	選択割合
① 子供の能力・適性に合っているから	11,890	28.3%
② 進学や就職等の実績があるから	4,153	9.9%
③ 学校の伝統や校風に魅力があるから	5,302	12.6%
④ 通学が便利だから	5,859	14.0%
⑤ 男女共学校であるから	1,231	2.9%
⑥ 男女別学校であるから	1,392	3.3%
⑦ 子供が志望していたから	11,550	27.5%
⑧ その他(50字以内)	550	1.3%
⑨ 特にない・分からない	56	0.1%
選択数計	41,983	100.0%

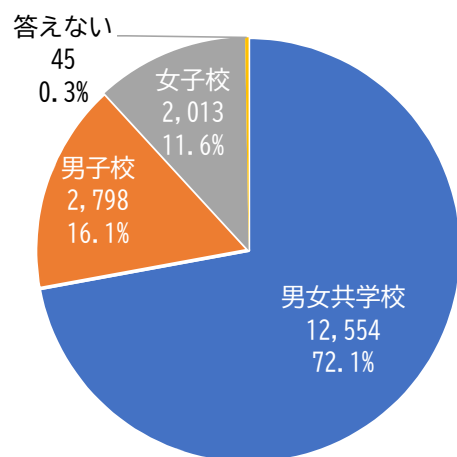
項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,522	30.2%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	399	7.9%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれない学校生活を送らせることができるから	984	19.5%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	1,461	29.0%
⑤ その他(50字以内)	608	12.1%
⑥ 特にない・分からない	71	1.4%
選択数計	5,045	100.0%

高校生保護者

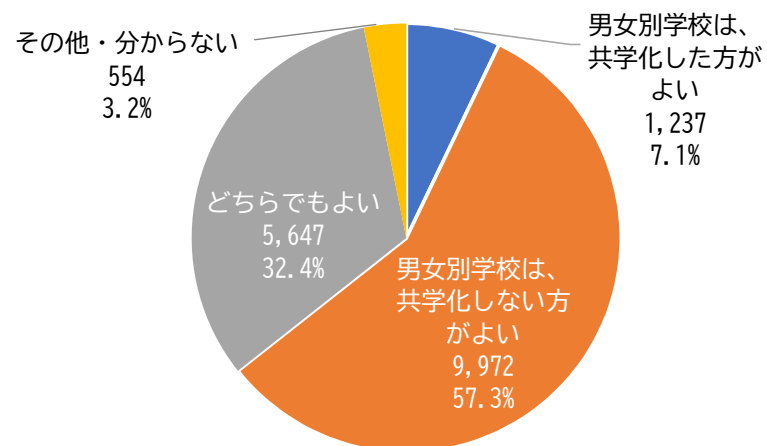
(15) 子供の在り学校別の共学化に対する考え <(4)お子様の在り学校×(9)男女別学校の在り方>

項目	男女共学校 12,554 (72.1%)	男子校 2,798 (16.1%)	女子校 2,013 (11.6%)	答えない 45 (0.3%)
① 男女別学校は、共学化した方がよい	9.0%	2.0%	2.2%	6.7%
② 男女別学は、共学化しない方がよい	45.8%	88.6%	85.1%	71.1%
③ どちらでもよい	41.5%	7.6%	11.0%	13.3%
④ その他・分からない	3.7%	1.8%	1.7%	8.9%

(4) お子様の在り学校（共学・別学など）



(9) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



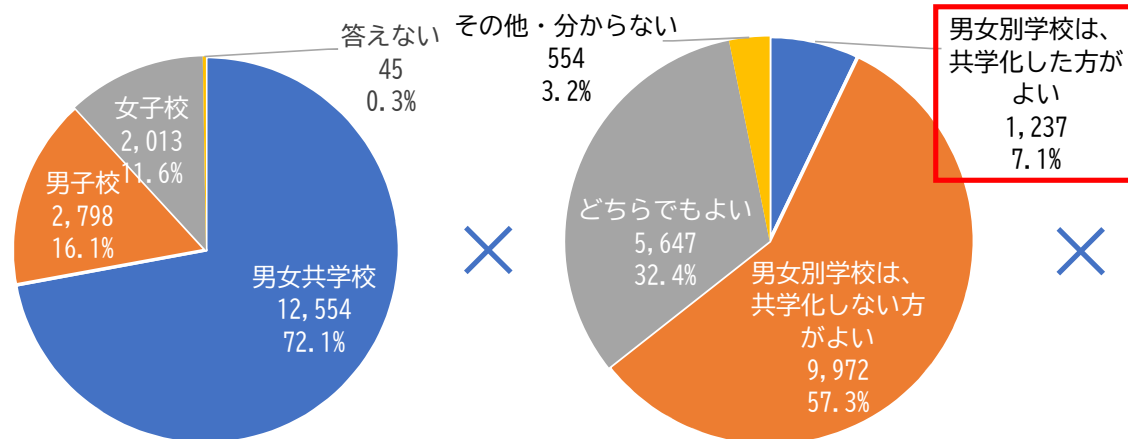
高校生保護者

(16) 子供の在り学校別の共学化した方がよいと考える理由

<(4)お子様の在り学校×(9)男女別学校の在り方×(10) (9)で「共学化した方がよい」理由>

項目	男女共学校 2,446件	男子校 118件	女子校 99件	答えない 6件
男女別学校は、共学化した方がよい				
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	28.5%	18.6%	30.3%	16.7%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	7.2%	7.6%	6.1%	16.7%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	19.6%	17.8%	16.2%	0.0%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	15.0%	12.7%	10.1%	16.7%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	13.9%	16.9%	17.2%	0.0%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	7.3%	12.7%	5.1%	16.7%
⑦ その他(50字以内)	8.2%	13.6%	15.2%	16.7%
⑧ 特にない・分からない	0.4%	0.0%	0.0%	16.7%

(4) お子様の在り学校 (共学・別学など) (9) 県立の男女別学校12校の在り方



(10) (9)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由 (三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	750	28.1%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	192	7.2%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	516	19.3%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	394	14.8%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	376	14.1%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	199	7.5%
⑦ その他(50字以内)	232	8.7%
⑧ 特にない・分からない	10	0.4%
選択数計	2,669	100.0%

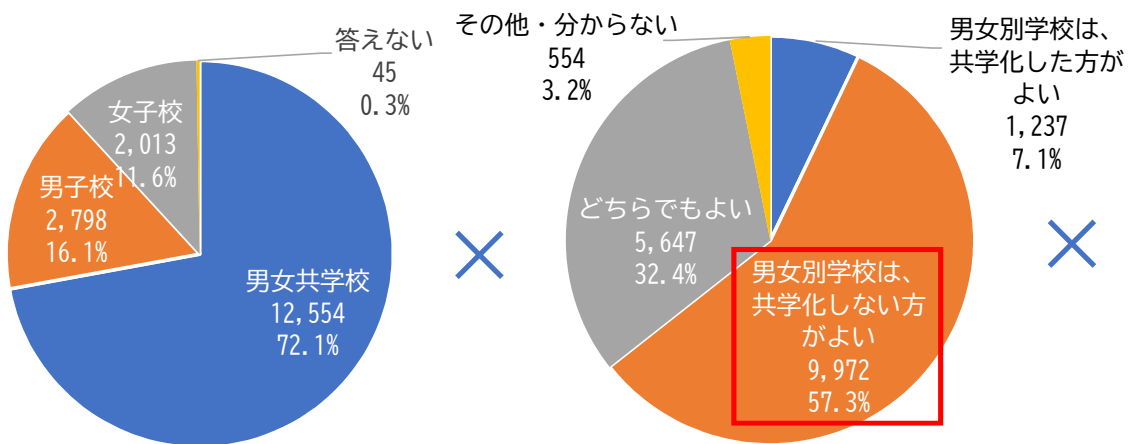
高校生保護者

(17) 子供の在り学校別の共学化しない方がよいと考える理由

<(4)お子様の在り学校×(9)男女別学校の在り方×(11) (9)で「共学化しない方がよい」理由>

項目	男女共学校 12,375件	男子校 6,355件	女子校 4,336件	答えない 77件
男女別学校は、共学化しない方がよい				
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	42.7%	35.4%	35.3%	37.7%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	11.3%	16.5%	15.0%	14.3%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	1.4%	1.2%	2.0%	1.3%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	3.2%	5.1%	9.8%	5.2%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	18.7%	23.9%	16.3%	19.5%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	12.7%	11.2%	15.6%	11.7%
⑦ その他(50字以内)	9.7%	6.8%	6.0%	10.4%
⑧ 特にない・分からない	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%

(4) お子様の在り学校(共学・別学など)(9) 県立の男女別学校12校の在り方



(11) (9)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由(三つまで選択可能)

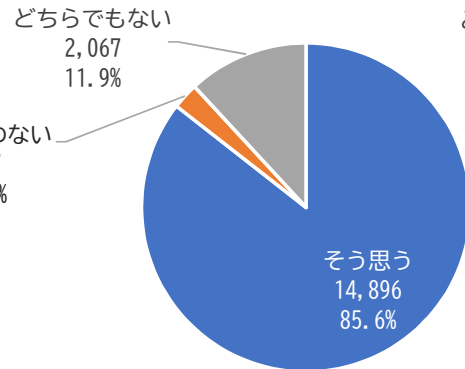
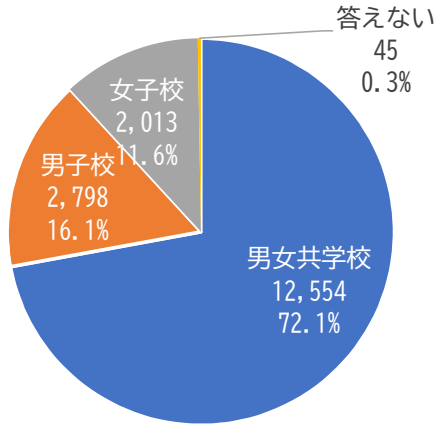
項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	9,095	39.3%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	3,115	13.5%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	342	1.5%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	1,153	5.0%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	4,559	19.7%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	2,969	12.8%
⑦ その他(50字以内)	1,902	8.2%
⑧ 特にない・分からない	8	0.0%
選択数計	23,143	100.0%

高校生保護者

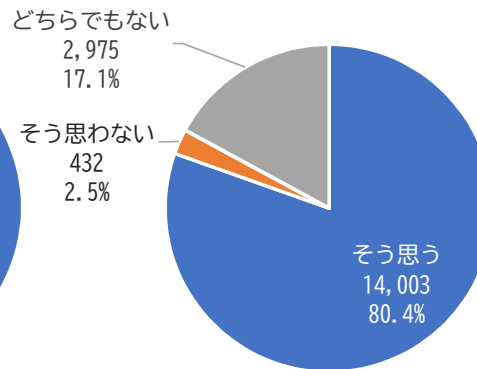
(18) 子供の在り学校別の学校への評価 <(4)お子様の在り学校×(8)お子様の在り学している学校への評価>

(8) お子様の在り学している学校への評価

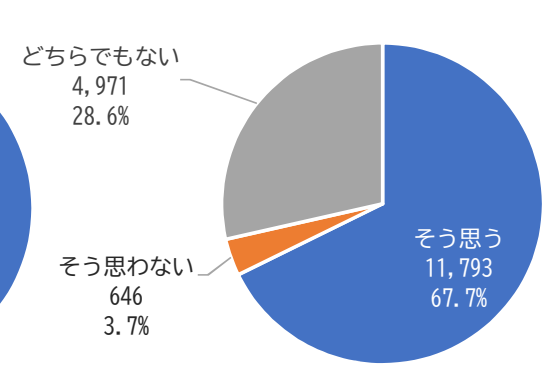
(4) お子様の在り学校 (共学・別学など)



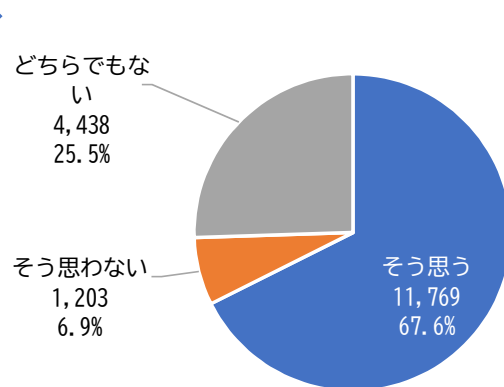
学校生活に満足している



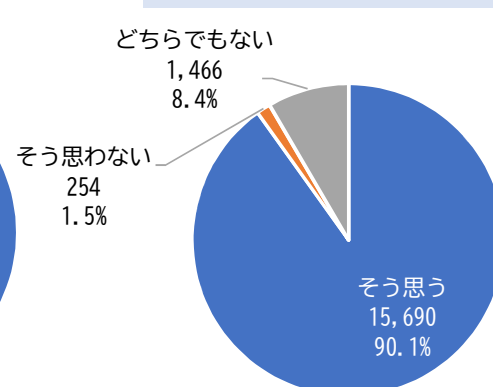
自分の力を発揮できる、
または、伸ばすことができる



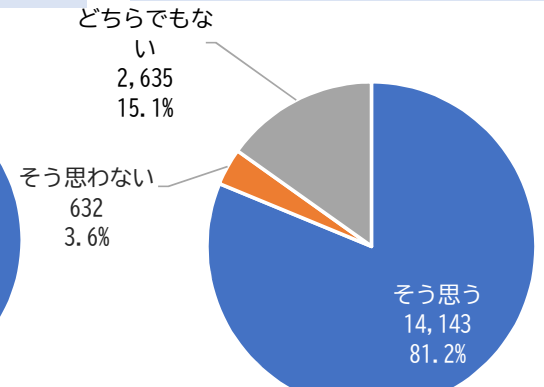
男女共同参画やジェンダー平等
に対する理解が進んでいる



「男子は〇〇」「女子は□□」
といった固定的な役割分担意識に
とらわれないで生活している



学校生活を安心して過ごせる
ような友人ができる、または、
居場所がある



性別によらず、
良い人間関係を構築できる

高校生保護者

(18) 子供の在り学校別の学校への評価 <(4)お子様の在り学校×(8)お子様の在学している学校への評価>

学校生活に満足している

項目	男女共学校 12,554 (72.1%)	男子校 2,798 (16.1%)	女子校 2,013 (11.6%)	答えない 45 (0.3%)
① そう思う	82.1%	96.0%	93.0%	77.8%
② そう思わない	3.1%	0.9%	1.1%	6.7%
③ どちらでもない	14.8%	3.0%	5.8%	15.6%

自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができる

項目	男女共学校 12,554 (72.1%)	男子校 2,798 (16.1%)	女子校 2,013 (11.6%)	答えない 45 (0.3%)
① そう思う	75.2%	95.6%	92.2%	73.3%
② そう思わない	3.2%	0.6%	0.8%	4.4%
③ どちらでもない	21.7%	3.7%	7.1%	22.2%

男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進んでいる

項目	男女共学校 12,554 (72.1%)	男子校 2,798 (16.1%)	女子校 2,013 (11.6%)	答えない 45 (0.3%)
① そう思う	65.1%	73.7%	76.3%	55.6%
② そう思わない	4.1%	2.6%	2.7%	2.2%
③ どちらでもない	30.8%	23.7%	21.0%	42.2%

高校生保護者

(18) 子供の在り学校別の学校への評価 <(4)お子様の在り学校×(8)お子様の在り学している学校への評価>

「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれないで生活している

項目	男女共学校 12,554 (72.1%)	男子校 2,798 (16.1%)	女子校 2,013 (11.6%)	答えない 45 (0.3%)
① そう思う	61.9%	81.7%	83.5%	68.9%
② そう思わない	8.2%	3.5%	3.6%	4.4%
③ どちらでもない	29.9%	14.8%	12.9%	26.7%

学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所がある

項目	男女共学校 12,554 (72.1%)	男子校 2,798 (16.1%)	女子校 2,013 (11.6%)	答えない 45 (0.3%)
① そう思う	88.0%	96.3%	95.0%	84.4%
② そう思わない	1.9%	0.5%	0.3%	2.2%
③ どちらでもない	10.2%	3.3%	4.7%	13.3%

性別によらず、良い人間関係を構築できる

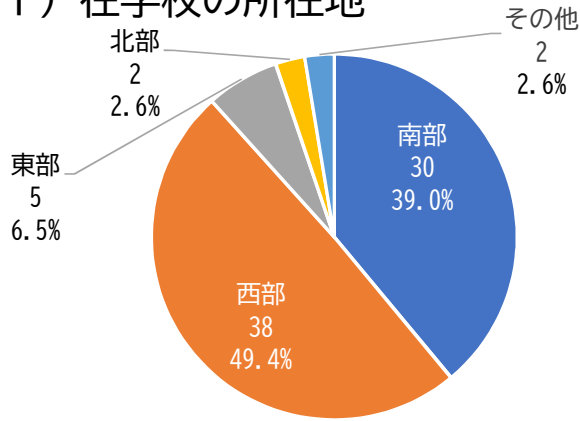
項目	男女共学校 12,554 (72.1%)	男子校 2,798 (16.1%)	女子校 2,013 (11.6%)	答えない 45 (0.3%)
① そう思う	80.0%	86.7%	81.4%	75.6%
② そう思わない	4.0%	2.1%	3.5%	0.0%
③ どちらでもない	16.0%	11.2%	15.1%	24.4%

別添 1-2 埼玉県立の男女別学校に関するアンケート(記名なし) (措置報告書2ページ「2(2)ア 埼玉県立の男女別学校に関するアンケート」関係)

中学生

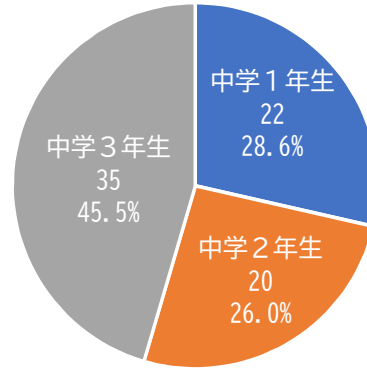
回答人数：77人

(1) 在学校の所在地

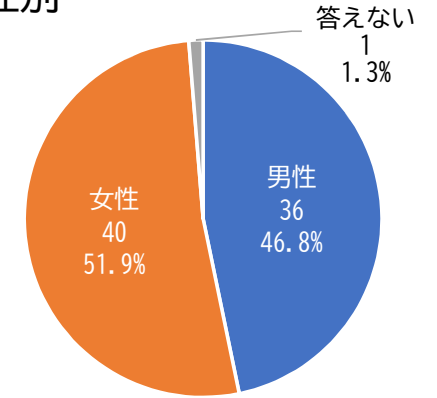


南部	川口市・蕨市・戸田市・さいたま市・鴻巣市・上尾市・桶川市 北本市・伊奈町
西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市 三芳町・川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町 越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町 ときがわ町・東秩父村・所沢市・飯能市・狭山市・入間市 日高市
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町 行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市 宮代町・杉戸町
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町

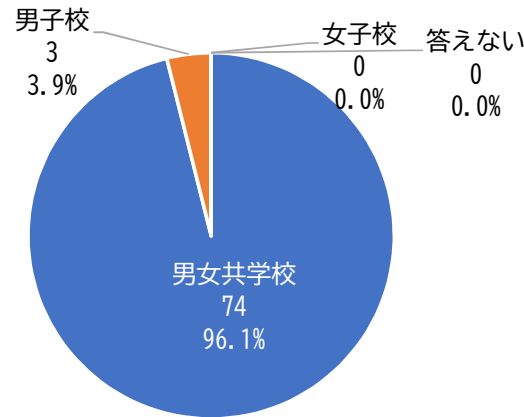
(2) 学年



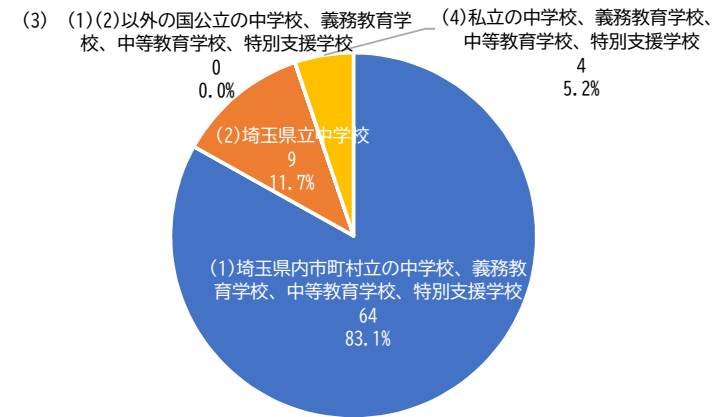
(3) 性別



(4) 在学校 (共学・別学など)

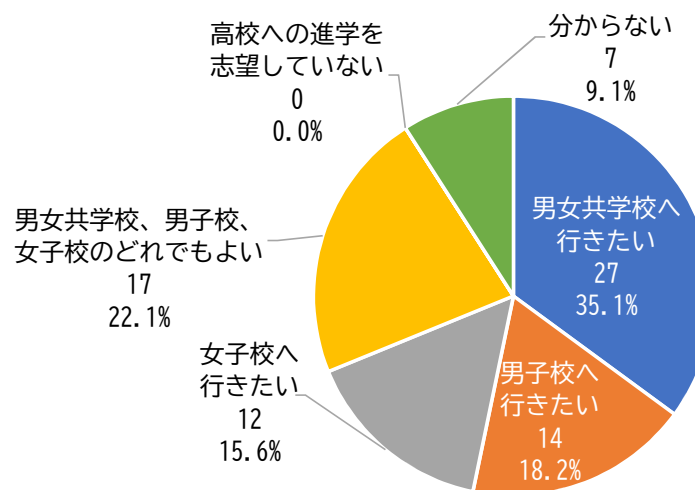


(5) 在学校 (市町村立・私立など)



中学生

(6) 次のうちのどの高校へ進学したいですか。
現時点の考えを教えてください。



(7) (6) の回答を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

【(6)で「男女共学校へ行きたい」「男子校へ行きたい」「女子校へ行きたい」「男女共学校、男子校、女子校のどれでもよい」を選んだ方のみ】

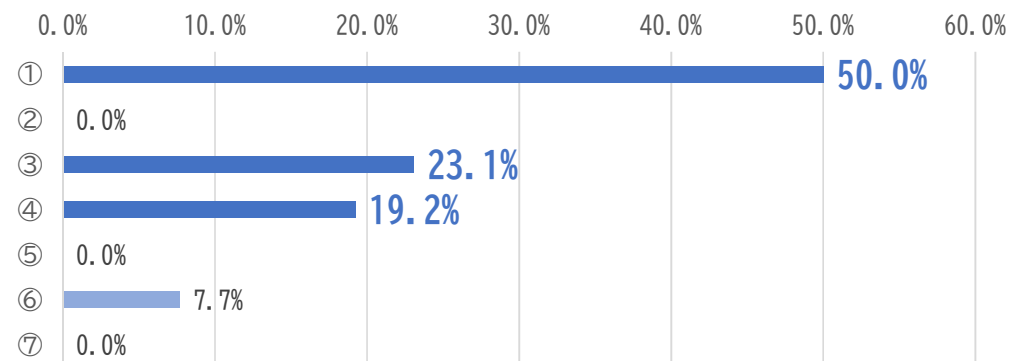
項目	選択数	選択割合
① 自分の学力に合っているから	25	15.2%
② 自分が学びたい学科があるから	2	1.2%
③ 自分が望む進学や就職などの実績があるから	17	10.4%
④ 部活動や学校行事にみりょくがあるから	29	17.7%
⑤ 学校の伝統や学校のふんいきにみりょくがあるから	31	18.9%
⑥ 通学が便利だから	18	11.0%
⑦ 男女共学校であるから	16	9.8%
⑧ 男女別学校であるから	22	13.4%
⑨ その他(50字以内)	1	0.6%
⑩ 特にない・分からない	3	1.8%
選択数計	164	100.0%

	(6)への回答別の理由			
	男女共学校へ行きたい 53件	男子校へ行きたい 38件	女子校へ行きたい 35件	共学・別学どれでもよい 38件
①	20.8%	5.3%	8.6%	23.7%
②	1.9%	2.6%	0.0%	0.0%
③	15.1%	7.9%	8.6%	7.9%
④	9.4%	18.4%	20.0%	26.3%
⑤	5.7%	31.6%	28.6%	15.8%
⑥	17.0%	2.6%	2.9%	18.4%
⑦	30.2%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧	0.0%	28.9%	31.4%	0.0%
⑨	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%
⑩	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%

中学生

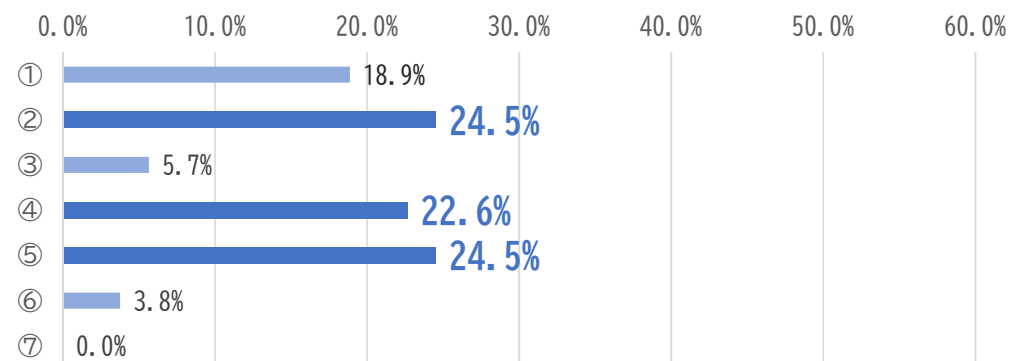
(8) (7)で「男女共学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 異性ととも学校生活を送りたいから	13	50.0%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	0	0.0%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	6	23.1%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを経験することができるから	5	19.2%
⑤ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	0	0.0%
⑥ その他(50字以内)	2	7.7%
⑦ 特にない・分からない	0	0.0%
選択数計	26	100.0%



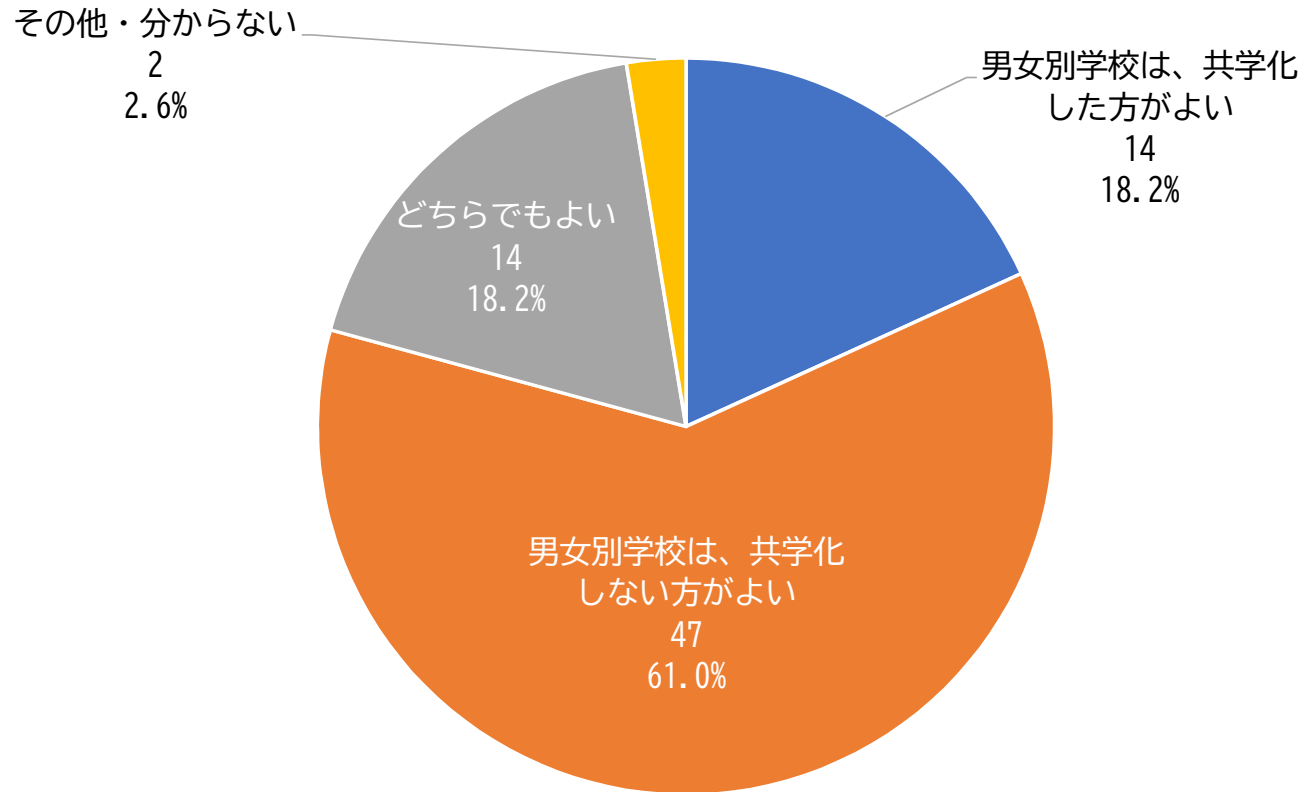
(9) (7)で「男女別学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 異性と関わらずに学校生活を送りたいから	10	18.9%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	13	24.5%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	3	5.7%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを経験することができるから	12	22.6%
⑤ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	13	24.5%
⑥ その他(50字以内)	2	3.8%
⑦ 特にない・分からない	0	0.0%
選択数計	53	100.0%



中学生

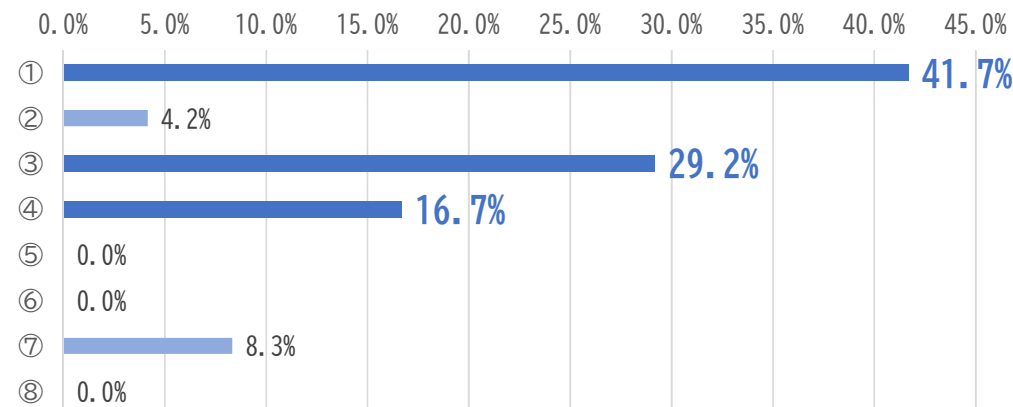
(10) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



中学生

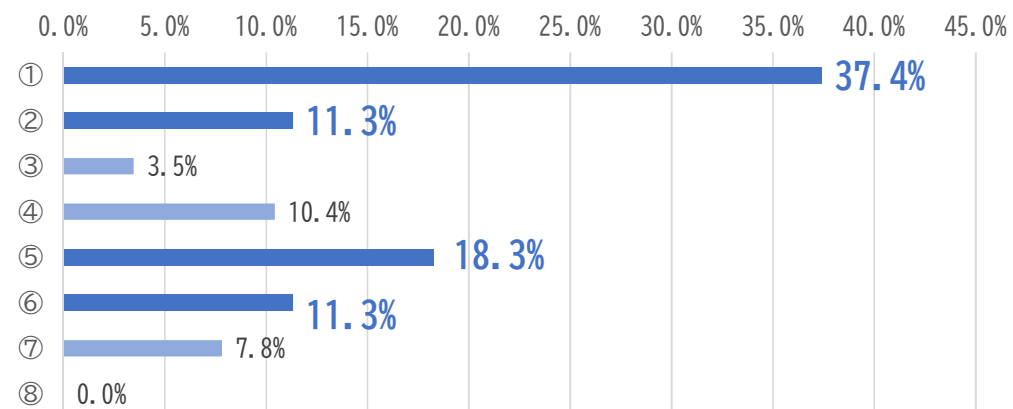
(11) (10) で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	10	41.7%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	1	4.2%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	7	29.2%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを経験することができるから	4	16.7%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や学校のふんいきのいじができるから	0	0.0%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	0	0.0%
⑦ その他(50字以内)	2	8.3%
⑧ 特にない・分からない	0	0.0%
選択数計	24	100.0%



(12) (10) で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

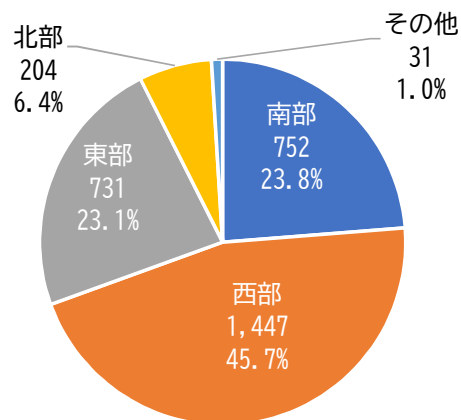
項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選べる方がよいから	43	37.4%
② 自分の力を発揮できる、または、のばすことができるから	13	11.3%
③ 異性を理解して認め合ったり仲よくできる、または、ジェンダー平等に対する理解が進むから	4	3.5%
④ 性別によらず、いろいろな係や役割などを経験することができるから	12	10.4%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や学校のふんいきのいじができなくなるから	21	18.3%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	13	11.3%
⑦ その他(50字以内)	9	7.8%
⑧ 特にない・分からない	0	0.0%
選択数計	115	100.0%



高校生

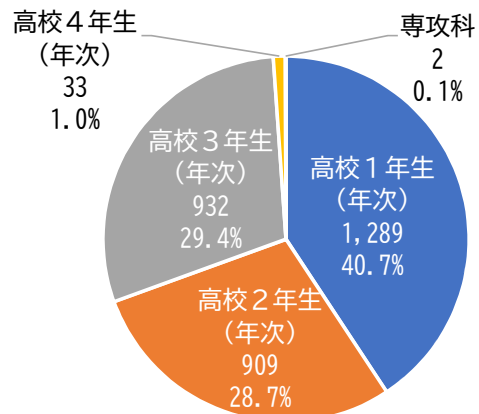
回答人数：3,165人

(1) 居住地

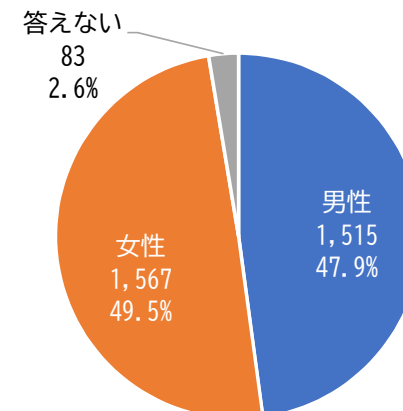


南部	川口市・蕨市・戸田市・さいたま市・鴻巣市・上尾市・桶川市 北本市・伊奈町
西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市 三芳町・川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町 越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町 ときがわ町・東秩父村・所沢市・飯能市・狭山市・入間市 日高市
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町 行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市 宮代町・杉戸町
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町

(2) 学年

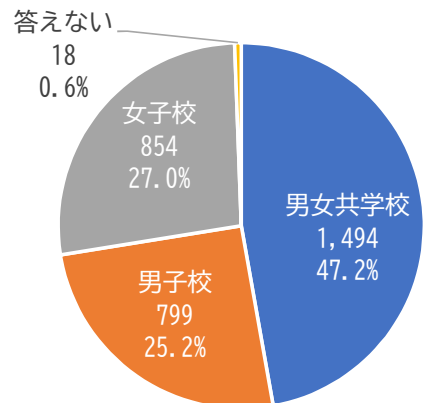


(3) 性別

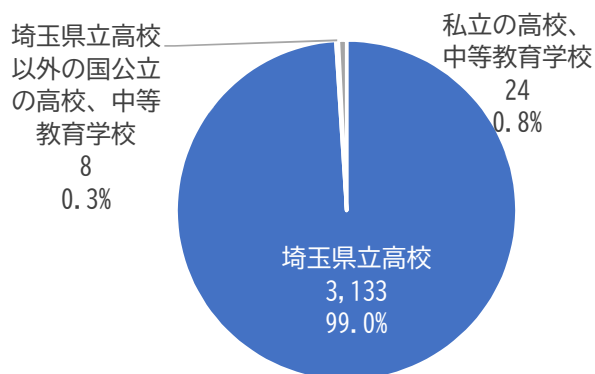


高校生

(4) 在学学校（共学・別学など）



(5) 在学学校（県立・私立など）



(6) 現在の在学学校を選んだ理由を選んでください。 (三つまで選択可能)

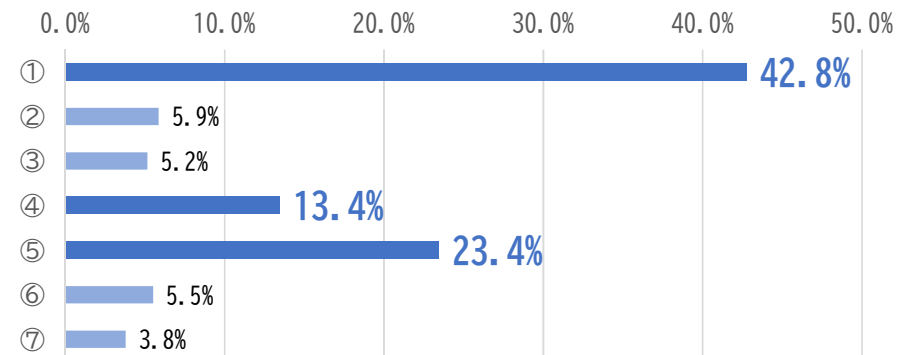
項目	選択数	選択割合
① 自分の学力に合っているから	1,910	26.6%
② 自分が学びたい学科があるから	220	3.1%
③ 自分が望む進学や就職等の実績があるから	556	7.7%
④ 部活動や学校行事に魅力があるから	1,252	17.4%
⑤ 学校の伝統や校風に魅力があるから	1,042	14.5%
⑥ 通学が便利だから	986	13.7%
⑦ 男女共学校であるから	180	2.5%
⑧ 男女別学校であるから	851	11.8%
⑨ その他（50字以内）	68	0.9%
⑩ 特にない・分からない	118	1.6%
選択数計	7,183	100.0%

	(4)への回答別の理由			
	男女共学校 2,983件	男子校 2,105件	女子校 2,066件	答えない 29件
①	31.0%	22.4%	24.6%	20.7%
②	5.7%	0.6%	1.7%	3.4%
③	9.0%	8.3%	5.4%	13.8%
④	15.4%	19.2%	18.7%	6.9%
⑤	7.2%	22.6%	17.0%	3.4%
⑥	21.8%	7.4%	8.5%	13.8%
⑦	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧	0.0%	18.3%	22.5%	3.4%
⑨	1.2%	0.6%	0.8%	6.9%
⑩	2.7%	0.5%	0.8%	27.6%

高校生

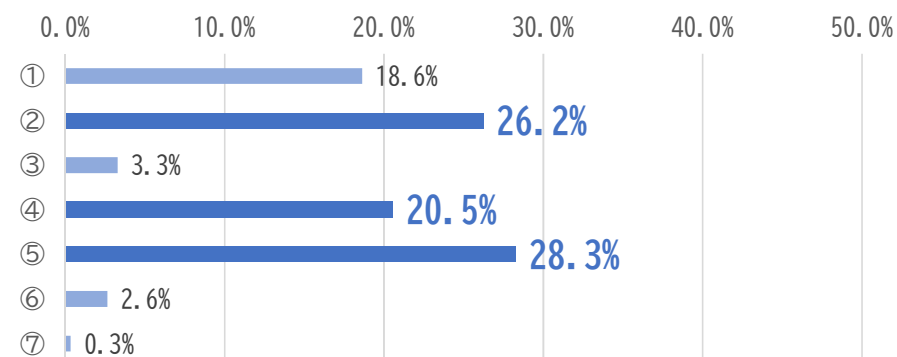
(7) (6)で「男女共学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 異性とともに学校生活を送りたいから	124	42.8%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	17	5.9%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	15	5.2%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれないで学校生活を送ることができるから	39	13.4%
⑤ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	68	23.4%
⑥ その他(50字以内)	16	5.5%
⑦ 特にない・分からない	11	3.8%
選択数計	290	100.0%



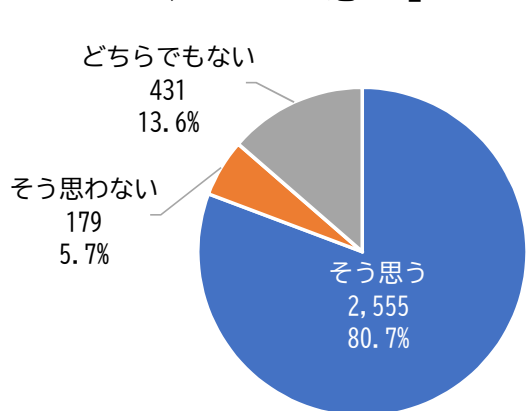
(8) (6)で「男女別学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 異性と関わらずに学校生活を送りたいから	373	18.6%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	525	26.2%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	66	3.3%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとらわれないで学校生活を送ることができるから	411	20.5%
⑤ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	566	28.3%
⑥ その他(50字以内)	53	2.6%
⑦ 特にない・分からない	7	0.3%
選択数計	2,001	100.0%

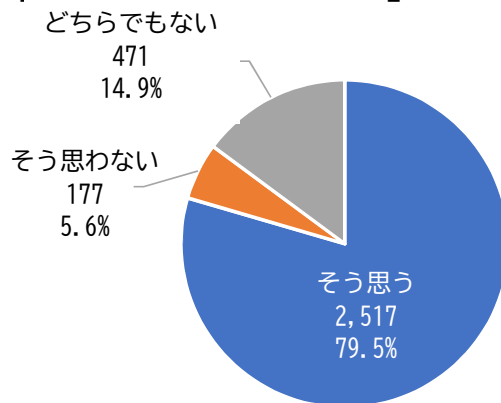


高校生

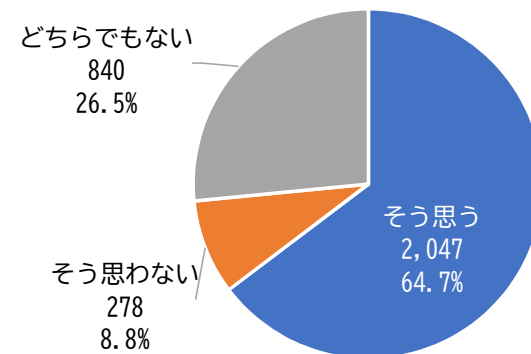
(9) 現在、在学している学校について伺います。以下の各項目は実際に入学してみてどうでしたか。各項目について、「そう思う」「そう思わない」「どちらでもない」から1つ選んでください。



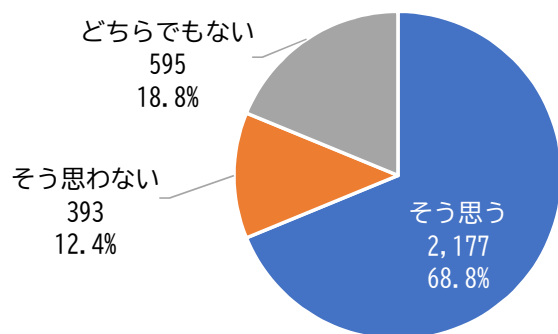
学校生活に満足している



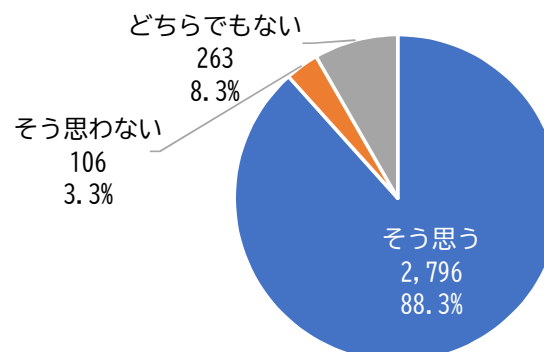
自分の力を発揮できる、
または、伸ばすことができる



男女共同参画やジェンダー平等に対する
理解が進んでいる



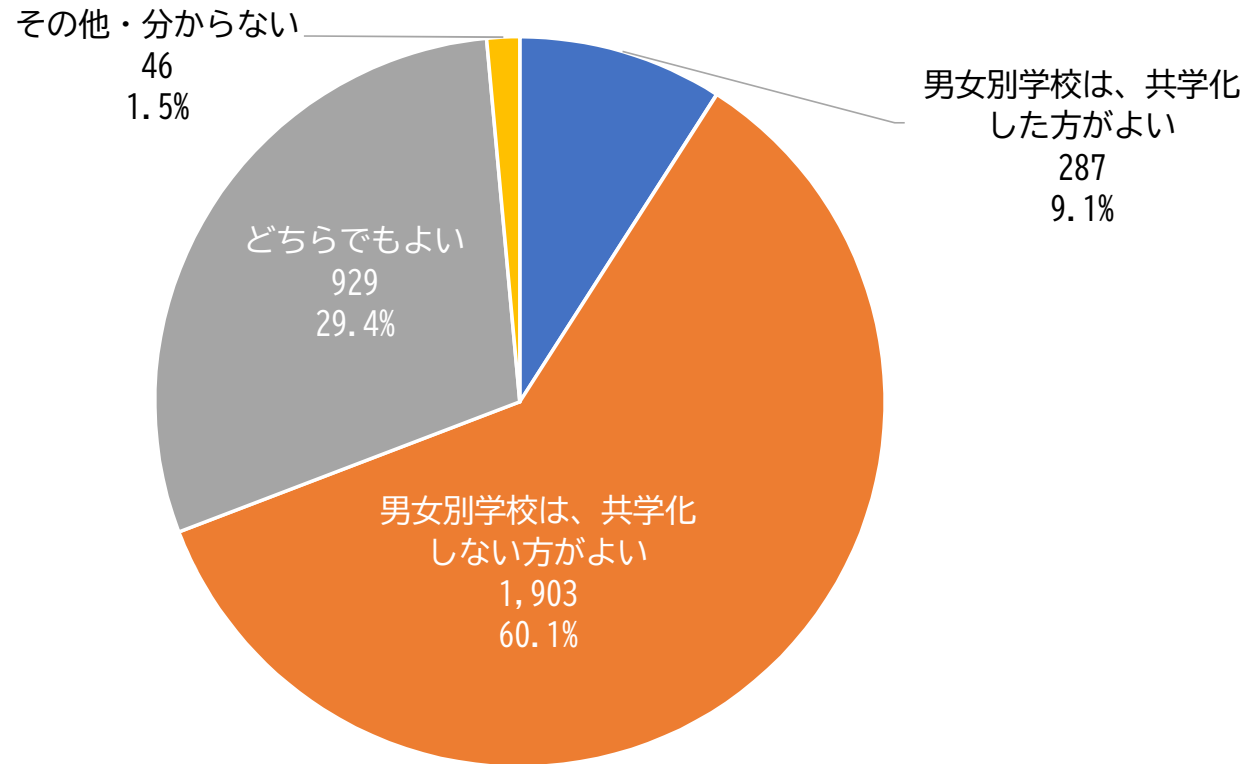
「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な
役割分担意識にとらわれないで学校生活を送れる



学校生活を安心して過ごせるような友人が
できる、または、居場所がある

高校生

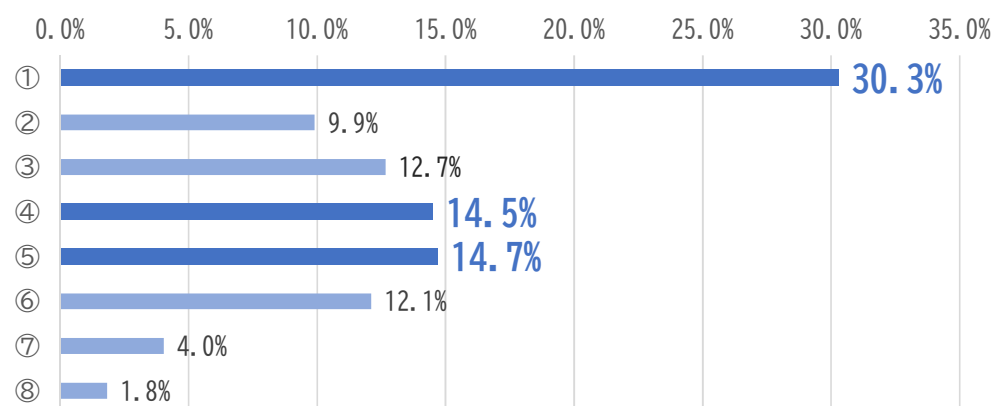
(10) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



高校生

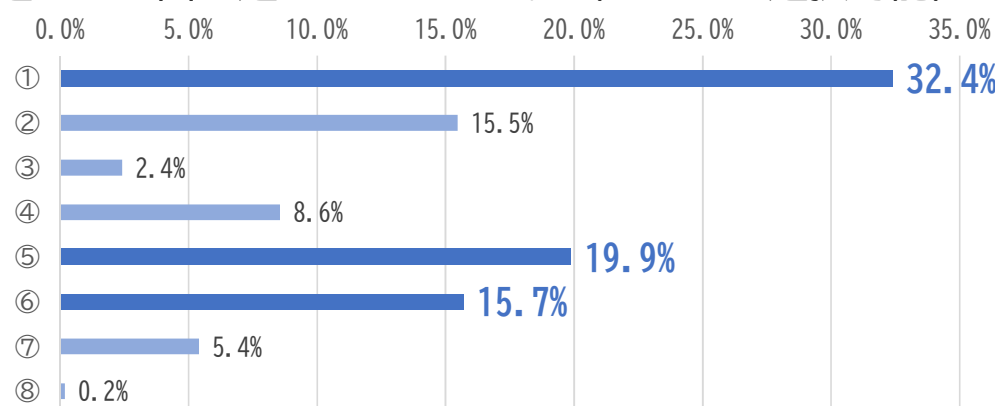
(11) (10) で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	165	30.3%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	54	9.9%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	69	12.7%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	79	14.5%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	80	14.7%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	66	12.1%
⑦ その他(50字以内)	22	4.0%
⑧ 特にない・分からない	10	1.8%
選択数計	545	100.0%



(12) (10) で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

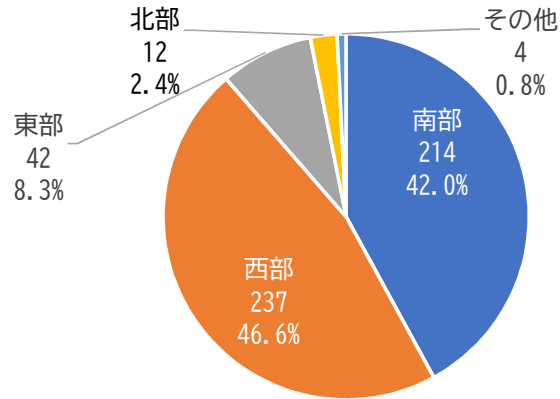
項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	1,529	32.4%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	730	15.5%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	114	2.4%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	404	8.6%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	938	19.9%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	741	15.7%
⑦ その他(50字以内)	255	5.4%
⑧ 特にない・分からない	9	0.2%
選択数計	4,720	100.0%



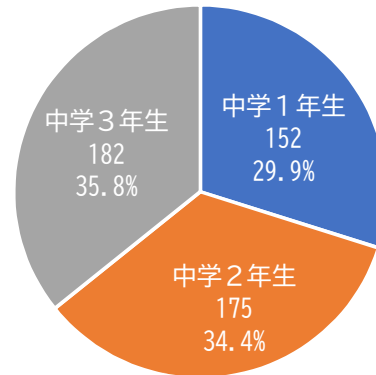
中学生保護者

回答人数：509人

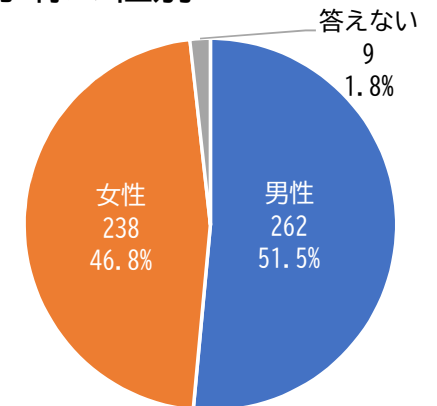
(1) お子様の在学校の所在地



(2) お子様の学年

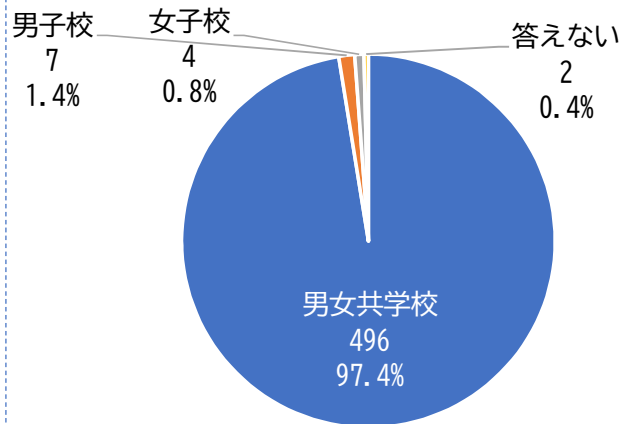


(3) お子様の性別

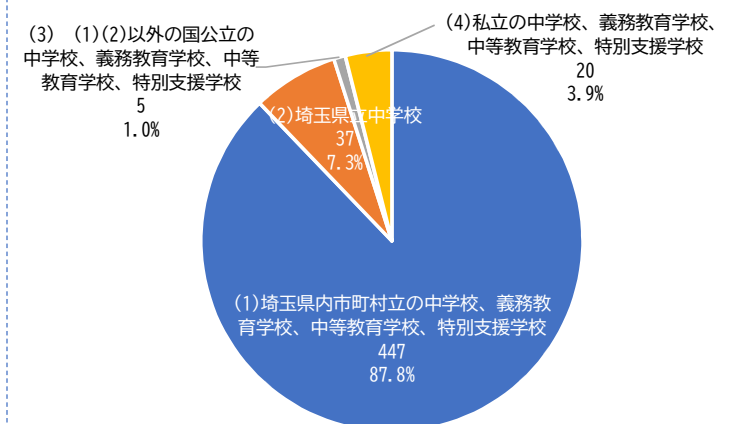


南部	川口市・蕨市・戸田市・さいたま市・鴻巣市・上尾市・桶川市 北本市・伊奈町
西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市 三芳町・川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町 越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町 ときがわ町・東秩父村・所沢市・飯能市・狭山市・入間市 日高市
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町 行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市 宮代町・杉戸町
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町

(4) お子様の在学校の種類 (共学・別学など)

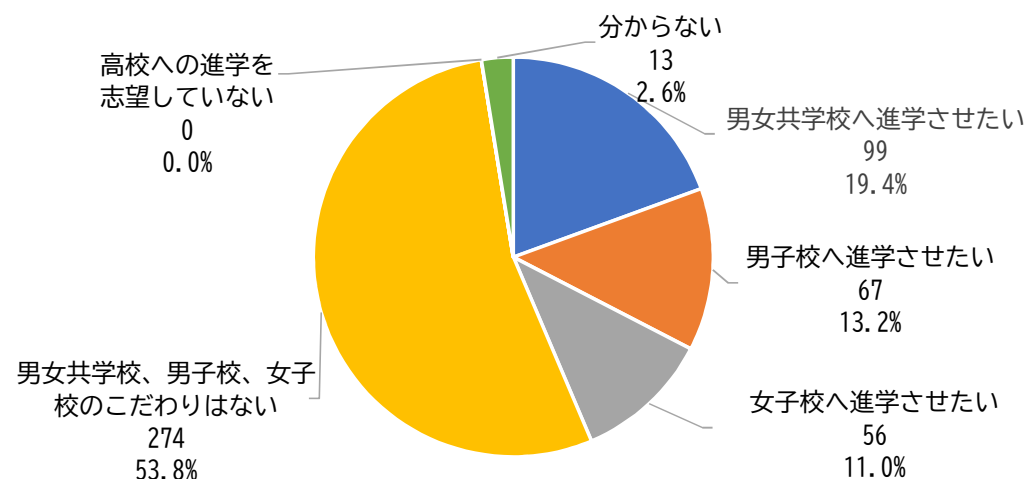


(5) お子様の在学校の種類 (市町村立・私立など)



中学生保護者

(6) お子様を次のうちのどの高校へ進学させたいですか。
現時点の考えを教えてください。



(7) (6) の回答を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)
【(6)で「男女共学校へ進学させたい」「男子校へ進学させたい」「女子校へ進学させたい」「男女共学校、男子校、女子校のこだわりはない」を選んだ方のみ】

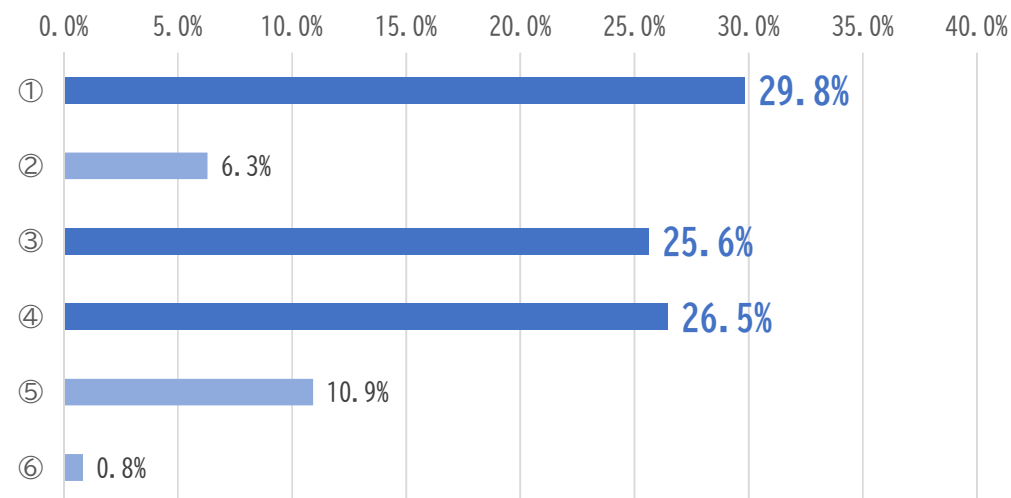
項目	選択数	選択割合
① 子供の能力・適性に合っているから	271	25.9%
② 進学や就職等の実績があるから	95	9.1%
③ 学校の伝統や校風に魅力があるから	188	17.9%
④ 通学が便利だから	91	8.7%
⑤ 男女共学校であるから	38	3.6%
⑥ 男女別学校であるから	77	7.3%
⑦ 子供が志望していたから	227	21.7%
⑧ その他(50字以内)	35	3.3%
⑨ 特になし・分からない	26	2.5%
選択数計	1,048	100.0%

	(6)への回答別の理由			
	男女共学校へ進学させたい 182件	男子校へ進学させたい 177件	女子校へ進学させたい 145件	共学・別学のこだわりはない 544件
①	29.1%	15.3%	12.4%	31.8%
②	7.1%	11.9%	7.6%	9.2%
③	7.7%	28.8%	31.0%	14.3%
④	13.7%	2.3%	2.8%	10.7%
⑤	20.3%	0.0%	0.0%	0.2%
⑥	0.0%	19.2%	27.6%	0.6%
⑦	13.7%	20.9%	15.9%	26.1%
⑧	4.4%	1.7%	2.8%	3.7%
⑨	3.8%	0.0%	0.0%	3.5%

中学生保護者

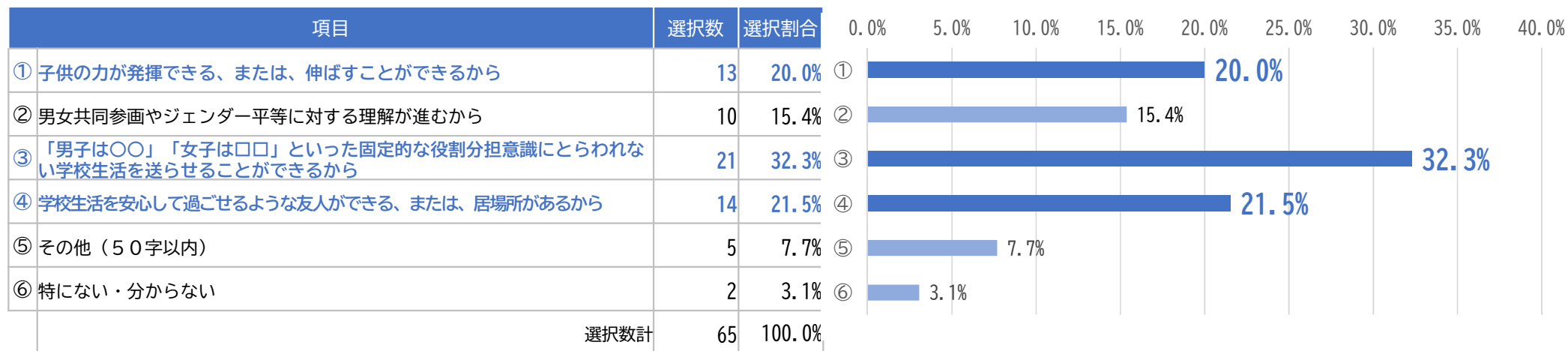
(8) (7) で男女共学校または男女別学校を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	71	29.8%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	15	6.3%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとられない学校生活を送らせることができるから	61	25.6%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	63	26.5%
⑤ その他(50字以内)	26	10.9%
⑥ 特にない・分からない	2	0.8%
選択数計	238	100.0%

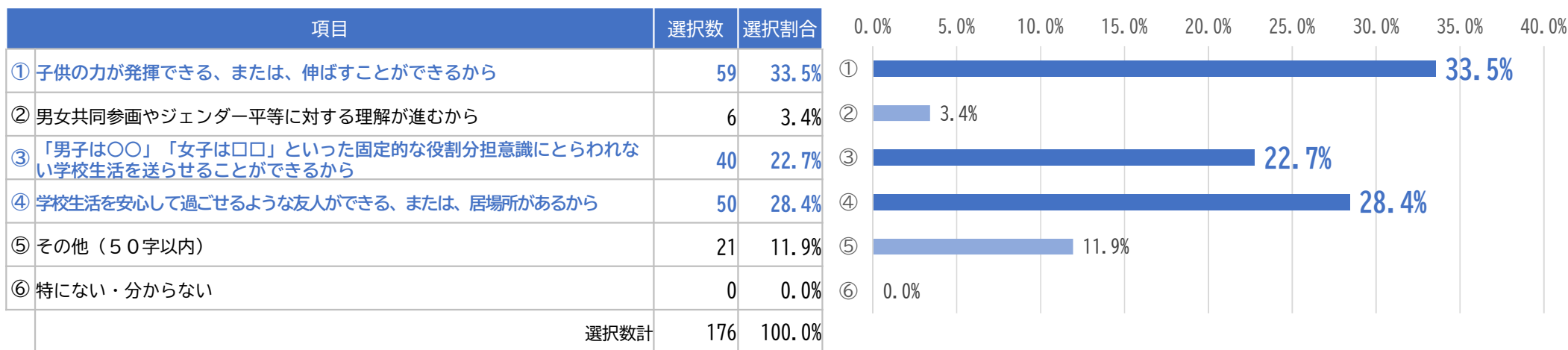


中学生保護者

(8) (7)で「男女共学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

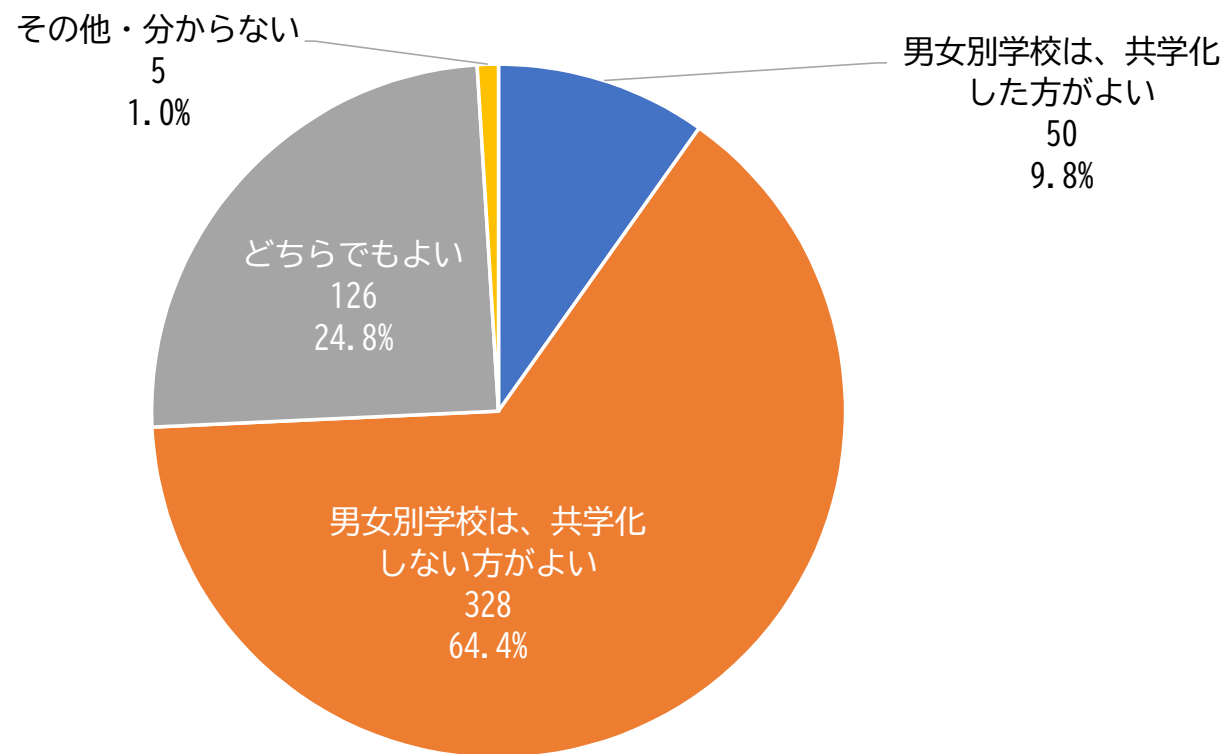


(8) (7)で「男女別学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)



中学生保護者

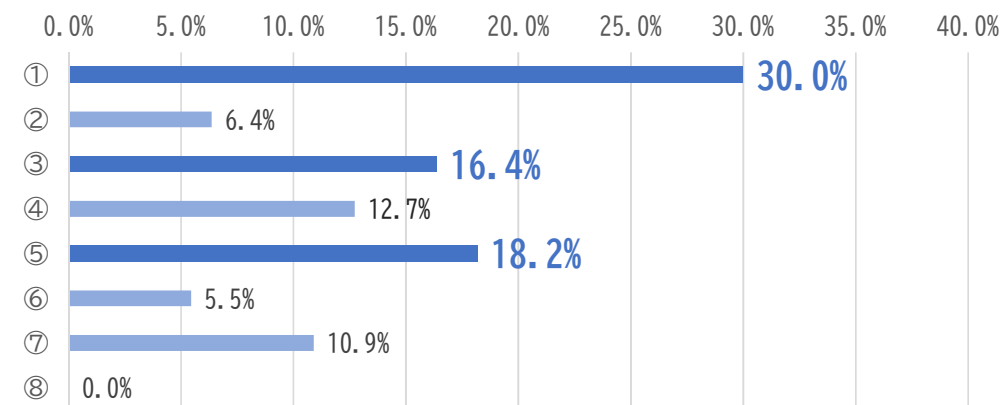
(9) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



中学生保護者

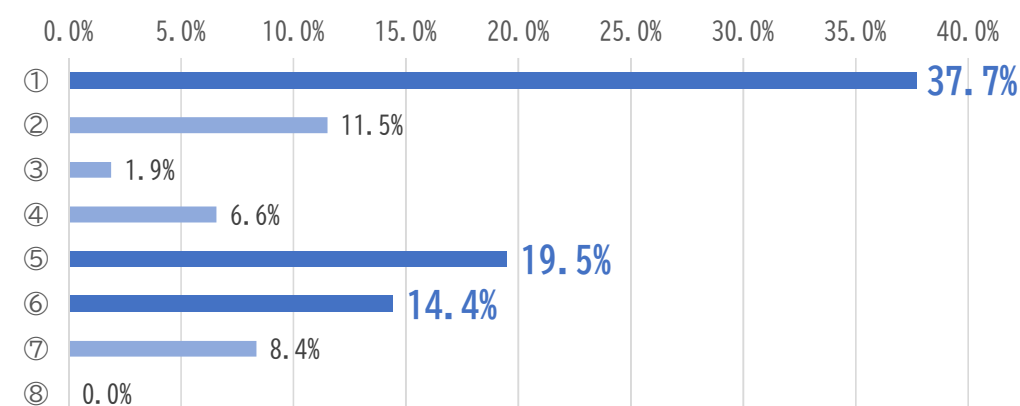
(10) (9)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	33	30.0%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	7	6.4%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	18	16.4%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	14	12.7%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	20	18.2%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	6	5.5%
⑦ その他(50字以内)	12	10.9%
⑧ 特にない・分からない	0	0.0%
選択数計	110	100.0%



(11) (9)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

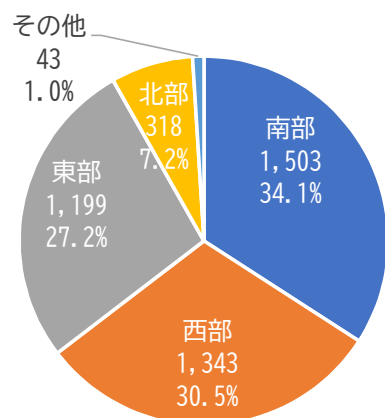
項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	298	37.7%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	91	11.5%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	15	1.9%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	52	6.6%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	154	19.5%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	114	14.4%
⑦ その他(50字以内)	66	8.4%
⑧ 特にない・分からない	0	0.0%
選択数計	790	100.0%



高校生保護者

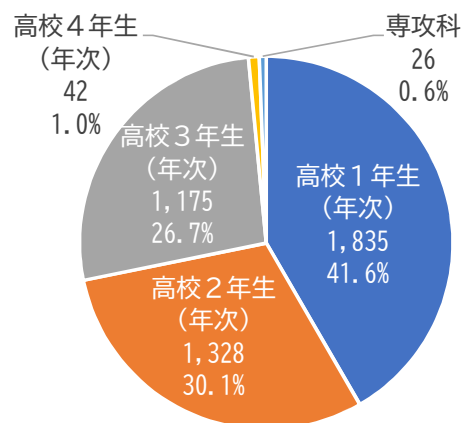
回答人数：4,406人

(1) 居住地

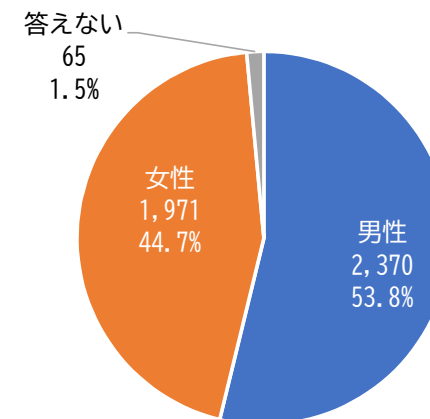


南部	川口市・蕨市・戸田市・さいたま市・鴻巣市・上尾市・桶川市 北本市・伊奈町
西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市 三芳町・川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町 越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町 ときがわ町・東秩父村・所沢市・飯能市・狭山市・入間市 日高市
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町 行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市 宮代町・杉戸町
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町

(2) お子様の学年

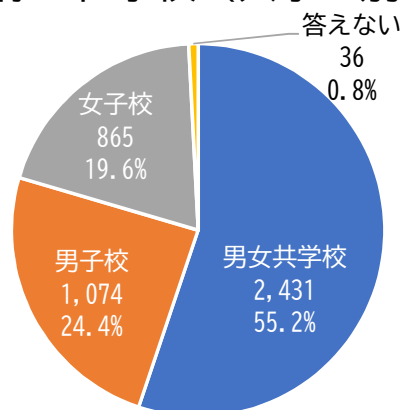


(3) お子様の性別

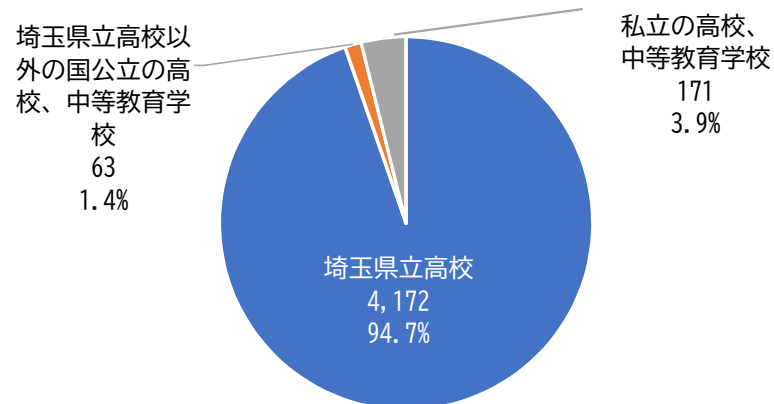


高校生保護者

(4) お子様の在学学校（共学・別学など）



(5) お子様の在学学校（県立・私立など）



(6) 現在の在学学校を選んだ理由を選んでください。 (三つまで選択可能)

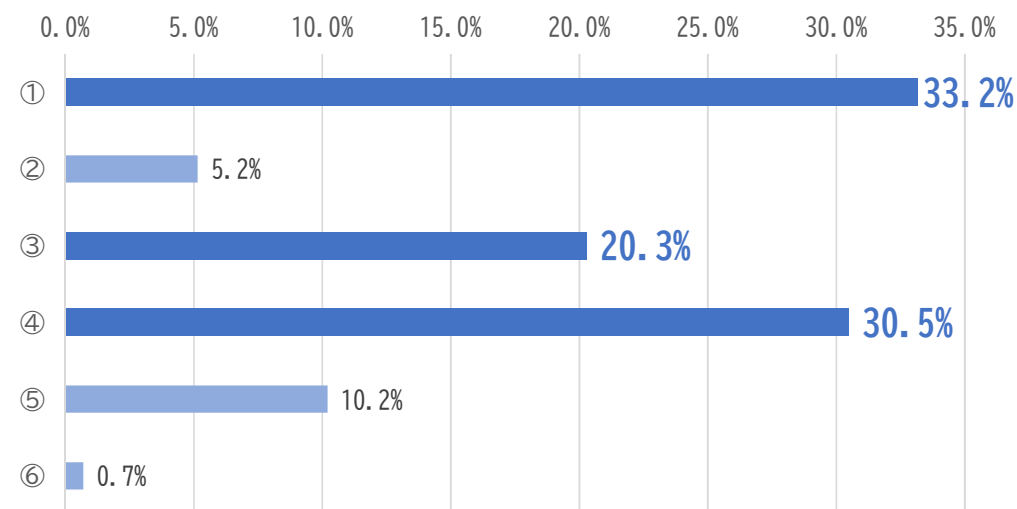
項目	選択数	選択割合
① 子供の能力・適性に合っているから	2,946	27.1%
② 進学や就職等の実績があるから	1,088	10.0%
③ 学校の伝統や校風に魅力があるから	1,732	15.9%
④ 通学が便利だから	1,240	11.4%
⑤ 男女共学校であるから	229	2.1%
⑥ 男女別学校であるから	700	6.4%
⑦ 子供が志望していたから	2,801	25.8%
⑧ その他（50字以内）	106	1.0%
⑨ 特にない・分からない	18	0.2%
選択数計	10,860	100.0%

	(4)への回答別の理由			
	男女共学校 5,536件	男子校 2,969件	女子校 2,275件	答えない 80件
①	30.9%	21.3%	25.7%	27.5%
②	11.4%	9.5%	7.3%	8.8%
③	7.4%	28.1%	20.9%	15.0%
④	16.9%	4.4%	7.2%	8.8%
⑤	4.1%	0.0%	0.0%	1.3%
⑥	0.2%	13.5%	12.4%	8.8%
⑦	27.5%	22.6%	25.7%	27.5%
⑧	1.4%	0.5%	0.7%	0.0%
⑨	0.2%	0.0%	0.1%	2.5%

高校生保護者

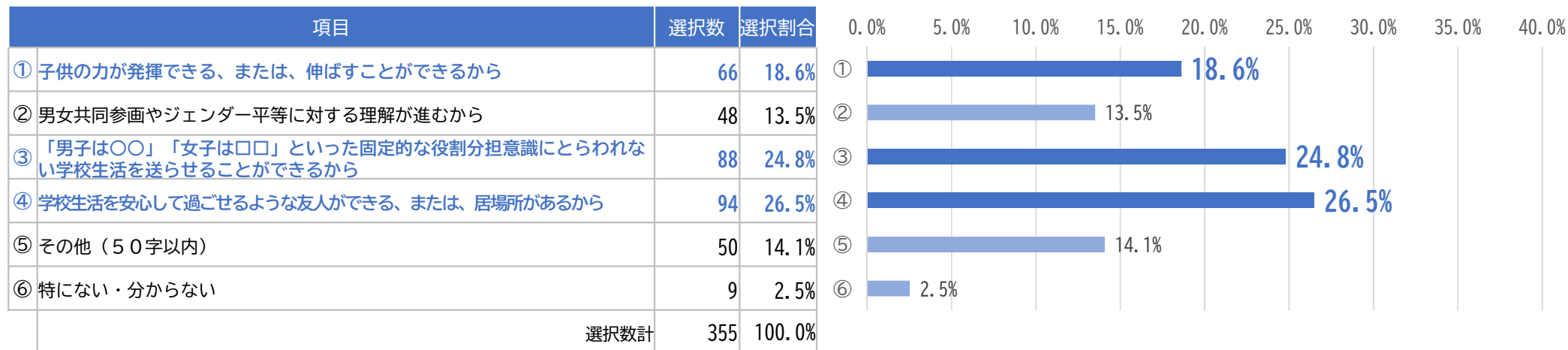
(7) (6) で男女共学校または男女別学校を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 子供の力が発揮できる、または、伸ばすことができるから	611	33.2%
② 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	95	5.2%
③ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識にとられない学校生活を送らせることができるから	374	20.3%
④ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	562	30.5%
⑤ その他(50字以内)	188	10.2%
⑥ 特にない・分からない	13	0.7%
選択数計	1,843	100.0%

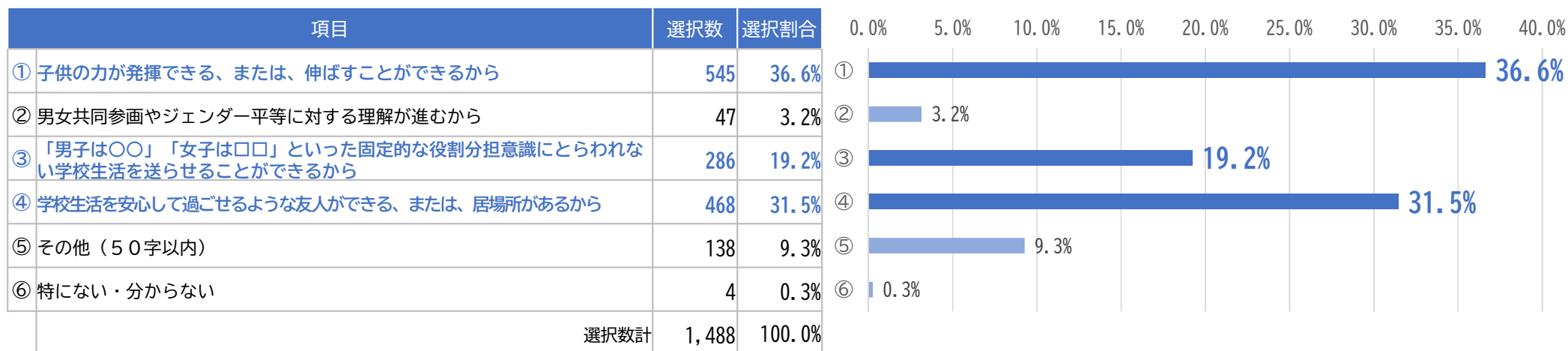


高校生保護者

(7) (6)で「男女共学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

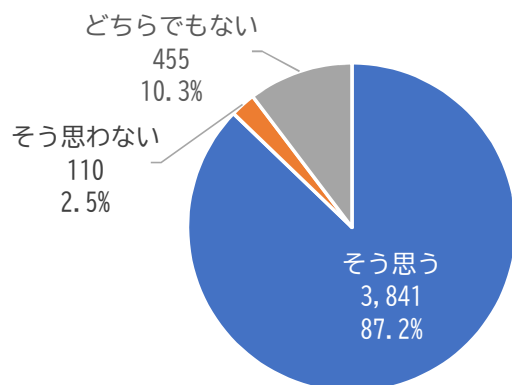


(7) (6)で「男女別学校であるから」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

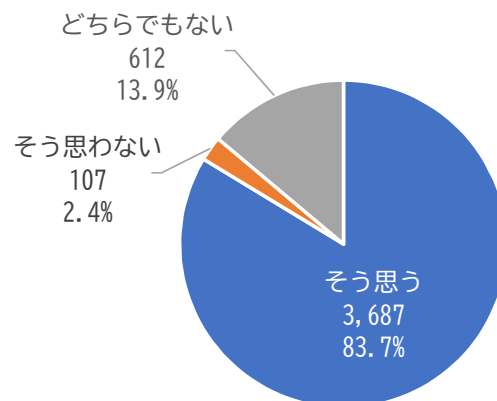


高校生保護者

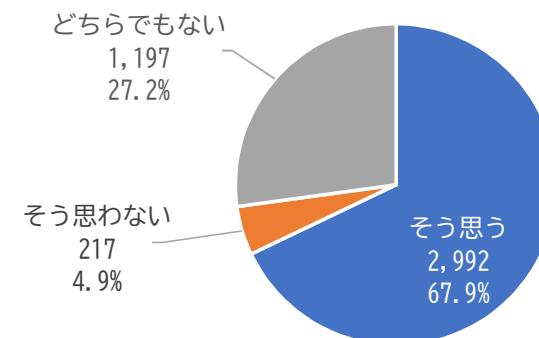
(8) 現在のお子様の様子を伺います。以下の各項目について「そう思う」「そう思わない」「どちらでもない」から1つ選んでください。



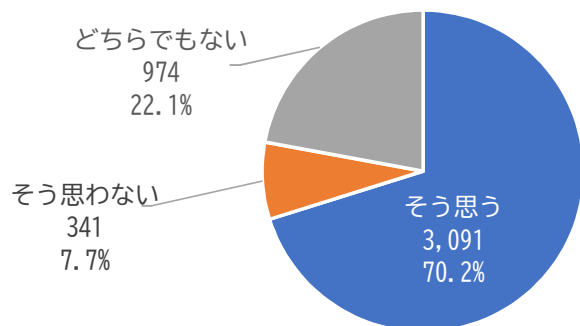
学校生活に満足している



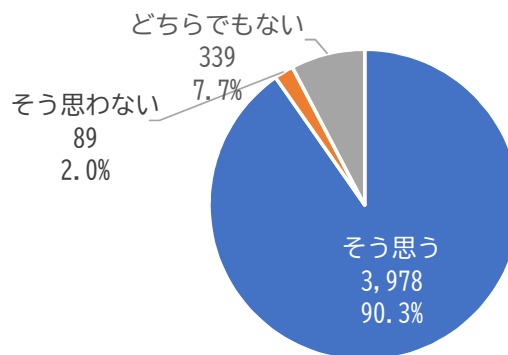
自分の力を発揮できる、
または、伸ばすことができる



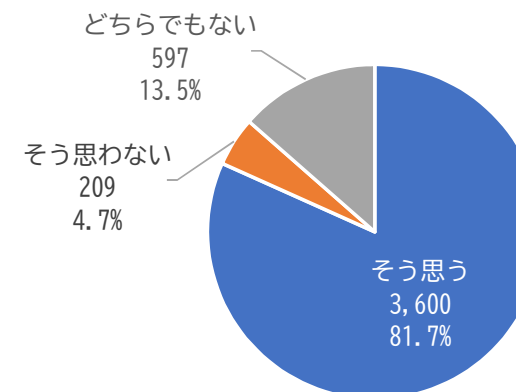
男女共同参画やジェンダー平等に対する
理解が進んでいる



「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的
な役割分担意識にとらわれないで生活している



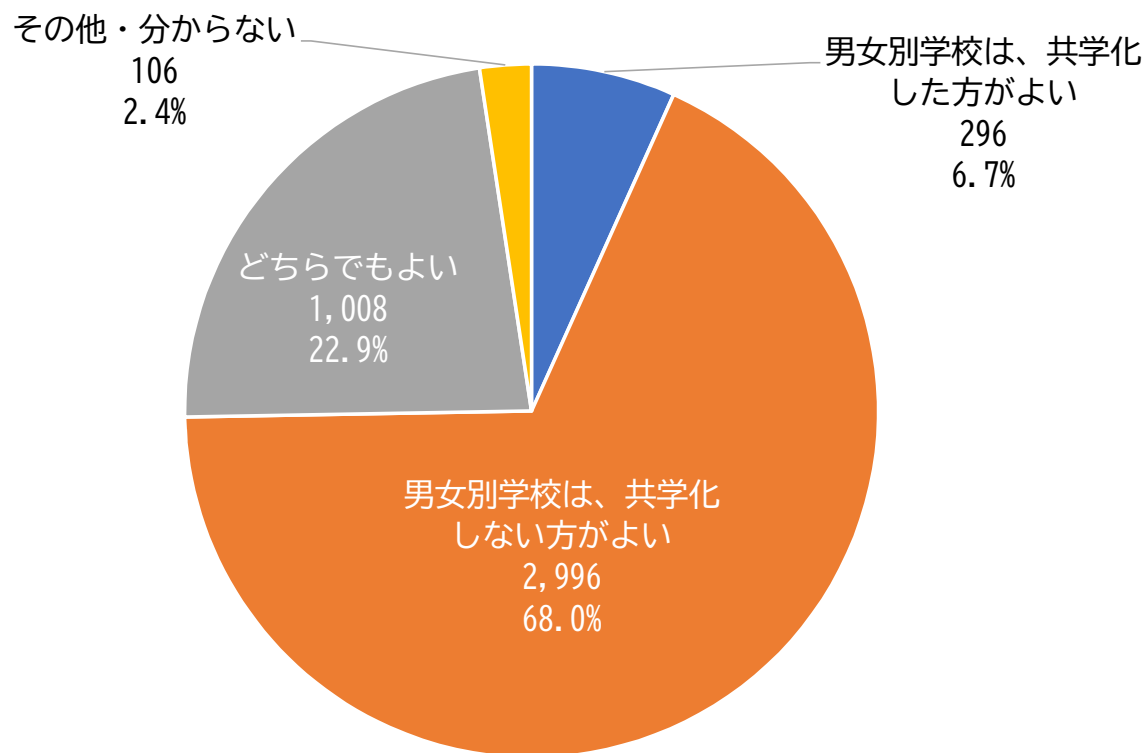
学校生活を安心して過ごせるような友人が
できる、または、居場所がある



性別によらず、良い人間関係を構築できる

高校生保護者

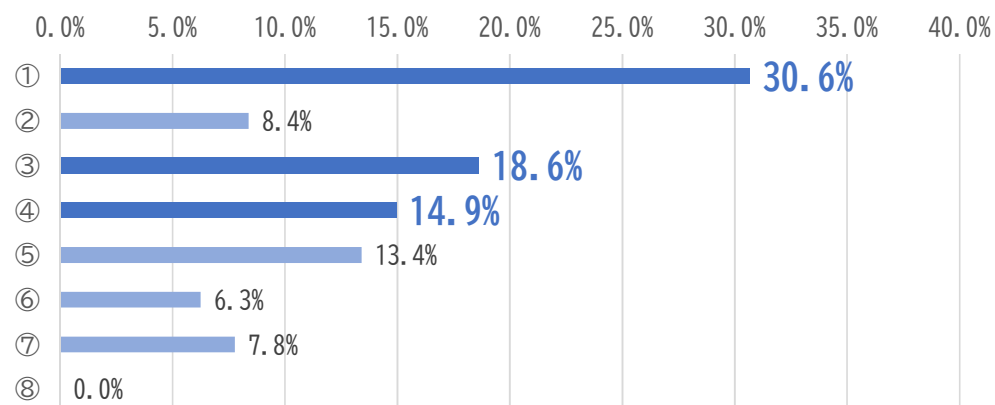
(9) 県立の男女別学校12校の在り方について選んでください。



高校生保護者

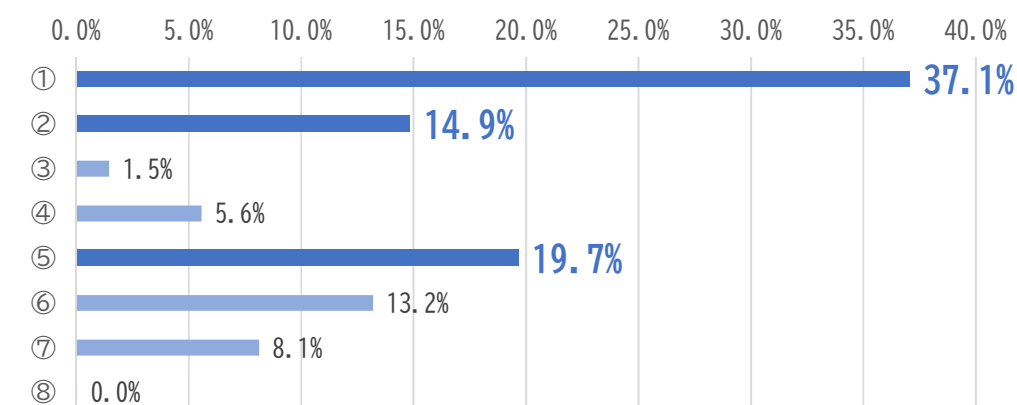
(10) (9)で「男女別学校は、共学化した方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 性別によって入学できない高校があるのは、公平ではないから	201	30.6%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	55	8.4%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	122	18.6%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	98	14.9%
⑤ 共学化しても、伝統の尊重や校風の維持ができるから	88	13.4%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	41	6.3%
⑦ その他(50字以内)	51	7.8%
⑧ 特にない・分からない	0	0.0%
選択数計	656	100.0%



(11) (9)で「男女別学校は、共学化しない方がよい」を選んだ理由を選んでください。(三つまで選択可能)

項目	選択数	選択割合
① 男女共学校・男女別学校の両方を選択できる方がよいから	2,703	37.1%
② 自分の力を発揮できる、または、伸ばすことができるから	1,083	14.9%
③ 男女共同参画やジェンダー平等に対する理解が進むから	107	1.5%
④ 「男子は〇〇」「女子は□□」といった固定的な役割分担意識を持ちづらいから	406	5.6%
⑤ 共学化すると、伝統の尊重や校風の維持ができなくなるから	1,434	19.7%
⑥ 学校生活を安心して過ごせるような友人ができる、または、居場所があるから	963	13.2%
⑦ その他(50字以内)	593	8.1%
⑧ 特にない・分からない	3	0.0%
選択数計	7,292	100.0%



別添 2-1 県民からの意見聴取

(措置報告書 10 ページ「2(2)イ 県民からの意見聴取 表中 1 から 15 まで、17 から 19 まで」関係)

男女共学化推進に関する意見の要旨	男女別学校維持に関する意見の要旨
教育の機会均等・ニーズなど	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県民の税金で賄われている公立学校が、性別によって入学できないことは、教育の機会均等に反する。 ○ 一部の男女別学校では、入試倍率が低下しており厳しい状況であるため、男女共学化すべきである。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女別学校、男女共学校を希望する生徒がいることから、それぞれを選択できる状況とするべきである。 ○ 男女共学化されると、男女別学校へ行きたい生徒は私立高校へ進学することとなり、保護者負担が大きくなる。 など
歴史・伝統など	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共学化で、誰とでも学校文化を創り出す力を付けていくことが大切である。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共学化によって校風や学校行事等の特色が失われる。 など
男女共同参画の視点に立った教育など	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共学化を進めることは、感受性豊かな成長期に「一方の性」だけで隔離された環境ではなく、より多様な環境の中で、あらゆる人たちと分け隔てなく付き合う能力を高めることにつながる。 ○ 男女共学化は差別、偏見解消の第一歩である。 ○ 女子校の家政科学科、保育科は、家事・育児を女性が担うという役割分担意識を強化し、男子校の理数科は、女子が理系に不向きという偏見を強化する。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共学化と男女共同参画社会づくりの観点は別問題であり、男女共学化ではなく男女共同参画社会づくりに向けた教育を推進するべきである。 ○ 男女別学校は、男女の役割についての定型化された概念に捉われずに教育活動を行えるが、男女共学化するとその概念が強化されてしまう可能性がある。 など

男女共学化推進に関する意見の要旨	男女別学校維持に関する意見の要旨
安心など	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 異性が苦手な異性と接することに強い抵抗感を持つ生徒がいることを男女別学校の存在意義とする意見もある。しかし、そうであれば男女別学校を作るのではなく、全ての男女共学校の中に異性が苦手な子供たちに十分配慮した環境を様々な工夫すべきである。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異性の目を気にせずに力を発揮したり伸ばしたりできる。 ○ 男女別学校は、異性を苦手とする生徒にとって学びやすい環境であり、同性の中で学び、自分の考えを持ってから社会に出ればよい。 <p style="text-align: right;">など</p>
法令・法規など	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約、男女共同参画社会基本法、埼玉県男女共同参画推進条例を踏まえ男女共学化を推進すべきである。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女別学校の存在は、女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約や法令等に違反しない。 ○ 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約第10条(c)における「その他の種類の教育」には男女別学校が含まれるという解釈もできることから男女別学校を維持すべきである。 <p style="text-align: right;">など</p>
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女別学校に入学しても人格形成上問題はない。 ○ 高校生、中学生の意見が最も重要である。 ○ 勧告で「公的機関である県立高校が性別に基づき異なった取扱いをなすのは大問題」と言及しているが、私立の男女別学校においても公的助成金の支援を受けているため矛盾する。 ○ 男女別学校では、男女の特性を生かした教育活動を行うことができる。 ○ 男女共同参画の理解推進のために、男女別学校において異性との交流の機会を増やすべきである。 ○ 県立高校は税金で運営されているので、勧告にある他県の状況を踏まえるのではなく、納税者（県民）が意思決定すべき。 ○ 保育科は女子校にしかないが、他校の総合学科等でも保育を学ぶことができる。 <p style="text-align: right;">など</p>	

別添 2-2 県民からの意見聴取（措置報告書 10 ページ「2(2)イ 県民からの意見聴取 表中 16」関係）

男女共学化推進に関する意見の要旨	男女別学校維持に関する意見の要旨
教育の機会均等・ニーズなど	
意見なし。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女別学校、男女共学校を希望する生徒がいることから、それぞれを選択できる状況とするべきである。 ○ 男女別学校に対し強い入学志望動機がある中学生がいることから男女別学校は維持すべきである。 など
歴史・伝統など	
意見なし。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共学化によって校風や学校行事等の特色が失われてしまうので、男女別学を維持すべきである。 など
男女共同参画の視点に立った教育など	
意見なし。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共学化と男女共同参画社会づくりの観点は別問題であり、男女共学化ではなく男女共同参画社会づくりに向けた教育を推進するべきである。 ○ 男女別学校は、男女の役割分担に捉われずに学校生活を送ることができる。むしろ、共学校の方が男女の役割分担について細心の注意を払うべきである。 ○ 男子校・女子校間で交流した授業や行事を設けるなど、できることはあるので、男女共学化をすぐ行う必要はない。 ○ 調理実習や赤ちゃんの人形の入浴体験を行う等、男女共同参画に係る授業を受けており男女共学化は不要である。 など

男女共学化推進に関する意見の要旨	男女別学校維持に関する意見の要旨
安心など	
意見なし。	○ 異性の目を気にせずに力を発揮したり伸ばしたりできる。 など
法令・法規など	
意見なし。	○ 男女別学校の存在は、女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約や法令等に違反しない。 など
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の改修等に多くの予算をかけてまで男女共学化をする必要はない。 ○ 勧告には、「目指す学校像」について、男子校は「リーダー育成」等を、女子校は「地域に貢献」等を掲げている高校が多いとの指摘があるが、県内には「リーダー育成」を掲げる女子校もあり、非難すべきような差異はない。 ○ 高校生やこれから入学してくる中学生たちの意見をしっかり聴いてほしい。 ○ 公教育の目的は、少数派のためだけでなく、まずは多数派の意見を聴くことであると思う。 ○ 勧告にあった管理職の男女比率については、教育委員会の人事の問題であり、直接的に男女共学化には結び付かないと考える。 ○ ニーズがあれば、女子校にも理数科はあってもよいし、男子校にも家庭に関する学科があってもよいと思う。 ○ 私立高校にも税金が投入されているのであれば、私立高校も男女共学化という流れになるのではないか。 ○ 男女差別は既に社会問題であり、数少ない男女別学校を男女共学化したところで男女差別の解消にはならない。 など 	

別添 2-3 県民からの意見聴取

(措置報告書 10 ページ「2(2)イ 県民からの意見聴取 表中 20 から 23 まで」関係)

男女共学化推進に関する意見の要旨	男女別学校維持に関する意見の要旨
教育の機会均等・ニーズなど	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 今の時代の流れから考えると男女別学校は、男女共学化するべきである。 ○ 男女という性別によって入学できない県立高校があることは疑問である。 ○ 地域によっては、男女別学校と同じような男女共学校がないため選択肢がなくなっている。 ○ 男女が協力してこの社会を作る理念は重要である。その教育環境を提供するために男女共学化を進めるべき。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女別学校、男女共学校を希望する生徒がいることから、それぞれを選択できる状況とするべきである。 ○ 男女別学校は特色ある学校という観点から意義がある。 ○ 埼玉県は他県と比べ高校数も多いことから、男女別学校が 12 校あるのは問題ない。また、地理的に男子校しかないのであれば問題だが、そういった状況ではない。 ○ 男女別学校の志願倍率は高く男女共学化の必要はない。 ○ 男女共学化されると、男女別学校へ行きたい生徒は私立高校へ進学することとなり、保護者負担が大きくなる。 など
歴史・伝統など	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女別学校の伝統や教育水準を損なわずに男女共学化を行うことは可能だと思う。男女共学化には大きな決断が必要だが、他県も参考に時間をかけ対応してほしい。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共学化によって校風や学校行事等の特色が失われてしまうので、男女別学を維持するべきである。 など
男女共同参画の視点に立った教育など	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共学校で異性と共に過ごすことが、異性の理解や尊重へとつながる。 ○ 今はまだ男性優位社会であり、男性はそれが見えていない。高校 3 年間は大切に男性と女性が意見を対比させることが重要である。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女子校では女子も力仕事をし、男子校では男子もマネージャーをしており、定型化された概念の撤廃は男女共学化することだけではない。 など

男女共学化推進に関する意見の要旨	男女別学校維持に関する意見の要旨
安心など	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 同性ばかりの環境より異性がいた方が楽である。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異性の目を気にせずに力を発揮したり伸ばしたりできる。 ○ 男女別学校は、異性を苦手とする生徒にとって学びやすい環境である。 など
法令・法規など	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育基本法が改正され「男女の平等」などが追記され、その実現のために取組を進めるべきだと思う。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国立高校、私立高校に男女別学校があるのだから、県立高校を男女共学化することは飛躍している。 など
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女別学校に入学しても人格形成上問題はない。 ○ 高校生、中学生の意見が最も重要である。 ○ 女子校に保育科、男子校に理数科が設置されている状況は是正すべきである。 ○ 異性が苦手な生徒が、男女共学校で円滑に学校生活を送れるかどうかは、そのときの学校やクラスの状況による。 ○ 男女別学校では、男女の特性を生かした教育活動を行うことができる。 ○ 男女共学校の生徒にも何も指導しなければ、定型化された概念を身に付けた状態で社会に出ていくこととなるかもしれない。 ○ 家庭において母親が家事をして、父親が働くという固定観念が崩されない限り、ジェンダー平等はあり得ないと思う。男子が理系、女子が文系というのもそうだ。これから先のことを考えるのであれば親の世代の考えを変えていく必要がある。など 	

別添3 男女共同参画の視点からの本県の県立高校への調査

(措置報告書10ページ「2(2)ウ 男女共同参画の視点からの本県の県立高校への調査」関係)

1 目的

埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告への対応を検討する際の参考とするため

2 対象

(1) 男子校 5校 春日部、川越、松山、浦和、熊谷

(2) 女子校 7校 春日部女子、久喜、川越女子、松山女子、浦和第一女子、熊谷女子、鴻巣女子

(3) 男女共学校 11校 春日部東、久喜北陽、越谷北、川越南、坂戸、所沢北、浦和西、大宮、蕨、熊谷西、鴻巣
※ 男女別学校12校の近隣に所在している、在校生の居住地が重なる、進路状況が重なるという観点で選出

○ 目指す学校像（令和6年度）

男子校

春日部	校訓「質実剛健」、教育方針「文武両道」を実践し、広く社会で活躍できるリーダーを育てる進学校
川越	新たな時代に向けて、伝統ある進学校としての期待に応えつつ、自主自立の校風を継承・発展させ、リーダーとなる良識ある人材を育成する。
松山	建学以来の伝統である「文武不岐」を実践し、良き伝統と校風を継承・発展させ、生徒一人一人のもつ資質や能力の十分な伸長を図り、質の高い授業や探究活動、大学・研究機関等と連携した学習活動等をとおして、幅広い教養と礼節を備え、グローバル社会の中でリーダーとして貢献できる品格ある人材を育成する。
浦和	尚文昌武の理念のもと、時代の求めるリーダーの育成を目指す。
熊谷	日本と世界に貢献できる人材を育成する学校

女子校

春日部女子	高い志を持ち、夢をあきらめない生徒の育成を目指す、伝統ある女子の進学校
久喜	地域に貢献する伝統校として、豊かな人間性と教養、たくましさを備え、社会で活躍できる生徒を育てる。
川越女子	「学力の向上」と「人格の陶冶」を柱に組織的教育活動を展開して進学実績の向上を図るとともに、生徒が主体的に学ぶ「質の高い授業」の創造に全力で取り組む学校
松山女子	社会で活躍する「凛として輝く」女性を育て、地域の期待に応える進学校
浦和第一女子	世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力あるリーダーを育成する女子高校
熊谷女子	自主自律の精神と豊かな人格を育み、新しい時代をリードする心身ともに健康な生徒を育成し、生徒の第一志望の進路実現を果たす進学校。
鴻巣女子	<p>(1) 自立した女性の育成：社会人としての適切なマナーを身につけ、多様な科目を学び、自己実現を図る行動的な女性を育てる。</p> <p>(2) スペシャリストの育成：専門的な知識・技術を身につけ、高度な資格取得を目指し、家庭に関する専門分野で活躍できるスペシャリストを育てる。</p>

男女共学校

春日部東	文武両道を具現化した地域に誇れる進学校として、生きる力を備えた未来の創り手たる人材を育てる
久喜北陽	進学型総合学科の特長を生かし、「誠実」で何事にも主体的に「真剣勝負」でチャレンジする、これからの時代を生き抜く力をもった人材を育成する学校
越谷北	高い理想と豊かな人間性を兼ね備えたグローバルリーダーを育成する。
川越南	文武両道を実現し、新しい時代に活躍する自立した社会人を育成する学校
坂戸	文武に秀で、地域に愛され、国際感覚を持つ社会のリーダーを育てる学校
所沢北	たくましい知性としなやかな感性を備え、高い倫理観とグローバルな視野を持って、地域や社会の持続的発展に貢献しようという高い志を有するリーダーを育成する。
浦和西	自主自立の精神を生かして、国際社会に貢献できる人材を育成し、地域に信頼される進学校。
大宮	勉強と部活動等の両立の実践と自主自律の精神の涵養により、高い志と強い使命感を持った未来を創るトップリーダーを育てる学校
蕨	生徒の進路希望を実現する文武両道の進学校 ～グローバルな視点を持ち次世代のリーダーとして活躍できる人を育てる～
熊谷西	生徒の力を最大限に伸ばす県北が誇る進学校
鴻巣	確かな学力と人間力を育成し、地域の期待に応える学校

○ 学校行事

<主な体育的・文化的行事>

男女別学校について（各学校の特徴的な行事を掲載）

男子校	春日部	一万メートル走大会	渡良瀬遊水地 10 km
		大運動会	大運動会で腕相撲など
		SSH特別講義	大学他 13 講座
		SSHフィールドワーク	7 コース
		生徒課題研究発表会	1、2 年生全体
		サイエンス教室	小・中学生のためのサイエンス教室 I N 春日部高校
	川越	強歩大会	26.8 km
		科学に関する発表や講演	「川高サイエンス探究」、「生徒研究発表会」 （演題「グラフを使って思考力を高める ～AI と共生する社会の展望」（大学院情報理工学系研究科教授）
	松山	比企一周駅伝	60 km、15 区間
	浦和	スポーツ大会	クラス対抗、年間で実施、サッカー、ラグビー、バスケット、バレー、水泳、綱引き、駅伝等
		臨海学校	泳力により 1～2 km 泳ぐ
		強歩大会	学校から古河まで約 50 km
		文化大会	クラス対抗、年間で実施、将棋、クイズ、百人一首、弁論、漢字
	熊谷	40 キロハイク	
		臨海学校	泳力に応じて 8 段階にレベル分けし、湾内をどれだけ泳ぐか調整
百人一首大会			

女子校	春日部女子	持久走大会	13km
		サンフラワーカップ	英語のディベート大会
	久喜	体育祭	旗体操など
		発表会	創作ダンスの発表会
	川越女子	体育祭	台風の日、追いかけ玉入れ、メタモルフォーゼ、応援合戦など
	松山女子	マラソン大会	10km
	浦和第一女子	体育祭	応援合戦、仮装行列等
		総合的な探究の時間	グローバルリーダー育成のため、各種講演や国際交流、関連したプレゼン力向上などの学習機会を実施 SSH全校講演会（大学院工学系研究学科長）、さくらサイエンス事業（大学卓越教授等）
		全校討論会	年2回
	熊谷女子	体育祭	ダンスパフォーマンスなど
鴻巣女子	球技大会	1回目：ドッジボール 2回目：サッカー、バレーボール	
	文化祭	家政科学科「ファッションショー」、保育科「こどものくに」	

男女共学校について（男女で行事における種目の内容が異なる学校を掲載）

男女共学校	春日部東	体育祭	男子	男子のみ100mハードル走、400m走、スウェーデンリレーが行われる（男子の在籍比率が高いため、出場機会を確保するため。）。
	久喜北陽	体育祭	男子	騎馬戦
			女子	棒取り
		球技大会	男子	ソフトボール
			女子	ドッジボール
	越谷北	強歩大会	男子	15km
			女子	11km
		ダンス発表会	女子	体育の授業の一環
	川越南	体育祭	男子	綱取り
			女子	タイヤ取り
	坂戸	ロードレース大会	男子	11km
			女子	8km
体育祭		男子	100m、200m、1,500m、800mリレー、騎馬戦	
		女子	100m、150m、1,000m、400mリレー、綱取り	
スポーツ大会	男子	バスケットボール、ソフトボール		
	女子	バスケットボール、ハンドボール		
所沢北	球技大会	男子	剣道、ラグビー	
		女子	バレーボール	

男女共学校	浦和西	球技大会	男子	サッカー
			女子	卓球
	蕨	運動会	男子	リレー200m×4人
			女子	リレー100m×4人
		強歩大会	男子	18km
			女子	14km
	球技大会	男子	サッカー、バスケットボール	
女子		ドッジボール、バレーボール		
鴻巣	校内マラソン大会	男子	約12km	
		女子	約11km	

（男女で行事における種目が同様となっている学校を掲載）

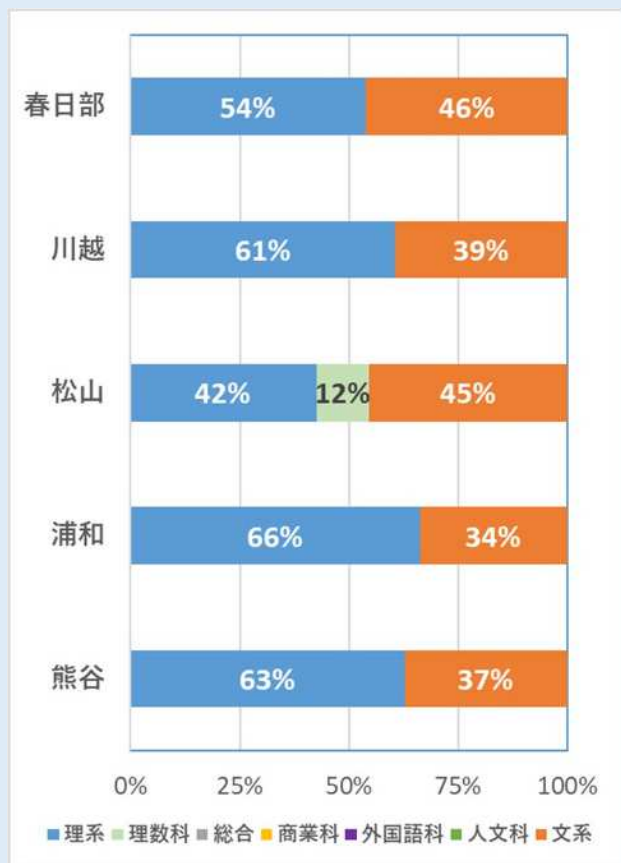
男女共学校	熊谷西	球技大会	男女共通	サッカー、ドッチビー、バレーボール、バドミントン、卓球
		持久走大会	男女共通	①シリアスラン8km ②ファンラン5kmの2部門 ※本人の希望により参加部門を決定
	体育祭	男女共通	長縄跳び、綱引き、リレーなど	
	大宮	体育祭	男女共通	全競技男女共通 ※100m走は男女別に実施
		スポーツ大会 (年2回)	男女共通	全競技男女共通 ※実施は男女別

< 主な進路講演会行事 >

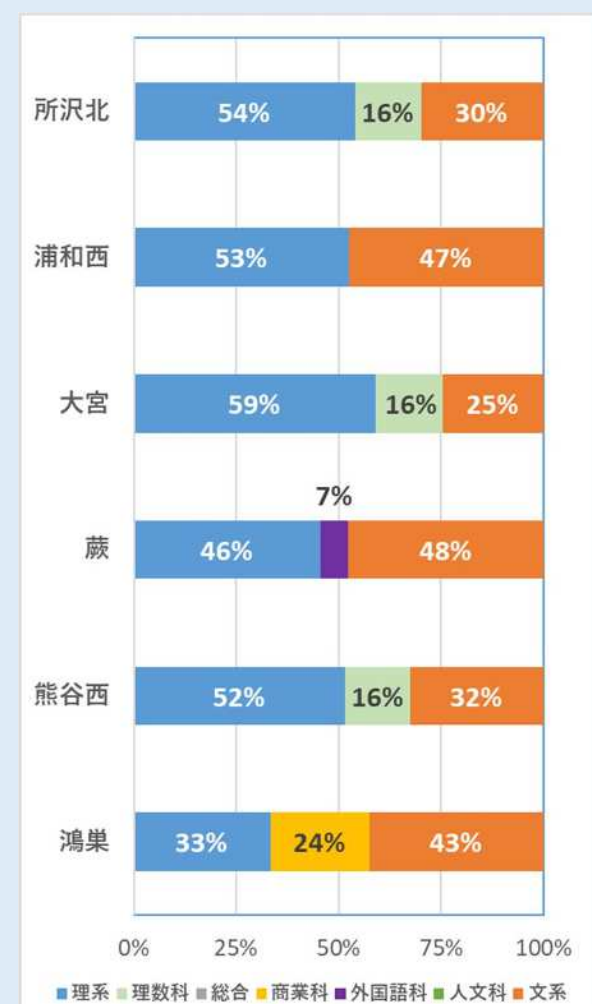
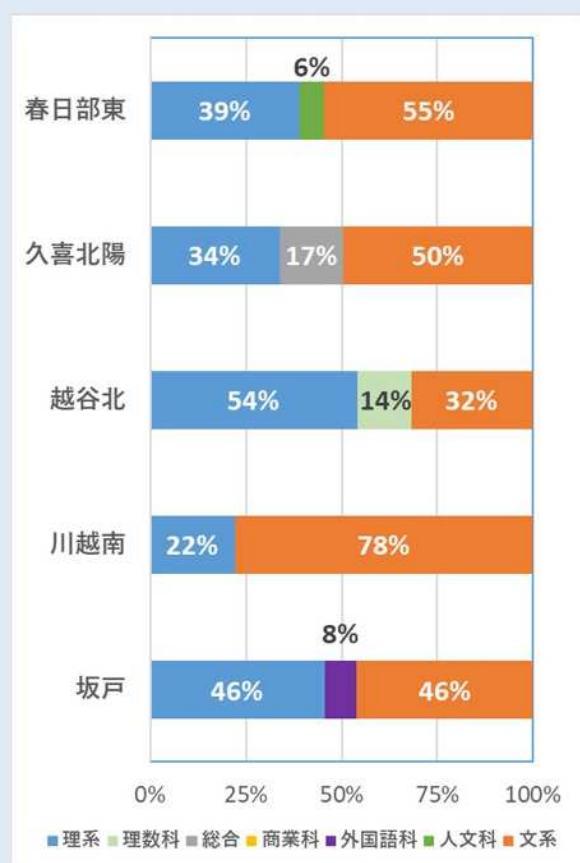
男子校	春日部	「大学での先端研究と理系英語」 (大学名誉教授)
	川越	「医学、医療の道を選ぶということ」 (大学学長)
	松山	「夢を追い続けるための原動力～私を助けてくれた素因数分解の力～」 (大学教授)
	浦和	「麗和セミナー」 (社会人卒業生によるセミナー)
	熊谷	「本物に学ぶ (大学、基幹病院と連携した教養講座、英語による講演会を含む。)」 (民間企業講師) 「つくばサイエンスツアー」
女子校	春日部女子	地方国立大学の魅力 (大学准教授)
	川越女子	「海の生物を研究する道を歩む～共生系の世界～」 (大学助教)
	浦和第一女子	①麗風セミナー (社会人卒業生) ②分野別/大学別OGとの懇談会 (卒業生 (大学生約60名) + 3月卒業生を招いての懇談会) ③東京大学見学会
	熊谷女子	「人の学習とAIの学習」 大学教授、卒業生の進路講演会 (新聞記者・大学教授)
	鴻巣女子	プロフェッショナルに学ぶ <保育科> リトミック (音楽に合わせた手遊びの指導) (研究所講師)、折り紙教室 (工房講師) <家政科学科> ウォーキング指導 (民間企業講師)、和服着付指導 (和裁教室講師)、調理指導 (専門学校講師)
男女共学校	越谷北	①進路講演会 (大学教授等) ②SSH講演会「身近な現象に見られる数理と物理」 (大学職員) など ③大学見学会 (東京大学、一橋大学、東北大学、東京工業大学、筑波大学、東京外国語大学等) など
	川越南	「未来の扉を開く魔法」 (上級マーケティング解析士)
	浦和西	「自分らしく最高に楽しい人生を送るために」 (生命保険会社職員)
	大宮	「夢・働く」 (会社社長、大学教授)
	蕨	「看護師という仕事について」 (医療センター看護部長、救急センター看護師) 「アートの仕事」 (アートセンター学芸員)
	熊谷西	地方国立大学の魅力 (大学准教授) 生き方って多様だ～選択肢を知る・つくるヒント～ (本校卒業生)
	鴻巣	金融教育：正しい金融知識と金融トラブルの防止 (銀行職員) ニュースリテラシー：ニュース・リテラシー出前授業「情報の渦の中をどう泳ぐか～新聞から学ぶ見極め方と伝え方」 (新聞社職員)

○ 高校在籍時における理系・文系等選択（令和4年度）

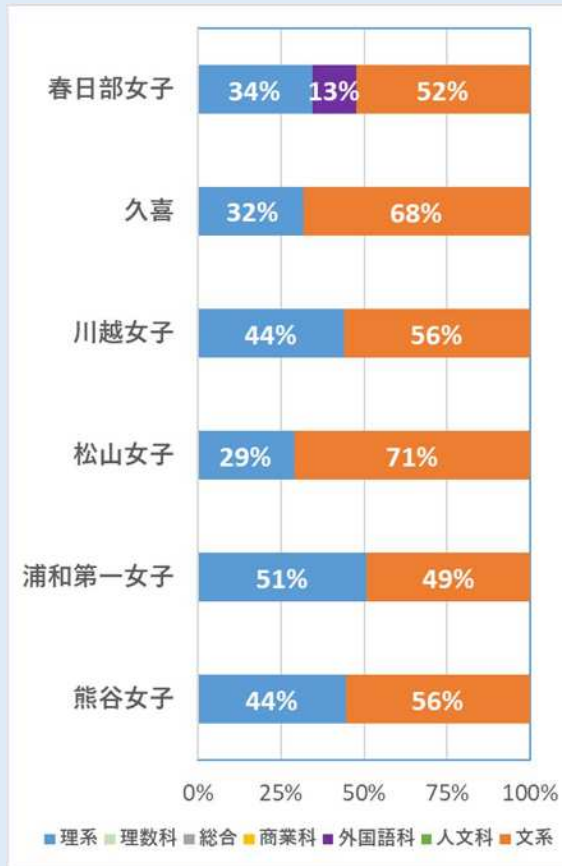
【男子校】



【男女共学校（男子）】

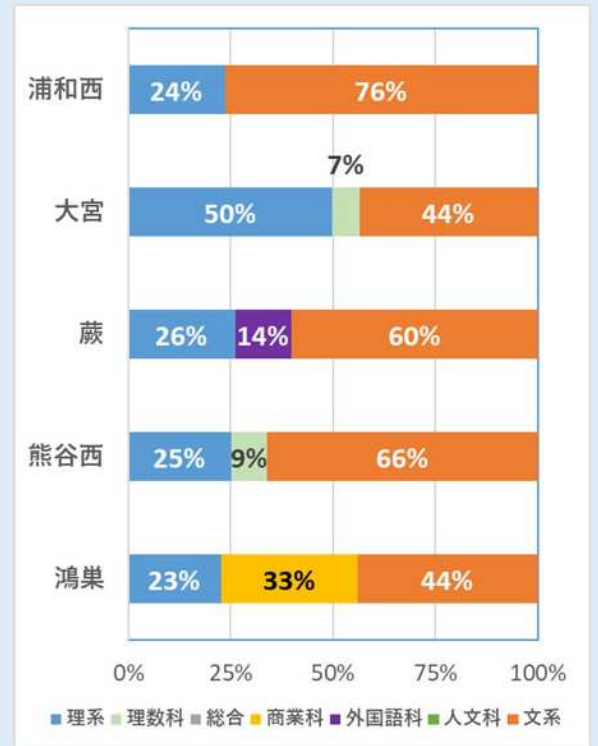
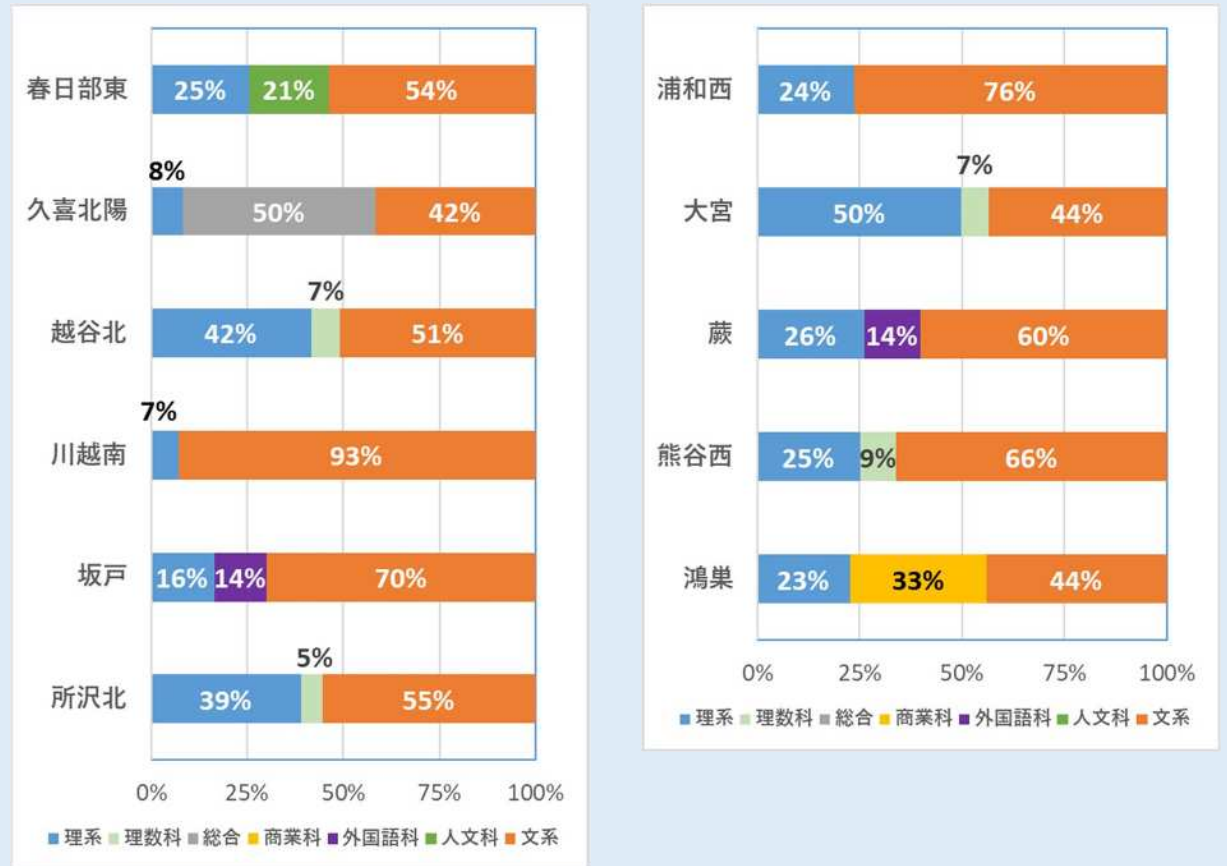


【女子校】



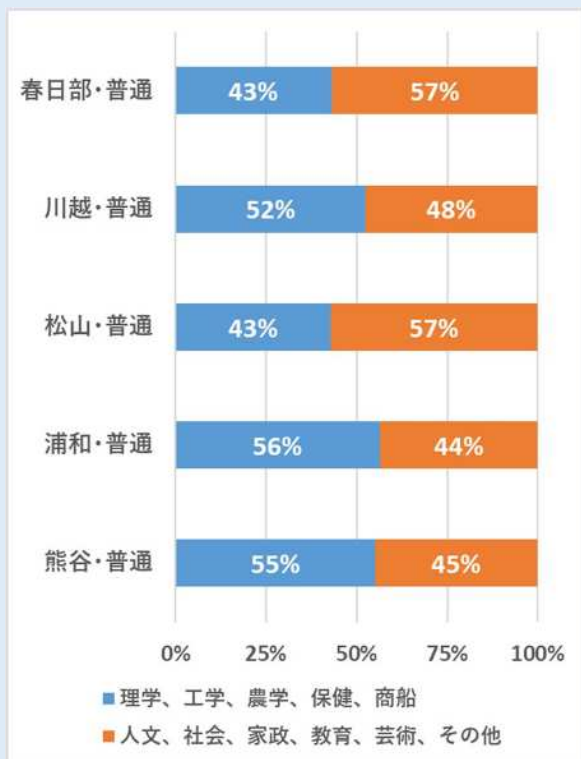
※ 鴻巣女子は文系・理系の区別なし

【男女共学校（女子）】

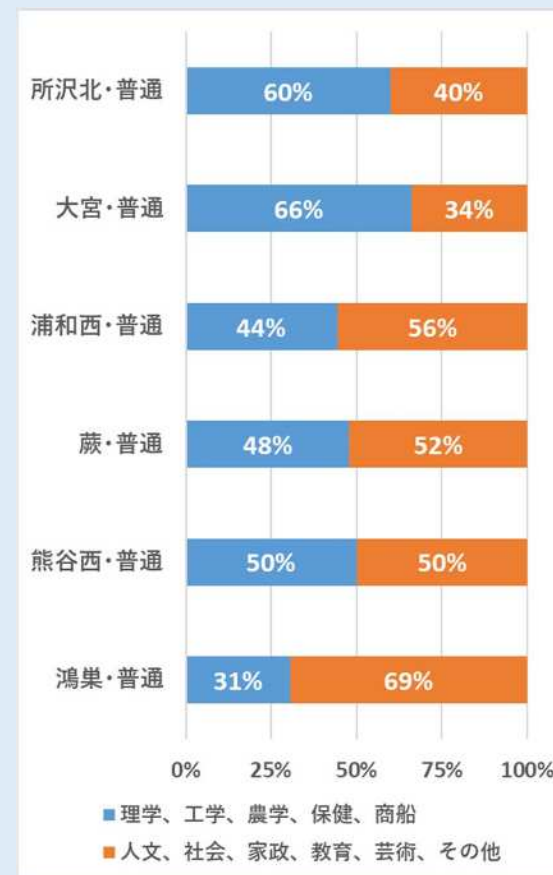
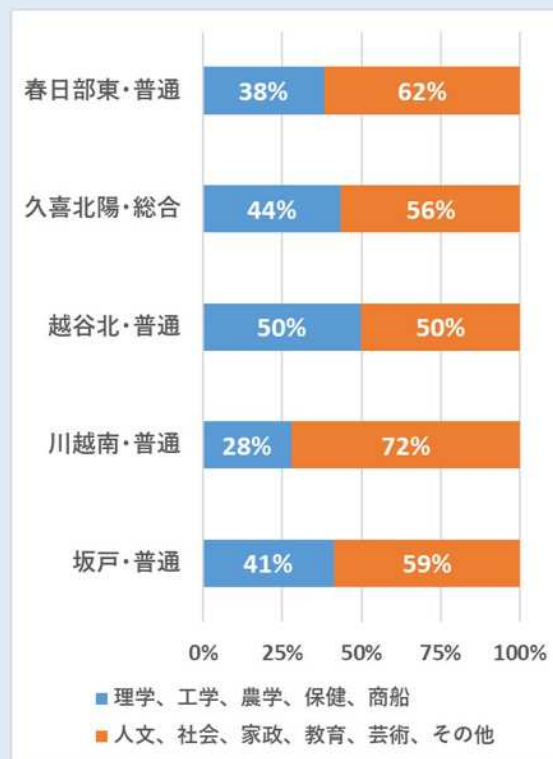


○ 大学学部別進路（令和4年度）

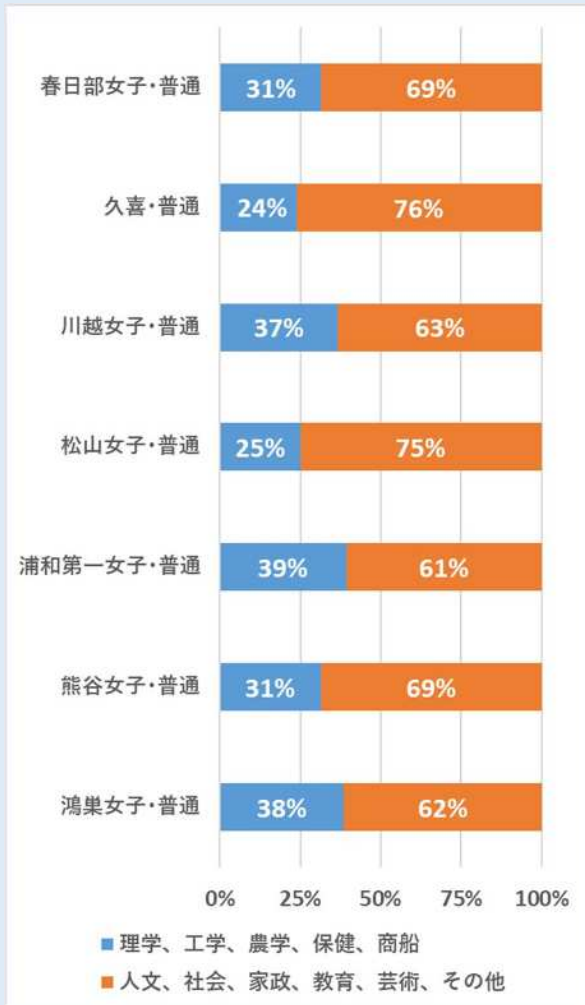
【男子校】



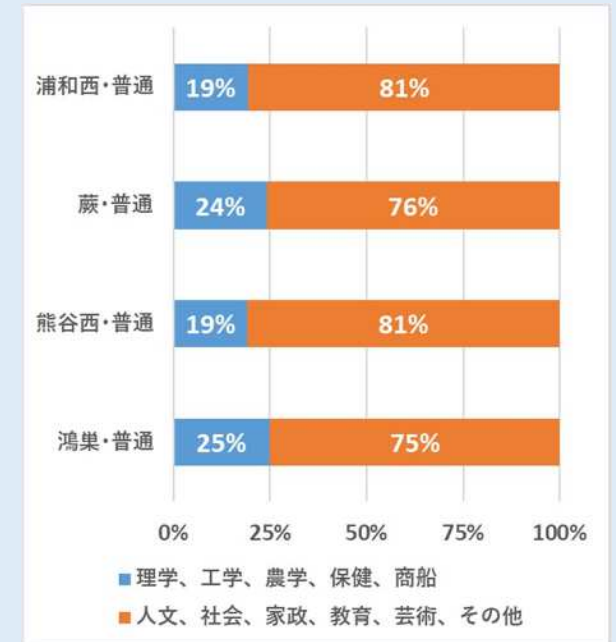
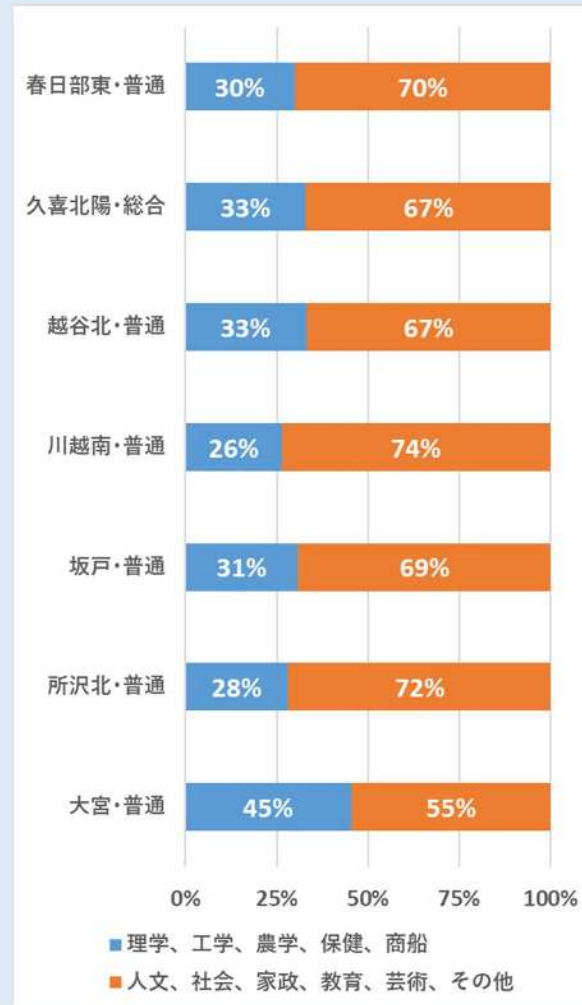
【男女共学校（男子）】



【女子校】



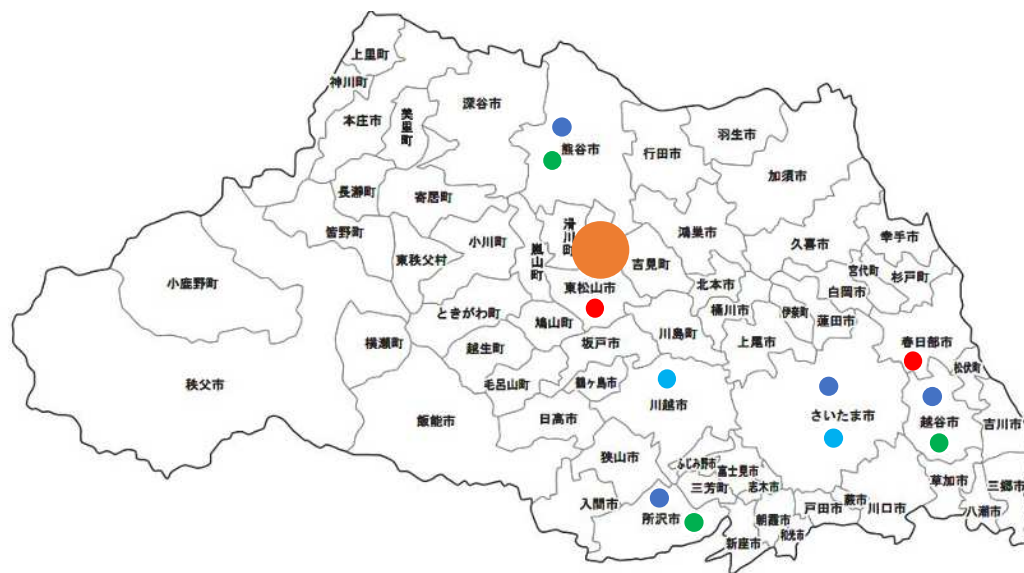
【男女共学校（女子）】



○ 男女共学校における生徒会等の主要役員の男女別数（令和5年度）

学校名 男女別在籍生徒数		生徒会		委員会		部活動（男女混合部）	
		会長	副会長	委員長	副委員長	部長	副部長
春日部東	男子：726人 女子：331人	男子：1人 女子：0人	男子：1人 女子：1人	男子：10人 女子：1人	男子：18人 女子：4人	男子：17人 女子：8人	男子：16人 女子：9人
久喜北陽	男子：541人 女子：381人	男子：2人 女子：0人	男子：1人 女子：3人	男子：8人 女子：2人	男子：4人 女子：9人	男子：15人 女子：20人	男子：13人 女子：20人
越谷北	男子：495人 女子：583人	男子：1人 女子：0人	男子：1人 女子：1人	男子：5人 女子：6人	男子：9人 女子：10人	男子：8人 女子：11人	男子：9人 女子：13人
川越南	男子：396人 女子：665人	男子：0人 女子：2人	男子：3人 女子：1人	男子：5人 女子：6人	男子：13人 女子：9人	男子：6人 女子：6人	男子：6人 女子：11人
坂戸	男子：530人 女子：526人	男子：1人 女子：1人	男子：1人 女子：3人	男子：8人 女子：5人	男子：13人 女子：13人	男子：6人 女子：17人	男子：10人 女子：19人
所沢北	男子：592人 女子：475人	男子：2人 女子：0人	男子：2人 女子：0人	男子：7人 女子：5人	男子：11人 女子：13人	男子：24人 女子：15人	男子：20人 女子：28人
浦和西	男子：506人 女子：567人	男子：0人 女子：2人	男子：3人 女子：1人	男子：7人 女子：6人	男子：4人 女子：11人	男子：5人 女子：6人	男子：6人 女子：3人
大宮	男子：565人 女子：500人	男子：1人 女子：0人	男子：0人 女子：1人	男子：7人 女子：8人	男子：10人 女子：12人	男子：15人 女子：14人	男子：19人 女子：25人
蕨	男子：492人 女子：578人	男子：0人 女子：1人	男子：0人 女子：2人	男子：3人 女子：4人	男子：3人 女子：4人	男子：11人 女子：16人	男子：11人 女子：17人
熊谷西	男子：436人 女子：468人	男子：1人 女子：1人	男子：1人 女子：1人	男子：5人 女子：5人	男子：5人 女子：5人	男子：17人 女子：21人	男子：11人 女子：21人
鴻巣	男子：391人 女子：424人	男子：1人 女子：1人	男子：2人 女子：2人	男子：6人 女子：2人	男子：7人 女子：8人	男子：23人 女子：17人	男子：22人 女子：34人
合計	男子：5,670人(51%) 女子：5,498人(49%)	男子：10人(56%) 女子：8人(44%)	男子：15人(48%) 女子：16人(52%)	男子：71人(59%) 女子：50人(41%)	男子：97人(50%) 女子：98人(50%)	男子：147人(49%) 女子：151人(51%)	男子：143人(42%) 女子：200人(58%)

○ 理数科等の設置状況（令和6年度）



< 理数科 >

● 【男子校】

松山高校 1学年1クラス 生徒数 男子 117人

● 【共学校】

越谷北高校 1学年1クラス 生徒数 男子 64人 女子 55人

所沢北高校 1学年1クラス 生徒数 男子 79人 女子 39人

大宮高校 1学年1クラス 生徒数 男子 77人 女子 43人

熊谷西高校 1学年1クラス 生徒数 男子 76人 女子 41人

※「理数に関する学科」では、学習指導要領に示された「主として専門学科において開設される各教科・科目」の理数科目（理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学特論、理数物理、理数化学、理数生物など）や理数に関する学校設定科目を取り入れて教育課程を編成し、普通科における数学、理科よりも、重点的、専門的に学びが深められるようになっている。

< SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校（文部科学省指定） >

● 【男子校】 春日部高校、松山高校

● 【女子校】 川越女子高校、浦和第一女子高校

● 【共学校】 越谷北高校、所沢北高校、熊谷西高校

○ 外国語科や国際関係に関する学科等の設置状況（令和6年度）



< 外国語科 >

● 【女子校】

春日部女子高校 1 学年 1 クラス 生徒数 女子 1 1 9 人

● 【共学校】

越谷南高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 4 1 人 女子 7 6 人
 坂戸高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 4 7 人 女子 7 5 人
 草加南高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 3 6 人 女子 8 1 人
 南稜高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 1 7 人 女子 1 0 3 人
 和光国際高校 1 学年 2 クラス 生徒数 男子 5 9 人 女子 1 7 7 人
 蕨高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 3 3 人 女子 8 8 人

< 国際教養科 >

● 【共学校】

秩父・皆野新校（令和8年度開校予定）

< 国際文化科 >

● 【共学校】

岩槻高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 2 0 人 女子 9 1 人

< 普通科外国語コース >

● 【共学校】

大宮光陵高校 1 学年 1 クラス 生徒数 男子 4 0 人 女子 7 3 人

※「外国語に関する学科」では、学習指導要領に示された「主として専門学科において開設される各教科・科目」の英語科目（総合英語Ⅰ～Ⅲ、ディベート・ディスカッションⅠ～Ⅲ）や英語及び国際理解に関する学校設定科目、更には英語以外の言語（ドイツ語、フランス語、中国語等）を取り入れて教育課程を編成し、普通科よりも幅広く深い語学に関する学びや、国際理解・国際関係の学びに取り組めるようになっている。

「国際に関する学科」でも、学習指導要領に示された「主として専門学科において開設される各教科・科目」の英語科目や、語学や国際理解、更には、自国の伝統や文化に関する学校設定科目等を取り入れて教育課程を編成し、グローバルな視点から世界のこと、あるいは、世界の中の自国について学びを深めることができるようになっている。

< SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校（文部科学省指定） >

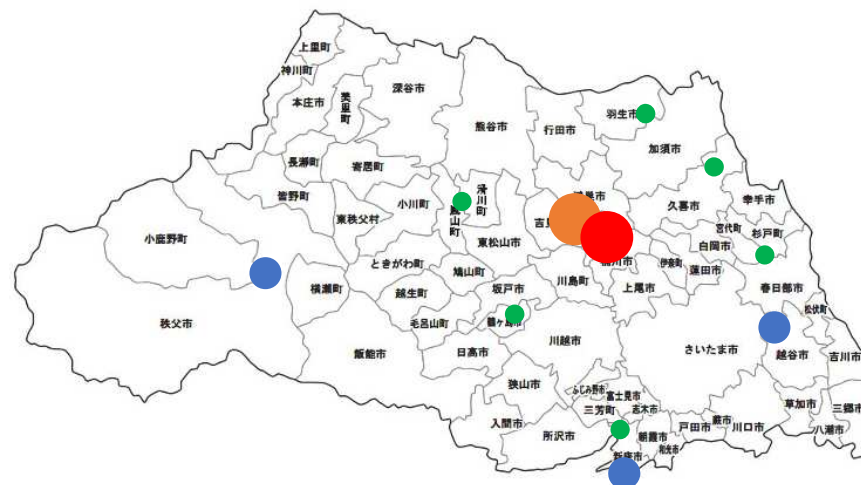
● 【共学校】 不動岡高校

● 【男子校】 浦和高校

● 【女子校】 浦和第一女子高校

※ SGHは令和2年度まで文部科学省が実施していた事業

○ 家庭（家政・保育）に関する学科等の設置状況（令和6年度）



● 保育に関する科目を5単位以上履修可能な学校（共学校）

< 家政に関する学科 >

● 【女子校】									
鴻巣女子高校	家政科学科	1 学年 1 クラス	生徒数	女子	106 人				
● 【共学校】									
越谷総合技術高校	服飾デザイン科	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	1 人	女子	87 人		
	食物調理科	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	44 人	女子	58 人		
新座総合技術高校	服飾デザイン科	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	2 人	女子	113 人		
	食物調理科	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	45 人	女子	75 人		
秩父農工科学高校	ライフデザイン科	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	1 人	女子	105 人		
	フードデザイン科	1 学年 1 クラス	生徒数	男子	36 人	女子	76 人		

※「家庭に関する学科」では、学習指導要領に示された「主として専門学科において開設される各教科・科目」の家庭科目（生活産業基礎、生活産業情報、保育基礎、保育実践、ファッション造形基礎、フードデザインなど）や家庭に関する学校設定科目を取り入れて教育課程を編成し、普通科よりも家庭に関する分野について重点的に学び、関連する職業に従事する上で必要な資質・能力を育むことを目指している。

< 保育科設置校及び保育に関する科目を設定している学校 >

● 【女子校（保育科）】	1 校	鴻巣女子高校（21 単位）	1 学年 1 クラス	生徒数	女子	88 人
● 【共学校】	85 校（内訳）	・ 5 単位以上：6 校 誠和福祉高校（10 単位）、滑川総合高校（6 単位）、杉戸農業高校（6 単位）、栗橋北彩高校（5 単位）、新座柳瀬高校（5 単位）、鶴ヶ島清風高校（5 単位） ・ 5 単位未満：79 校 10 校（4 単位）、8 校（3 単位）、61 校（2 単位）				
【女子校】	4 校（2 単位）					

別添4 要望書等の提出者一覧（措置報告書11ページ「2(2)エ 要望書等の受領」関係）

1 要望書等

	提出者	件名	提出日
①	一般社団法人埼玉県立浦和高等学校同窓会代表理事 会長	意見書	令和5年12月 1日
		意見書（2）	令和6年 7月 8日
②	共学ネット・さいたま世話人代表	県立高校の共学化に賛同し、推進を求める要望書	令和5年10月12日
		意見書	令和6年 3月15日
		件名なし	令和6年 6月28日
③	県立浦和高等学校OB 県立春日部高等学校OB	勧告文への意見書	令和5年10月10日
④	埼玉教職員組合中央執行委員長 埼玉高等学校教職員組合中央執行委員長	「埼玉県男女共同参画苦情処理委員会」の勧告を真摯に受け止め、「すべて県立高校の共学化」を早急にすすめること等を求める要請書	令和5年 9月28日
		県立高校の共学化の実現を求める要求書	令和6年 5月28日
⑤	埼玉県内高等学校連携有志	埼玉県立高校男女別学校の維持についての要望書 （署名（埼玉県立高校男女別学校の維持）34,461人）	令和6年 7月23日

	提出者	件名	提出日
⑥	埼玉県立浦和高等学校第34回 卒業生有志	埼玉県立高等学校の男女共学化の推進を求める意見書	令和6年 1月27日
⑦	埼玉県立浦和第一女子高校後援会会 長	共学化勧告に対する意見・要望	令和6年 1月30日
⑧	埼玉県立春日部高等学校同窓会 会長、PTA会長、後援会会長	意見書	令和6年 2月 2日
⑨	埼玉県立川越高等学校同窓会長	埼玉県男女共同参画苦情処理委員による勧告に対する意 見について	令和6年 2月17日
⑩	埼玉県立川越女子高等学校同窓 会	埼玉県立高校における別学維持について	令和6年 4月15日
⑪	埼玉県立松山女子高等学校代表 PTA会長、同窓会長、後援会 長	共学化勧告に関する意見書	令和6年 3月 2日
⑫	男女共同参画落語創作・口演家	別学の良さも生かして共学化を～本県県立男女別学高校 の共学化に向けた提言～	令和6年 7月23日
⑬	男女別学各校保護者代表	件名なし（別学各校保護者の意見の概要、別学各校保護 者の主な意見・特徴的な意見、意見聴取会に際し別学各 校から教育委員会に提出された保護者の意見等）	令和6年 6月28日
⑭	麗風会（浦和第一女子高等学校 同窓会組織）	第2回ヒアリングレジュメ	令和6年 6月28日

※提出者ごとに五十音順

2 アンケート等

	提出者	件名	提出日
①	春日部女子高校 保護者	春日部女子高校 保護者意見 ※そのほか、記述の意見が記載されている「保護者意見」が提出されている。(令和6年5月30日付け)	令和6年 5月30日
②	川越女子高等学校 保護者代表	川越女子高等学校保護者 共学化問題アンケート結果 ※そのほか、記述の意見が記載されている「川越女子高等学校PTA共学化問題アンケート結果」が提出されている。(令和6年2月18日付け)	令和6年 6月28日
③	鴻巣女子高校 P T A	男女別学に関するアンケート結果 ※そのほか、記述の意見が記載されている「男女別学に関するアンケート結果」が提出されている。(令和6年2月6日付け)	令和6年 6月24日
④	埼玉県立浦和高等学校 生徒会本部	共学化に対する校内アンケートの結果	令和6年 3月21日
⑤	埼玉県立浦和高等学校 保護者代表	埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告についての保護者意見調査報告 ※そのほか、記述の意見が記載されている「埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告についての保護者意見調査報告」が提出されている。(令和6年1月27日付け)	令和6年 7月 1日

	提出者	件名	提出日
⑥	埼玉県立浦和第一女子高等学校 保護者一同	埼玉県男女共同参画苦情処理委員からの勧告に関する保護者アンケート結果概要（データ）報告 ※そのほか、記述の意見が記載されている下記のアンケートが提出されている。 共学化問題に関する保護者アンケート（詳細版）（1月20日現在）（令和6年1月30日付け） 共学化問題に関する保護者の意見のご説明 令和6年1月20日・3月2日（改訂版）（令和6年3月2日付け）	令和6年 7月 1日
⑦	埼玉県立春日部高等学校 同窓会	県立高校の男女共学化についてのアンケート ※当該アンケートは記述の意見のみが記載されているものであるため掲載していない。	令和6年 2月10日
⑧	埼玉県立春日部高等学校 保護者	アンケート集約 ※そのほか、記述の意見が記載されている「アンケート集約」が提出されている。（令和6年2月10日付け）	令和6年 6月24日
⑨	埼玉県立川越高等学校 PT会	埼玉県立川越高等学校PT会 共学化に関するアンケート結果 ※そのほか、記述の意見が記載されている「埼玉県立川越高等学校PT会共学化に関するアンケート結果」が提出されている。（令和6年2月17日付け）	令和6年 6月28日
⑩	埼玉県立久喜高等学校PTA会長、後援会長	男女共学化に関するアンケート調査報告書 ※そのほか、記述の意見が記載されている「男女共学化に関するアンケート調査報告書」が提出されている。（令和6年2月24日付け）	令和6年 6月25日
⑪	松山高校 保護者	松山高校 保護者意見 ※そのほか、記述の意見が記載されている「保護者意見」が提出されている。（令和6年5月30日付け）	令和6年 7月 1日

	提出者	件名	提出日
⑫	松山女子高等学校 保護者・後援会	共学化勧告に関するアンケート調査－①保護者・後援会 ※そのほか、記述の意見が記載されている「共学化勧告に関するアンケート調査－①保護者・後援会」が提出されている。（令和6年3月2日付け）	令和6年 7月 1日
⑬	松山女子高等学校 同窓生（卒業生）	共学化勧告に関するアンケート調査－②同窓生（卒業生） ※そのほか、記述の意見が記載されている「共学化勧告に関するアンケート調査－②同窓生（卒業生）」が提出されている。（令和6年3月2日付け）	令和6年 7月 1日
⑭	松山女子高等学校 現役生徒	共学化勧告に関するアンケート調査－③現役生徒 ※そのほか、記述の意見が記載されている「共学化勧告に関するアンケート調査－③現役生徒」が提出されている。（令和6年3月2日付け）	令和6年 7月 1日
⑮	麗風会（浦和第一女子高等学校同窓会組織）	「共学化勧告について 浦和一女卒業生の意見集」まとめ ※そのほか、記述の意見が記載されている下記の意見集が提出されている。 共学化勧告について 浦和一女卒業生の意見集①（令和6年1月30日付け） 共学化勧告について 浦和一女卒業生の意見集②（令和6年3月2日付け） 共学化勧告について 浦和一女卒業生の意見集③（令和6年6月11日付け）	令和6年 6月28日

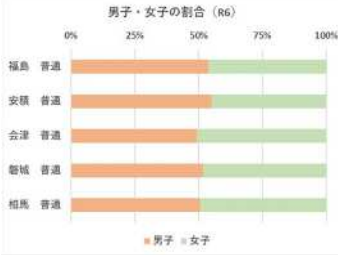

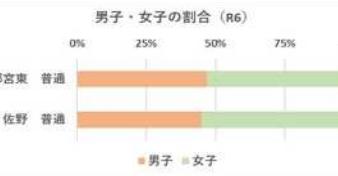

※提出者ごとに五十音順

別添5 他県への調査（措置報告書14ページ「3(5) 歴史や伝統の尊重と共学化の両立」関係）

	平成13年度 県立高校 学校数			単独での共学化		複数校を統合して新校を共学化		令和5年度 県立高校 学校数		
	男女別学校		全県立 高校数	男子校を 男女共学化	女子校を 男女共学化	男子校と女子校 (一部男女共学校を含む)	男子校と男女共学校 又は 女子校と男女共学校	男女別学校		全県立 高校数
	男子校	女子校						男子校	女子校	
宮城	22		81	6	5	男子校5、女子校5、 男女共学校1 →5	0	0		66
	11	11						0	0	
秋田	7		52	0	3	0	女子校4、男女共学校5 →4	0		43
	0	7						0	0	
福島	7		85	3	4	0	0	0		77
	3	4						0	0	
栃木	19		69	3	3	男子校2、女子校2 →2	女子校1、男女共学校1 →1	8		60
	9	10						4	4	
群馬	23		67	0	2	男子校3、女子校3 →3	女子校3、男女共学校3 →3	12		59
	9	14						6	6	
千葉	13		142	0	6	0	女子校5、男女共学校5 →5	2		121
	0	13						0	2	

※令和5年度学校数は、共学化に伴う統廃合以外の要因による変動を含む。

	「再編整備計画」への「男女共学化」の記載	男女共学化への評価	現在の男女比率
宮城	<p>「県立高校将来構想」（平成13年4月～平成22年3月）において男女共学化を推進 <男女共学化の推進についての基本方針> 男女別学校については、校舎の改築や学科改編、再編などを機に、対象校ごとに関係者の理解を得ながら、全て男女共学化を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会や合唱コンクールなどで、男女が協力し合って行事に取り組んでいる。応援練習は伝統を継承し工夫しており、実践での応援活動も盛り上がっている。 ・ 男女が様々な価値観に触発され、進路希望が多様化し進路範囲に広がりが出た。 ・ 入学の機会均等が図られる。学校の選択の幅が広がる。(特に郡部) ・ 少子化において学校の教育力を維持する。 ・ リーダーシップを発揮する生徒が増加し、積極的で活発な発言がみられる。 ・ 男女が気遣い、授業態度が落ち着いている。地道に努力する女子の学習態度が男子に良い影響を与えている。 ・ 互いに励まし、目標に向かって活発に活動している。男女の合同練習が成果を上げている。 ・ 生徒会が明るく行動的になった。 ・ 男女ともに落ち着いた生活態度であり良好 ・ 異性間のトラブルが生じる。 ・ 異性の目が気になり落ち着かない。 ・ 敷地が狭い旧女子校を中心に部活動の制約 ・ 施設改修・改築が必要 	<p><男子校→男女共学校（1学年）></p> <p>男子・女子の割合 (R3)</p> <p><女子校→男女共学校（1学年）></p> <p>男子・女子の割合 (R3)</p>
秋田	<p><第五次秋田県高等学校総合整備計画></p> <p>① 共学化は、各学校や地域の実情等を考慮して推進する方向で個々に検討する。この場合に、単に男女募集とするのではなく、これまでの伝統を生かしつつ、全く新しい構想に基づいた教育内容を盛り込み、地域の先進的な役割を担う学校づくりをする。</p> <p>② 地域によっては、普通課程と職業課程とを併置する総合制高等学校として、統合等も検討していく必要がある。</p> <p>③ すべての女子校において、平成22年度までには共学化への具体的なスケジュールを策定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女が協力し切磋琢磨しながら勉学や各種教育活動に取り組み、相互理解を深め、互いを尊重することにつながっている。 ・ 普通科だけでなく、専門学科には多くのコースを設置することで、生徒の進路希望に応じて様々な学部への進学や就職にも対応することができる。 	<p><女子校→男女共学校（全学年）></p> <p>男子・女子の割合 (R6)</p>

	「再編整備計画」への「男女共学化」の記載	男女共学化への評価	現在の男女比率
福島	<p>< 県立高等学校改革計画第一次まとめ ></p> <p>1 共学化のねらい</p> <p>21世紀において福島県が創造的で活力ある社会であるためには、地域づくりをはじめ、あらゆる分野で男女が共に参画し、それぞれが持てる能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」を築いていくことが必要である。そのためには伝統的な性別役割分担意識にとらわれることなく、女性の社会参加と男性の家庭や地域への参加を促し、男女があらゆる分野で協力し合う生き方が求められる。</p> <p>青年期の生徒一人一人にとって高校時代は、様々な体験をとおして人間の在り方や生き方を学び、社会性を身に付けながら自己を確立していく時期である。この時期に男女が共に学び、それぞれの個性を生かした役割を担って協力し、互いに人格を尊重し合いながら充実した学校生活を送る体験は、将来、男女共同参画社会を築いていくうえで大きな意味がある。</p> <p>そこで、本県が策定した「ふくしま新世紀女性プラン」、さらには平成5年の学校教育審議会答申に基づき、県立高等学校の男女共学化を推進する。</p> <p>2 共学化の方針</p> <p>(1) 平成15年度をめどに、すべての県立高等学校を、逐次、男女共学化にする。</p> <p>(2) 共学化にともない諸課題の解決を図るとともに、必要となる施設・設備等の整備を行う。</p>	<p>(県立高等学校改革基本計画(2019年度～2028年度)より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共学化した各学校では、学校行事等において男女が競い合って努力する姿が見られた他、学習活動、生徒会活動、部活動等が活性化した。 進路意識の面でも変化が見られ、国公立大学を中心として大学進学等の進路実績も向上した。特に女子においては、全国的な傾向と同様に、大学進学率の向上は顕著である。(特色ある学校・学科の配置における【成果】として記載) 学校の新設や共学化、特色ある学科の設置によって、生徒の適性や進路希望に応じた多様な高校や学科の選択が可能になった。 	<p>< 男子校→男女共学校(全学年) ></p>  <p>< 女子校→男女共学校(全学年) ></p> 
栃木	<p>< 第二期県立高等学校再編計画 ></p> <p>(4) 男女別学校の共学化</p> <p>男女別学校の共学化については、各高校や地域の実情等に応じて行います。</p> <p>◇ 基本的な考え方</p> <p>ア 共学化については、共学校と別学校の共存を望む県民世論にも配慮しながら、各高校や地域の実情等に応じて行います。</p> <p>イ 共学化に当たっては、それぞれの学校が培ってきた特色や教育の成果をできるだけ引き継ぎながら、教育内容の充実を図ります。また、新たな教育内容・方法等を積極的に導入し、より一層、魅力ある学校づくりに努めます。</p> <p>◇ 推進計画</p> <p>ア 別学校の規模が小さくなることにより活力の低下が懸念される場合は、統合によって適正規模を確保するとともに、共学化します。</p> <p>イ 男女別募集定員に片寄りのある地区については、共学化を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮中央女子高校(男女共学 宇都宮中央高校へ)の場合 <ul style="list-style-type: none"> 男女共学化に伴い、進学に重点を置く単位制を導入 野球部など男子部活動を新設 校章は継続して使用、女子制服は特徴を継承 男女共学化に伴い、トイレ、体育館、グラウンド、部室棟などを整備 単位制の導入に伴い、選択科目や少人数授業等に対応できる講義室などを整備 足利・足利女子高校(男女共学 足利高校へ)の場合 <ul style="list-style-type: none"> 統合共学化に伴い、進学に重点を置く単位制を導入 制服は旧校の特徴を継承(新設立準備委員会において検討) 新校舎を整備(建設中) 	<p>< 男子校→男女共学校(1学年) ></p>  <p>< 女子校→男女共学校(1学年) ></p> 

	「再編整備計画」への「男女共学化」の記載	男女共学化への評価	現在の男女比率																														
群馬	<p><第2期高校教育改革推進計画> 6 男女共学の推進</p> <p>■ 基本的な考え方</p> <p>男女が共に学ぶことの意義や、性差による制限のない学校選択の保障という観点に加え、性同一性障害や性的指向・性自認に係る生徒への対応の必要性などからも、男女共学化を推進していく必要があります。「群馬県男女共同参画基本計画」を踏まえ、県民の理解を得ながら、今後の高校教育改革の中で、男女共学化を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域や関係者の理解を得ながらの推進 	<p><女子校→男女共学校（1学年）></p> <p>男子・女子の割合（R6）</p> <table border="1"> <caption>男女の割合 (R6)</caption> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>男子 (%)</th> <th>女子 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊勢崎清明</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>太田フレックス</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	男子 (%)	女子 (%)	伊勢崎清明	25	75	太田フレックス	50	50																					
学校名	男子 (%)	女子 (%)																															
伊勢崎清明	25	75																															
太田フレックス	50	50																															
千葉	<p><県立高等学校再編計画（平成14年11月策定）> 女子校の共学化 男女共同参画社会の進展を踏まえ、原則として女子校を共学化する。 具体的内容 共学化により、普通系学科比率の低い地域において、男子生徒の学校選択肢の拡大を図り、さらに、学校の活性化と魅力ある高等学校づくりを推進する。 女子校13校のうち11校程度を共学化し、残る2校程度については、女子校に進学を希望する生徒に配慮し、学区を県内全域とするなどして存続する。なお、今後の志願者の動向等によっては、必要に応じて共学化を行う。 共学化に当たっては、必要に応じて学校の統合あるいは学科再構成を行い、一部の学校は単位制への転換を行う。 これまでの女子校としての成果を十分踏まえるとともに、選択幅の広い教育課程の編成や多様な学習活動を展開する。 共学化に当たっては、既設の施設設備を活用しつつ必要な整備を行うが、校地の拡張は原則として行わないものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共学化は男女の自然な交流ができ望ましい姿であり、実施した多くの学校で志願確定倍率・大学進学率などの向上、生活指導面での改善、部活動の充実、学校行事の活性化等が見られる。 特に学校数の少ない地域における男女共学化は、男子生徒の学校選択幅の拡大、学校配置の適正化の推進等、総じて地域のニーズに的確に対応したものと見える。 男子生徒の比率が30%以下の学校もあることから、男子生徒が更に魅力を感じる学校づくりに努める必要がある。 	<p><女子校→男女共学校（全学年）></p> <p>男子・女子の割合（R5）</p> <table border="1"> <caption>男子・女子の割合 (R5)</caption> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>男子 (%)</th> <th>女子 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松戸 普通</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>松戸 芸術</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>佐倉東 普通</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>佐倉東 調理国際</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>佐倉東 服飾デザイン</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>佐原白楊 普通</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>松尾 普通</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>鏡子 普通</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>茂原 普通</td> <td>25</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	男子 (%)	女子 (%)	松戸 普通	25	75	松戸 芸術	25	75	佐倉東 普通	45	55	佐倉東 調理国際	25	75	佐倉東 服飾デザイン	25	75	佐原白楊 普通	45	55	松尾 普通	25	75	鏡子 普通	25	75	茂原 普通	25	75
学校名	男子 (%)	女子 (%)																															
松戸 普通	25	75																															
松戸 芸術	25	75																															
佐倉東 普通	45	55																															
佐倉東 調理国際	25	75																															
佐倉東 服飾デザイン	25	75																															
佐原白楊 普通	45	55																															
松尾 普通	25	75																															
鏡子 普通	25	75																															
茂原 普通	25	75																															